

岡山市・岡山広域圏 連携中枢都市圏の形成に係る基礎調査
アンケート調査
報告書

平成 28 年 1 月

<目次>

I.	岡山都市圏住民アンケート調査	1
1.	調査概要	1
2.	回答者属性	3
3.	調査結果	6
(1)	今後の市町連携について	6
(2)	生活圏域について	10
(3)	公共施設・地域医療・公共交通に関する意識	39
II.	岡山都市圏企業アンケート調査	67
1.	調査概要	67
2.	回答者属性	69
3.	調査結果	73
(1)	企業活動の状況について	73
(2)	産業振興について	96
III.	資料編	107

I. 岡山都市圏住民アンケート調査

1. 調査概要

本調査では、岡山都市圏に居住する人の日常生活の生活圏域を把握すること、今後の地域づくりのために必要な取組を把握することの2つを目的としてアンケート調査を実施した。

なお、岡山都市圏とは、岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町の8市5町からなる圏域を指す。

アンケート調査の概要は以下の通りである。

【岡山都市圏住民アンケート調査の概要】

調査目的	① 岡山都市圏内の住民の日常の生活圏域 ② 今後の地域づくりのために必要な取組の2点を把握することを目的とする。
調査対象	岡山都市圏内住民
データ数	・ サンプル数 6,000 票（有効発送数 5,977 票） ・ 有効回答数 3,238 票（回収率 54.2%）
調査時点	2015年10月21日～11月10日（本報告書掲載の有効回答数、回収率は11月30日までの回収分を反映）
標本抽出	岡山都市圏内の市町の20歳～70歳代の住民を無作為抽出（市町の人口規模に応じ、抽出数を按分。次ページ表参照）
調査方法	自記入式アンケート調査票を郵送により配布・回収した。
調査事項	● 基本事項 性別、年齢、居住地、家族構成、職業、運転免許の有無 ● アンケート事項 ① 日常生活の生活圏域～日常の生活で利用する施設の場所・交通手段・所要時間、居住地の満足度 ② 地域づくりに必要な取組～優先的に取り組むべき事項、市町の連携についての意識、連携して取り組むべき事項

【本アンケート調査の回収状況】

市町	発送数(票)	回収数(票)	回収率(%)
岡山市	2,000	1,025	51.3
北区	-	413	-
中区	-	220	-
東区	-	164	-
南区	-	228	-
津山市	600	250	41.7
玉野市	400	219	54.8
総社市	400	232	58.0
備前市	400	199	49.8
瀬戸内市	400	212	53.0
赤磐市	400	226	56.5
真庭市	400	234	58.5
和気町	200	119	59.5
早島町	200	110	55.0
久米南町	200	136	68.0
美咲町	200	109	54.5
吉備中央町	200	125	62.5
市町名不記入	-	42	-
合計	6,000 (有効発送数 5,977 票)	3,238	54.2 (分母：有効発送数)

【本報告書での記載方法について】

- ・ 本報告書では、集計結果の数値を、特に断りのないかぎり、小数点以下第 2 位で四捨五入している。そのため、各回答の合計が 100%に一致しないことがある。
- ・ 複数回答の設問については、回答比率の合計は、100%を超える。
- ・ 各設問を集計した回答数の値 (n 値) については、「n = ●」という記載方法でグラフ・表に示している。
- ・ 各設問の集計にあたっては、回答がない、もしくは回答内容が把握できないものについては「不明」とし集計対象から除外している。

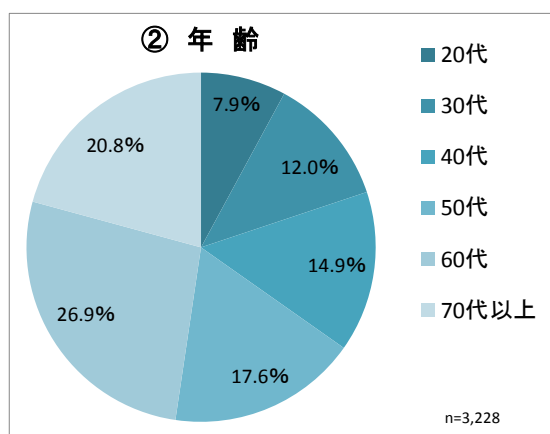
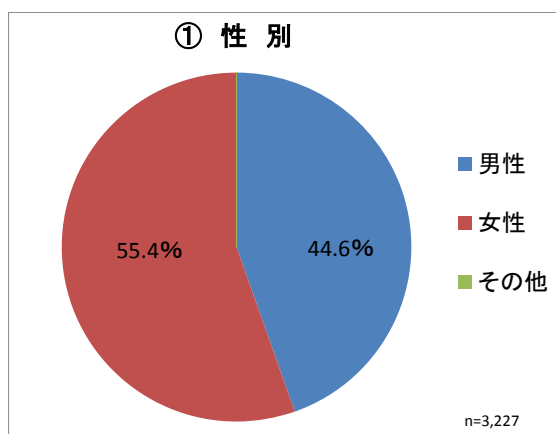
2. 回答者属性

① 性別

- ・ 回答者は、女性が11ポイント多く、2010年国勢調査における人口性比（男性：女性＝46：54）の割合が本調査にも反映している。

② 年齢

- ・ 年齢別にみると、60歳代以上が全体の約半数の47.7%を占めているが、60歳代以下では50歳代が17.6%、40歳代が14.9%、30歳代が12.0%、20歳代が7.9%と年代が下がるにつれ回答数が少なくなっている。

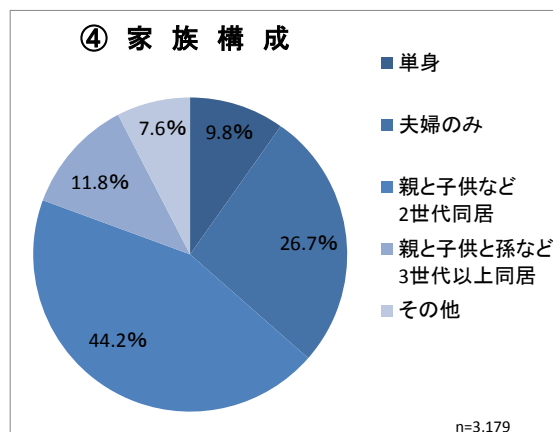
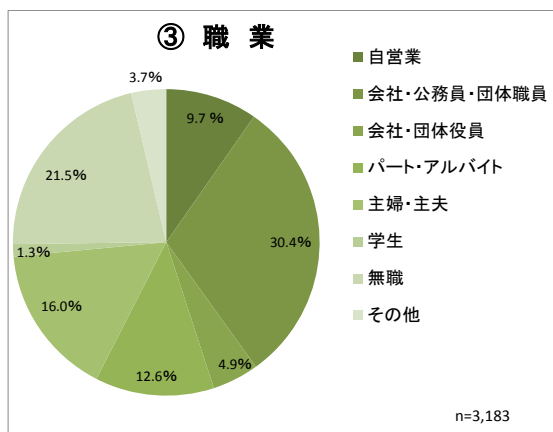


③ 職業

- ・ 何らかの仕事をしている層（「自営業、会社員・公務員・団体職員」「会社員・団体役員」「パート・アルバイト」）が全体の57.6%となっており、その中では「会社員・公務員・団体職員」が30.4%と最も高く、次いで「自営業」9.7%となっている。また、「主婦・主夫」「学生」「無職」が全体の38.8%を占めている。

④ 家族構成

- ・ 「親と子供など2世代同居」が44.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が26.7%であり、上記二つの核家族の категорияが全体の70.9%を占めている。

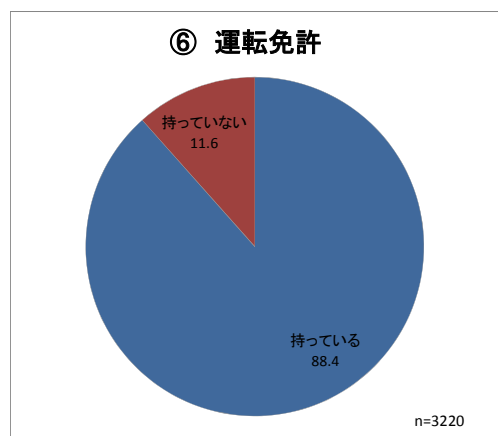
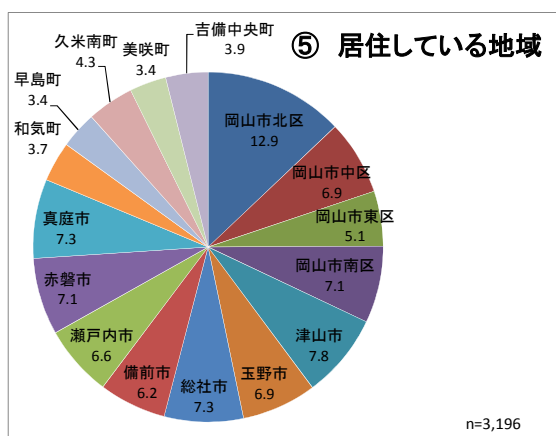


⑤ 居住市町

- ・ 居住地域は、岡山市が全体の 32.0% となっており、市内各区の内訳は、北区 (12.9%)、中区 (6.9%)、東区 (5.1%)、南区 (7.1%) である。
- ・ 岡山市に次いで津山市 (7.8%)、総社市 (7.3%)、真庭市 (7.3%)、赤磐市 (7.1%) と並んでおり、これは調査票の発送数の順に一致している。発送数は市町の人口規模に応じた数となっているため、回答者の構成はほぼ岡山都市圏の居住地地域の構成と一致していることになる。

⑥ 運転免許の有無

- ・ 運転免許は圏域内住民の 88.4% が所有しており、日常の生活の中に車利用が浸透していると言える。



【参考】居住地域別の年齢構成



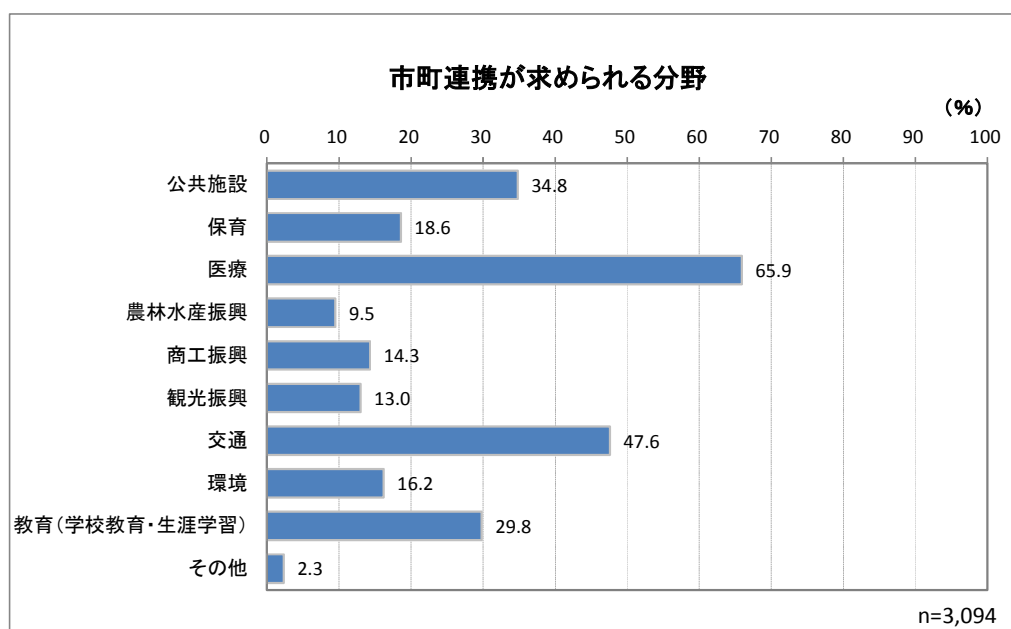
3. 調査結果

(1) 今後の市町連携について

問1. 市町連携が求められる分野

<圏域全体>

- ・ 今後、市町連携が求められる分野として上位に挙げられたのが、「医療」(65.9%)、「交通」(47.6%)、「公共施設」(34.8%)であり、今回主な調査テーマとしているこの3分野へは住民の関心も高いということが分かった。
- ・ 上記3分野以外には「教育(学校教育・生涯学習)」(29.8%)への関心が高かった。一方、最も低い値となったのは、「農林水産振興」で9.5%となっている。



<年齢別の動向>

- ・ 全体的に「医療」「交通」「公共施設」が上位3分野であったが、年齢別にみるとそれぞれの世代で重視する分野は異なっている。
- ・ 20代、30代では「医療」への関心が高いことは他の年代と同じであるが、20代では「保育」「交通」、30代では「保育」「教育」が重視されている。20～30代は比較的小さい子どもを持つ世代であることから「保育」「教育」の関心が高いものと思われる。
- ・ 40代では「医療」「交通」「教育」が上位3分野であった、40代は30代に続き子育て中の人も多いことから、「教育」への関心が高いものと思われる。
- ・ 50～70代は「医療」「交通」「公共施設」への関心が高い。特に「医療」「交通」については他の世代よりも高い割合になっており、高齢化社会の中でこの2分野への関心が高まっていることがうかがえる。

上段:度数 下段:%		市町連携が求められる分野										
		合計	公共施設	保育	医療	農林水産 振興	商工振興	観光振興	交通	環境	教育 (学校教育・ 生涯学習)	その他
年齢	全体	3086 100.0	1072 34.7	575 18.6	2034 65.9	294 9.5	441 14.3	401 13.0	1470 47.6	501 16.2	918 29.7	72 2.3
	20～29歳	250 100.0	72 28.8	102 40.8	145 58.0	12 4.8	36 14.4	39 15.6	106 42.4	28 11.2	79 31.6	4 1.6
	30～39歳	384 100.0	121 31.5	168 43.8	229 59.6	19 4.9	57 14.8	49 12.8	149 38.8	42 10.9	157 40.9	9 2.3
	40～49歳	468 100.0	159 34.0	80 17.1	305 65.2	31 6.6	74 15.8	82 17.5	207 44.2	71 15.2	165 35.3	10 2.1
	50～59歳	557 100.0	201 36.1	87 15.6	366 65.7	55 9.9	85 15.3	70 12.6	268 48.1	110 19.7	169 30.3	15 2.7
	60～69歳	818 100.0	283 34.6	98 12.0	572 69.9	93 11.4	124 15.2	102 12.5	409 50.0	153 18.7	207 25.3	17 2.1
	70歳以上	609 100.0	236 38.8	40 6.6	417 68.5	84 13.8	65 10.7	59 9.7	331 54.4	97 15.9	141 23.2	17 2.8

各年齢 ■ 上位3つ

<地域別の動向>

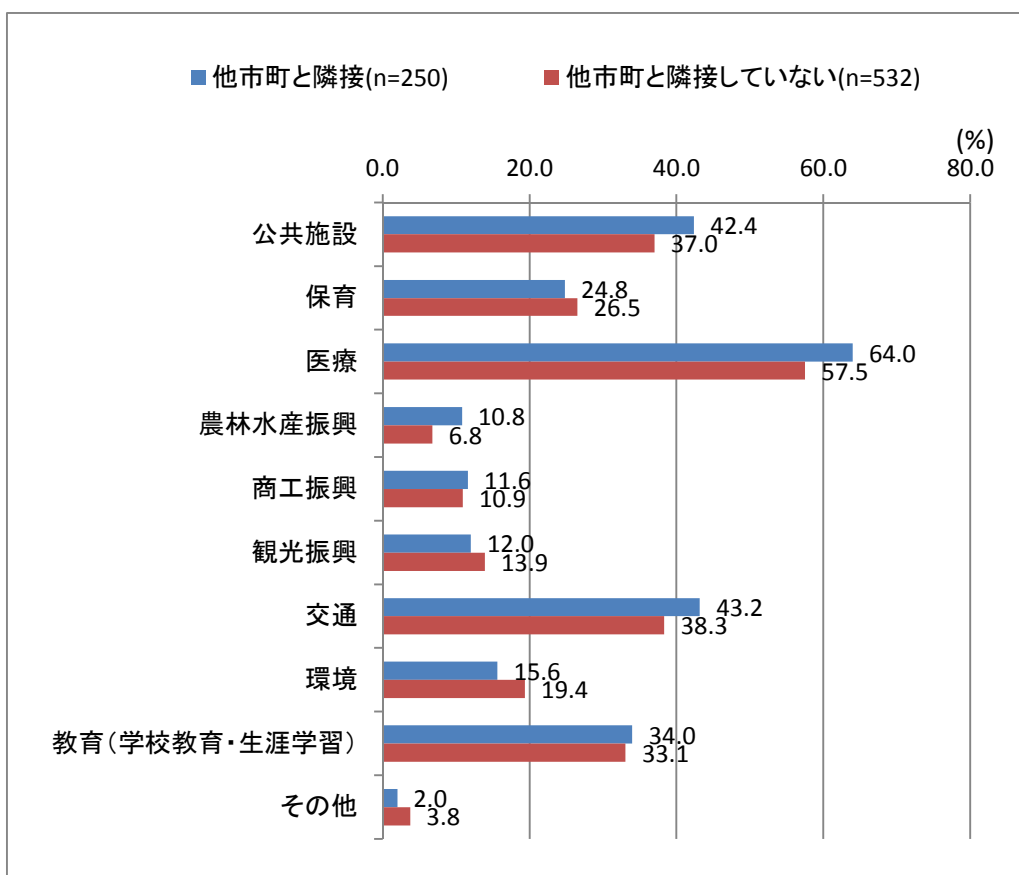
- ・ 地域別にも異なる傾向がみられている。おおむね「医療」「交通」「公共施設」への関心が高い市町が多いが、赤磐市・真庭市・和気町・早島町・吉備中央町では「教育」のポイントが「公共施設」を上回っている。

上段:度数 下段:%		市町連携が求められる分野										
		合計	公共施設	保育	医療	農林水産 振興	商工振興	観光振興	交通	環境	教育 (学校教育・ 生涯学習)	その他
住所	全体	3058 100.0	1064 34.8	572 18.7	2013 65.8	293 9.6	439 14.4	395 12.9	1456 47.6	494 16.2	913 29.9	71 2.3
	岡山市北区	400 100.0	149 37.3	107 26.8	227 56.8	32 8.0	47 11.8	61 15.3	166 41.5	78 19.5	128 32.0	16 4.0
	岡山市中区	209 100.0	85 40.7	55 26.3	120 57.4	12 5.7	22 10.5	30 14.4	76 36.4	47 22.5	73 34.9	7 3.3
	岡山市東区	155 100.0	63 40.6	40 25.8	98 63.2	17 11.0	17 11.0	12 7.7	62 40.0	23 14.8	47 30.3	2 1.3
	岡山市南区	220 100.0	88 40.0	51 23.2	137 62.3	10 4.5	17 7.7	22 10.0	99 45.0	40 18.2	74 33.6	4 1.8
	津山市	243 100.0	92 37.9	54 22.2	140 57.6	29 11.9	44 18.1	43 17.7	113 46.5	31 12.8	76 31.3	4 1.6
	玉野市	211 100.0	73 34.6	23 10.9	163 77.3	8 3.8	31 14.7	39 18.5	103 48.8	35 16.6	41 19.4	6 2.8
	総社市	220 100.0	65 29.5	45 20.5	173 78.6	16 7.3	26 11.8	28 12.7	98 44.5	34 15.5	56 25.5	1 0.5
	備前市	189 100.0	60 31.7	31 16.4	117 61.9	19 10.1	43 22.8	35 18.5	104 55.0	24 12.7	50 26.5	2 1.1
	瀬戸内市	208 100.0	90 43.3	25 12.0	158 76.0	14 6.7	34 16.3	25 12.0	94 45.2	38 18.3	52 25.0	4 1.9
	赤磐市	206 100.0	60 29.1	33 16.0	137 66.5	25 12.1	21 10.2	16 7.8	115 55.8	33 16.0	69 33.5	6 2.9
	真庭市	227 100.0	70 30.8	26 11.5	143 63.0	27 11.9	43 18.9	29 12.8	117 51.5	26 11.5	79 34.8	4 1.8
	和気町	110 100.0	27 24.5	14 12.7	68 61.8	13 11.8	20 18.2	10 9.1	61 55.5	15 13.6	38 34.5	5 4.5
	早島町	109 100.0	38 34.9	36 33.0	70 64.2	4 3.7	16 14.7	6 5.5	46 42.2	20 18.3	38 34.9	3 2.8
	久米南町	128 100.0	40 31.3	10 7.8	91 71.1	23 18.0	26 20.3	20 15.6	71 55.5	17 13.3	30 23.4	2 1.6
	美咲町	104 100.0	41 39.4	12 11.5	78 75.0	20 19.2	15 14.4	11 10.6	47 45.2	17 16.3	25 24.0	2 1.9
	吉備中央町	119 100.0	23 19.3	10 8.4	93 78.2	24 20.2	17 14.3	8 6.7	84 70.6	16 13.4	37 31.1	3 2.5

各市町 ■ 上位3つ

<岡山市内の動向>

- ・ 岡山市内中学校区について、他市町と隣接しているか否かで2分し、動向をみたものが下図である。
- ・ 他市町と隣接している地域のほうが、隣接していない地域と比較し、「公共施設」「医療」「交通」で約5ポイント高い結果となっている。



(2) 生活圏域について

問2. 通勤・通学について

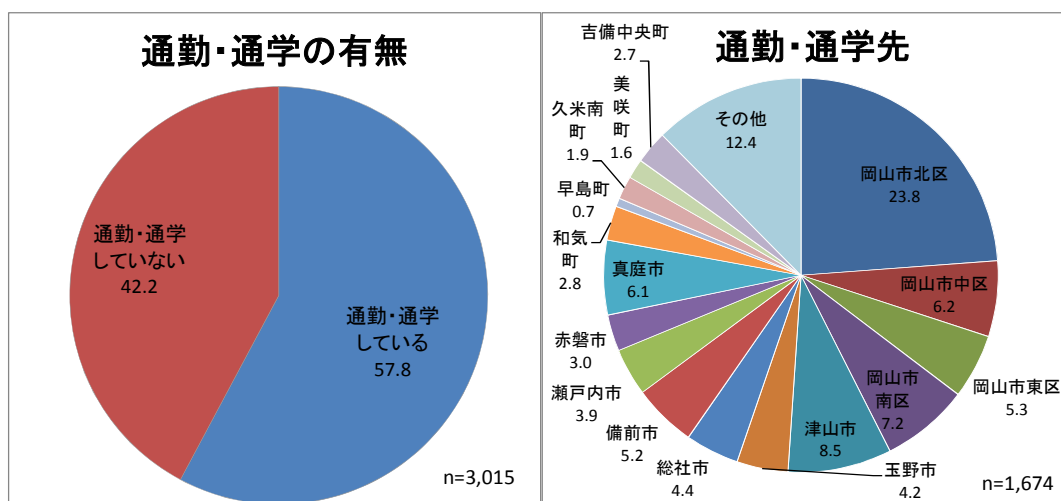
<全体>

① 通勤・通学の状況

- 岡山都市圏に居住する者の通勤・通学者割合は、通勤・通学している者は 57.8%、通勤・通学していない者は 42.2%であった。

② 通勤・通学先

- 通勤・通学先は岡山市全体が 42.5%と最も高く、なかでも民間・行政のオフィスが集積する北区が 23.8%ともっとも通勤・通学先として選ばれた。
- 岡山市に次いで通勤・通学先として選ばれたのは、圏域北部の中心都市である津山市 (8.5%) であった。



＜地域別の動向＞

- ・ 居住地別に通勤・通学先をみると、岡山市内の各区は市内への通勤・通学率が高く、岡山市全体で自市内に通勤・通学している人は 80%程度である。ただし、岡山市東区だけは備前市・瀬戸内市・赤磐市を中心とした他市への通勤・通学率が高いという特徴がみられた。
- ・ 岡山市以外で自市町内への通勤・通学率が高いのは、津山市 (76.8%)、真庭市 (85.5%) であり、この 2 市については圏域内に通勤・通学率が 10%を超える他市町を有しおらず、比較的自市内で日常の活動が完結している傾向にある。
- ・ 一方で岡山市各区への通勤・通学率が高い (10%以上) 市町は、玉野市、総社市、瀬戸内市、赤磐市、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町である。
- ・ また同じく、津山市には久米南町・美咲町、総社市には吉備中央町、備前市には瀬戸内市・和気町がそれぞれ各市への通勤・通学率が 10%を超えている。

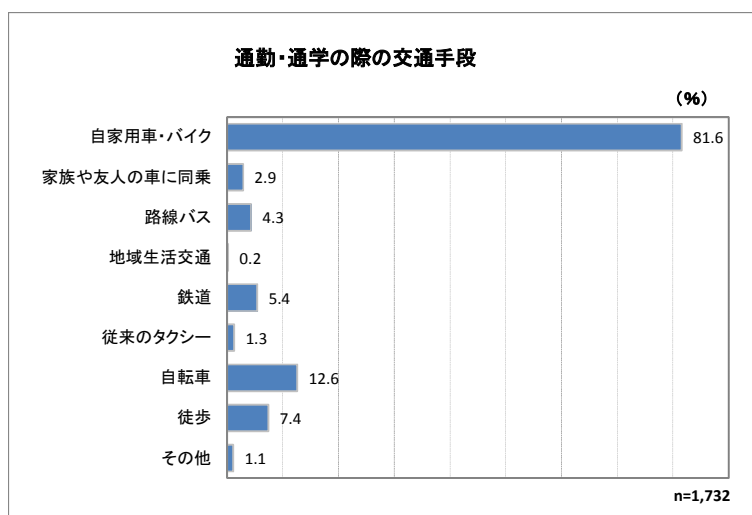
上段度数		通勤・通学先																	
下段-%	合計	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	その他	
	全体	1659 100.0	395 23.8	104 6.3	89 5.4	119 7.2	141 8.5	71 4.3	74 4.5	87 5.2	65 3.9	51 3.1	102 6.1	46 2.8	12 0.7	31 1.9	26 1.6	44 2.7	202 12.2
岡山市北区	250 100.0	173 69.2	13 5.2	5 2.0	15 6.0	-	4 1.6	5 2.0	2 0.8	1 0.4	1 0.4	-	-	1 0.4	-	1 0.4	3 1.2	26 10.4	
岡山市中区	128 100.0	57 44.5	42 32.8	7 5.5	7 5.5	-	-	-	-	1 0.8	2 1.6	-	-	-	-	1 0.8	1 0.8	10 7.8	
岡山市東区	87 100.0	16 18.4	11 12.6	32 36.8	7 8.0	-	-	-	5 5.7	5 5.7	5 5.7	-	-	1 1.1	-	-	-	5 5.7	
岡山市南区	127 100.0	33 26.0	11 8.7	7 5.5	51 40.2	-	6 4.7	-	-	-	-	-	-	1 0.8	-	-	1 0.8	17 13.4	
津山市	142 100.0	-	-	-	-	109 76.8	-	-	-	-	1 0.7	2 1.4	1 0.7	-	3 2.1	4 2.8	-	22 15.5	
玉野市	103 100.0	10 9.7	-	-	13 12.6	-	58 56.3	-	-	-	1 1.0	-	-	1 1.0	-	-	-	20 19.4	
総社市	126 100.0	21 16.7	1 0.8	2 1.6	1 0.8	-	-	61 48.4	-	-	-	1 0.8	-	-	-	-	4 3.2	35 27.8	
備前市	97 100.0	9 9.3	5 5.2	2 2.1	2 2.1	-	1 1.0	-	55 56.7	8 8.2	-	-	5 5.2	-	-	-	-	10 10.3	
瀬戸内市	98 100.0	4 4.1	10 10.2	20 20.4	3 3.1	-	-	-	11 11.2	43 43.9	1 1.0	-	-	-	-	-	-	6 6.1	
赤磐市	101 100.0	24 23.8	5 5.0	9 8.9	6 5.9	1 1.0	-	4 4.0	5 5.0	30 29.7	-	10 9.9	1 1.0	-	-	-	-	6 5.9	
真庭市	110 100.0	1 0.9	-	-	-	6 5.5	-	-	-	-	-	94 85.5	-	1 0.9	-	1 0.9	-	7 6.4	
和気町	54 100.0	5 9.3	1 1.9	1 1.9	1 1.9	-	-	-	9 16.7	2 3.7	5 9.3	-	29 53.7	-	-	-	-	1 1.9	
早島町	65 100.0	24 36.9	1 1.5	2 3.1	9 13.8	-	1 1.5	2 3.1	1 1.5	-	-	-	-	6 9.2	-	-	-	19 29.2	
久米南町	65 100.0	10 15.4	2 3.1	1 1.5	2 3.1	10 15.4	-	-	-	-	4 6.2	1 1.5	1 1.5	-	25 38.5	3 4.6	-	6 9.2	
美咲町	50 100.0	5 10.0	-	1 2.0	-	15 30.0	-	-	-	-	1 2.0	4 8.0	-	-	3 6.0	15 30.0	-	6 12.0	
吉備中央町	56 100.0	3 5.4	2 3.6	-	2 3.6	-	1 1.8	6 10.7	-	-	-	-	-	-	-	1 1.8	35 62.5	6 10.7	

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満 ■ 5%以上

③ 通勤・通学の際の交通手段

<全体>

- 通勤・通学の際の交通手段は「自家用車・バイク」が81.6%で最も高い割合となった。次点で「自転車」12.6%となっており、岡山都市圏の通勤・通学者の大多数が「自家用車・バイク」「自転車」等を利用しており、「路線バス」や「鉄道」といった公共交通はあまり利用していないという結果となった。



<年齢別の動向>

- 年齢別に通勤・通学の際の交通手段をみると、「自家用車・バイク」を使用している人の割合は30代から50代にかけて80%を超えている。一方、20代及び70代以上では60%代と比較的低くなっている。
- 20代及び70代以上では、「自転車」「徒歩」に加え、「鉄道」「路線バス」といった公共交通手段の利用者が多くなっている。

上段: 度数	下段: %	通勤・通学の際の交通手段									
		合計	自家用車・バイク	家族や友人の車に同乗	路線バス	地域生活交通	鉄道	従来タクシー	自転車	徒歩	その他
年齢	全体	1728 100.0	1411 81.7	50 2.9	74 4.3	3 0.2	93 5.4	22 1.3	219 12.7	128 7.4	19 1.1
	20~29歳	209 100.0	145 69.4	5 2.4	17 8.1	-	25 12.0	1 0.5	42 20.1	22 10.5	2 1.0
	30~39歳	292 100.0	240 82.2	2 0.7	8 2.7	-	18 6.2	2 0.7	44 15.1	21 7.2	2 0.7
	40~49歳	382 100.0	331 86.6	4 1.0	10 2.6	-	15 3.9	2 0.5	46 12.0	22 5.8	3 0.8
	50~59歳	416 100.0	357 85.8	4 1.0	14 3.4	-	15 3.6	-	36 8.7	24 5.8	4 1.0
	60~69歳	314 100.0	266 84.7	11 3.5	7 2.2	-	9 2.9	1 0.3	29 9.2	23 7.3	5 1.6
	70歳以上	115 100.0	72 62.6	24 20.9	18 15.7	3 2.6	11 9.6	16 13.9	22 19.1	16 13.9	3 2.6

■ 50%以上 ■ 10%以上 50%未満

<地域別の動向>

- ・ どの市町においても「自家用車・バイク」の利用が主であるが、比較的自市町内への通勤・通学率が高い市町では「自転車」「徒歩」の比率も高くなっている。岡山市南区については「路線バス」の選択も多いが、これは同市北区への通勤・通学率が高いということが背景にあるものと推測される。
- ・ 「鉄道」については、早島町で選択した人が多くみられた。また、総社市・備前市についても比較的高い比率となっている。

上段:度数 下段:%		通勤・通学の際の交通手段									
		合計	自家用車 バイク	家族や友 人の車に 同乗	路線バス	地域生活 交通	鉄道	従来の タクシー	自転車	徒歩	その他
住所	全体	1715 100.0	1403 81.8	50 2.9	73 4.3	3 0.2	88 5.1	21 1.2	217 12.7	126 7.3	19 1.1
	岡山市北区	254 100.0	168 66.1	7 2.8	20 7.9	-	12 4.7	3 1.2	74 29.1	28 11.0	1 0.4
	岡山市中区	131 100.0	88 67.2	3 2.3	11 8.4	-	11 8.4	1 0.8	29 22.1	13 9.9	3 2.3
	岡山市東区	88 100.0	79 89.8	2 2.3	2 2.3	1 1.1	4 4.5	1 1.1	6 6.8	2 2.3	1 1.1
	岡山市南区	129 100.0	96 74.4	3 2.3	14 10.9	-	9 7.0	4 3.1	32 24.8	11 8.5	1 0.8
	津山市	144 100.0	135 93.8	2 1.4	1 0.7	-	1 0.7	-	6 4.2	6 4.2	-
	玉野市	108 100.0	85 78.7	2 1.9	7 6.5	1 0.9	1 0.9	1 0.9	19 17.6	7 6.5	6 5.6
	総社市	132 100.0	108 81.8	7 5.3	4 3.0	-	13 9.8	1 0.8	10 7.6	13 9.8	1 0.8
	備前市	98 100.0	84 85.7	4 4.1	1 1.0	-	9 9.2	1 1.0	4 4.1	7 7.1	-
	瀬戸内市	102 100.0	88 86.3	5 4.9	-	-	3 2.9	2 2.0	8 7.8	7 6.9	1 1.0
	赤磐市	103 100.0	91 88.3	3 2.9	6 5.8	-	5 4.9	-	4 3.9	2 1.9	3 2.9
	真庭市	119 100.0	103 86.6	5 4.2	2 1.7	-	1 0.8	2 1.7	10 8.4	13 10.9	-
	和気町	60 100.0	49 81.7	2 3.3	1 1.7	1 1.7	4 6.7	-	7 11.7	5 8.3	-
	早島町	66 100.0	60 90.9	1 1.5	1 1.5	-	8 12.1	2 3.0	4 6.1	2 3.0	1 1.5
	久米南町	68 100.0	65 95.6	2 2.9	1 1.5	-	5 7.4	1 1.5	2 2.9	3 4.4	-
	美咲町	54 100.0	52 96.3	-	1 1.9	-	2 3.7	2 3.7	1 1.9	2 3.7	-
	吉備中央町	59 100.0	52 88.1	2 3.4	1 1.7	-	-	-	1 1.7	5 8.5	1 1.7

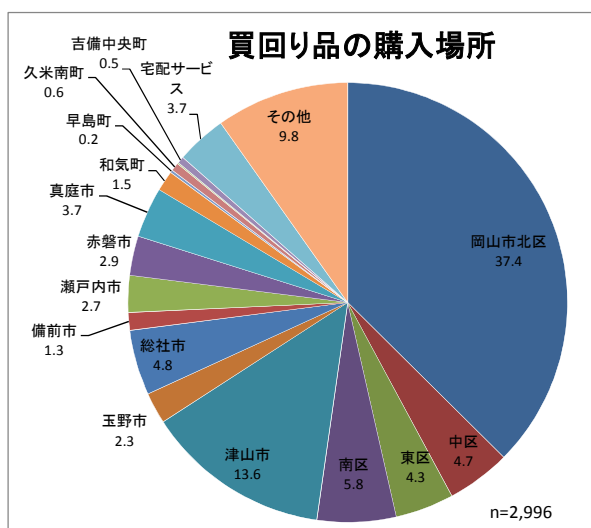
■ 10%以上 ■ 5%以上 10%未満

問3. 買い物について

<全体>

① 買回り品の購入場所

- ・ 岡山都市圏内での買回り品（家電製品等の耐久消費財及び衣服やプレゼント等の比較的嗜好度の高い商品）の購入場所は、岡山市 52.2%、次いで津山市 13.6%と都市部が多い結果となった。反対に最も低い比率となったのは早島町で 0.2%である。
- ・ 特に、岡山駅を中心に商業機能が集積している岡山市北区が 37.4%と最も高く、反対に東区が 4.3%で、岡山市内で最も低くなっている。また、都市圏北部では一定の商業集積がある津山市が消費者を吸引している。



<地域別の動向>

- ・ 居住地別に買回り品の購入場所をみると、商業の集積が厚い岡山市北区が圏内の広範な地域から買回り品消費を吸引していることがわかる。
- ・ 津山市も美咲町・久米南町・真庭市から消費を吸引しており、圏域内北部における商業の中心となっていることがわかる。
- ・ また、総社市・早島町をはじめ備前市・真庭市・吉備中央町では「その他」の割合も高いが、「その他」として記載された地域の大半が岡山県内第2の商業都市である倉敷市となっている。

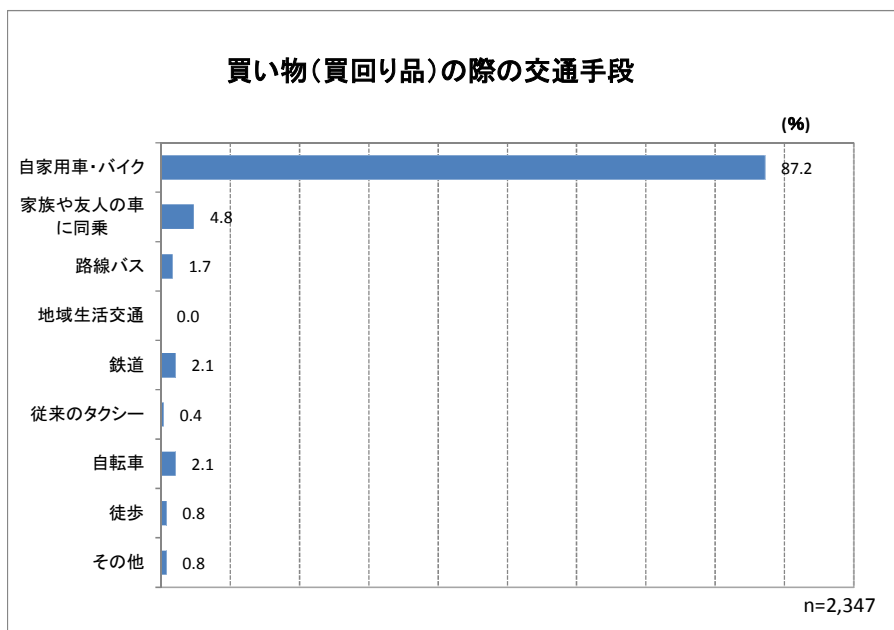
上段:度数 下段:%		買回り品の購入場所																			
		合計	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	宅配サービス	その他	
住所	全体	2958 100.0	1107 37.4	140 4.7	125 4.2	174 5.9	398 13.5	67 2.3	140 4.7	40 1.4	81 2.7	88 3.0	110 3.7	45 1.5	7 0.2	19 0.6	3 0.1	13 0.4	110 3.7	291 9.8	
	岡山市北区	407 100.0	370 90.9	2 0.5	-	1 0.2	-	-	6 1.5	-	1 0.2	1 0.2	-	-	-	-	-	-	-	11 2.7	15 3.7
	岡山市中区	204 100.0	118 57.8	68 33.3	2 1.0	8 3.9	-	-	1 0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5 2.5	2 1.0
	岡山市東区	147 100.0	67 45.6	6 4.1	61 41.5	2 1.4	-	-	-	-	1 0.7	2 1.4	-	-	-	-	-	-	-	4 2.7	4 2.7
	岡山市南区	218 100.0	85 39.0	3 1.4	1 0.5	96 44.0	-	2 0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14 6.4	17 7.8
	津山市	236 100.0	17 7.2	3 1.3	1 0.4	1 0.4	186 78.8	-	1 0.4	-	-	-	2 0.8	-	-	-	-	-	-	17 7.2	8 3.4
	玉野市	196 100.0	54 27.6	6 3.1	1 0.5	45 23.0	-	65 33.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8 4.1	17 8.7
	総社市	217 100.0	24 11.1	4 1.8	-	-	-	-	99 45.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7 3.2	83 38.2
	備前市	177 100.0	54 30.5	10 5.6	16 9.0	3 1.7	-	-	-	38 21.5	5 2.8	-	-	11 6.2	-	-	-	-	-	7 4.0	33 18.6
	瀬戸内市	193 100.0	60 31.1	14 7.3	25 13.0	4 2.1	-	-	1 0.5	-	74 38.3	-	-	-	-	-	-	-	-	10 5.2	5 2.6
	赤磐市	201 100.0	79 39.3	17 8.5	11 5.5	3 1.5	2 1.0	-	-	-	-	71 35.3	-	3 1.5	-	-	-	-	-	7 3.5	8 4.0
	真庭市	221 100.0	23 10.4	2 0.9	-	-	57 25.8	-	1 0.5	-	-	-	106 48.0	-	-	-	-	-	-	4 1.8	28 12.7
	和気町	106 100.0	46 43.4	1 0.9	6 5.7	-	-	-	-	2 1.9	-	10 9.4	-	31 29.2	-	-	-	-	-	5 4.7	5 4.7
	早島町	105 100.0	34 32.4	1 1.0	-	9 8.6	-	-	-	-	-	-	-	-	7 6.7	-	-	-	-	5 4.8	49 46.7
	久米南町	125 100.0	18 14.4	3 2.4	1 0.8	-	77 61.6	-	-	-	-	4 3.2	-	-	-	17 13.6	1 0.8	-	-	3 2.4	1 0.8
	美咲町	94 100.0	7 7.4	-	-	-	76 80.9	-	-	-	-	-	2 2.1	-	-	2 2.1	2 2.1	-	-	2 2.1	3 3.2
	吉備中央町	111 100.0	51 45.9	-	-	2 1.8	-	-	31 27.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13 11.7	1 0.9	13 11.7

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満

② 買い物（買回り品）の際の交通手段

<全体>

- ・ 買い物の際の移動手段について回答者の大多数が、「自家用車・バイク」（87.2%）を利用しているという結果となった。買い物の際の交通手段としては、車が中心になっていることがわかる。



<地域別の動向>

- ・ 居住地別に買い物の際の交通手段をみると、大半の市町で「自家用車・バイク」「家族や友人の車に同乗」という車利用が 90%を超えており、全体の傾向とほぼ同様であった。
- ・ その中で、「路線バス」については岡山市中区・赤磐市、「鉄道」については和気町・早島町で割合が高くなっている。また、岡山市北区・南区では商業集積が近いということもあり、「自転車」の割合が高い。

上段:度数		買い物(買回り品)の際の交通手段									
下段:%	合計	自家用車 バイク	家族や友人の車に 同乗	路線バス	地域生活 交通	鉄道	従来の タクシー	自転車	徒歩	その他	
住所	全体	2319 100.0	2027 87.4	109 4.7	41 1.8	1 -	49 2.1	9 0.4	47 2.0	18 0.8	18 0.8
	岡山市北区	240 100.0	194 80.8	8 3.3	4 1.7	- -	5 2.1	2 0.8	20 8.3	6 2.5	1 0.4
	岡山市中区	132 100.0	110 83.3	4 3.0	8 6.1	- -	1 0.8	1 0.8	4 3.0	3 2.3	1 0.8
	岡山市東区	121 100.0	101 83.5	7 5.8	2 1.7	- -	5 4.1	1 0.8	2 1.7	2 1.7	1 0.8
	岡山市南区	147 100.0	126 85.7	4 2.7	2 1.4	- -	2 1.4	- -	8 5.4	2 1.4	3 2.0
	津山市	203 100.0	188 92.6	7 3.4	2 1.0	- -	1 0.5	- -	3 1.5	- -	2 1.0
	玉野市	167 100.0	145 86.8	9 5.4	5 3.0	- -	1 0.6	- -	2 1.2	2 1.2	3 1.8
	総社市	172 100.0	154 89.5	10 5.8	- -	- -	3 1.7	- -	4 2.3	- -	1 0.6
	備前市	146 100.0	125 85.6	10 6.8	2 1.4	- -	7 4.8	1 0.7	- -	- -	1 0.7
	瀬戸内市	150 100.0	133 88.7	6 4.0	- -	- -	6 4.0	1 0.7	2 1.3	- -	2 1.3
	赤磐市	171 100.0	149 87.1	11 6.4	10 5.8	- -	1 0.6	- -	- -	- -	- -
	真庭市	192 100.0	182 94.8	6 3.1	2 1.0	- -	- -	- -	1 0.5	- -	1 0.5
	和気町	84 100.0	66 78.6	7 8.3	- -	1 1.2	6 7.1	1 1.2	1 1.2	- -	2 2.4
	早島町	81 100.0	73 90.1	1 1.2	- -	- -	6 7.4	1 1.2	- -	- -	- -
	久米南町	106 100.0	92 86.8	7 6.6	- -	- -	4 3.8	- -	- -	3 2.8	- -
	美咲町	94 100.0	86 91.5	5 5.3	1 1.1	- -	1 1.1	1 1.1	- -	- -	- -
	吉備中央町	113 100.0	103 91.2	7 6.2	3 2.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -

■ 10%以上 ■ 5%以上 10%未満

問4.1 日常の通院について

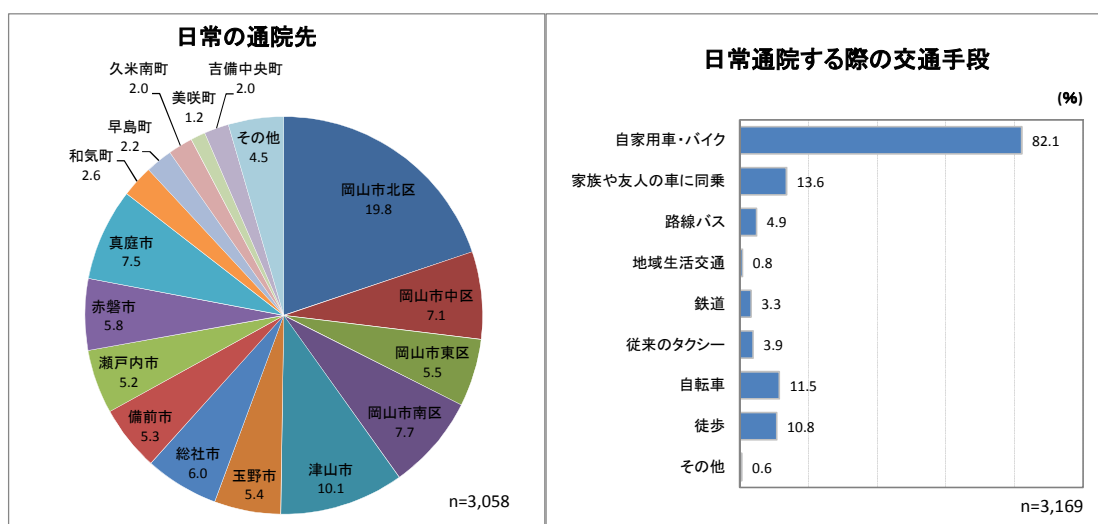
<全体>

① 日常の通院先

- ・ 日常の通院先は値の高い地域から順に、岡山市（40.1%）、津山市（10.1%）、真庭市（7.5%）と続いている。和気町・早島町・久米南町・美咲町・吉備中央町などの値は非常に小さいものとなっている。日常の通院先は、居住地域の近くであることから、回答者の居住地域とほぼ同じ構成となっている。

② 交通手段

- ・ 日常通院する際の交通手段では、「自家用車・バイク」が82.1%で最も高くなっている。次点で、「家族や友人の車に同乗」（13.6%）、「自転車」（11.5%）、「徒歩」（10.8%）と続く。買い物・高度医療に比べ「自転車」・「徒歩」などの使用率が高いのは、住まいに近いところに通院していることが背景にあるものと考えられる。



<地域別の動向>

① 通院先

- ・ 居住地別に日常の通院先をみると、岡山都市圏内の8市ではほぼ8割以上の住民が自市内の病院に通院している。
- ・ 一方で、人口規模の小さな5町については自町内への通院率が比較的低く、自町内での医師が少ない久米南町・美咲町では自町内への通院率は50%を切っている。特に、美咲町は津山市への通院率が自町内への通院率を上回っている。これら5町ではそれぞれ近隣の岡山市・津山市・備前市・倉敷市などへの通院が多い状況である。

	上段度数 下段%	日常の通院先																		
		合計	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	その他	
住所	全体	3020 100.0	600 19.9	215 7.1	165 5.5	233 7.7	303 10.0	163 5.4	183 6.1	162 5.4	158 5.2	177 5.9	223 7.4	79 2.6	66 2.2	60 2.0	38 1.3	60 2.0	135 4.5	
	岡山市北区	408 100.0	380 93.1	10 2.5	2 0.5	10 2.5	-	-	1 0.2	-	-	-	1 0.2	-	-	-	-	-	-	4 1.0
	岡山市中区	204 100.0	40 19.6	157 77.0	3 1.5	3 1.5	-	-	-	-	-	-	-	1 0.5	-	-	-	-	-	-
	岡山市東区	159 100.0	16 10.1	14 8.8	119 74.8	1 0.6	-	-	-	1 0.6	3 1.9	3 1.9	-	-	-	-	-	-	-	2 1.3
	岡山市南区	221 100.0	20 9.0	6 2.7	1 0.5	175 79.2	-	3 1.4	1 0.5	-	-	-	-	-	1 0.5	-	-	-	-	14 6.3
	津山市	242 100.0	1 0.4	2 0.8	-	-	232 95.9	-	-	-	-	-	-	1 0.4	-	-	-	-	-	6 2.5
	玉野市	199 100.0	8 4.0	5 2.5	-	20 10.1	-	159 79.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7 3.5
	総社市	218 100.0	14 6.4	1 0.5	-	1 0.5	-	-	171 78.4	-	-	-	-	1 0.5	-	-	-	-	-	30 13.8
	備前市	180 100.0	4 2.2	1 0.6	2 1.1	3 1.7	-	-	-	145 80.6	6 3.3	-	-	3 1.7	1 0.6	-	-	-	-	15 8.3
	瀬戸内市	198 100.0	12 6.1	7 3.5	27 13.6	1 0.5	-	-	-	2 1.0	148 74.7	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.5
	赤磐市	207 100.0	23 11.1	8 3.9	6 2.9	1 0.5	1 0.5	-	-	1 0.5	-	163 78.7	-	2 1.0	-	-	-	-	-	2 1.0
	真庭市	230 100.0	2 0.9	1 0.4	1 0.4	-	-	-	-	-	1 0.4	-	212 92.2	-	1 0.4	-	-	-	-	12 5.2
	和気町	111 100.0	13 11.7	-	4 3.6	1 0.9	-	-	-	12 10.8	6 5.4	-	-	73 65.8	-	-	-	-	-	2 1.8
	早島町	105 100.0	5 4.8	1 1.0	-	13 12.4	-	-	2 1.9	1 1.0	-	-	-	-	63 60.0	-	-	-	-	20 19.0
	久米南町	121 100.0	24 19.8	1 0.8	-	1 0.8	26 21.5	-	-	-	-	2 1.7	-	-	-	58 47.9	8 6.6	-	-	1 0.8
	美咲町	98 100.0	5 5.1	-	-	-	44 44.9	-	-	-	-	3 3.1	8 8.2	-	-	2 2.0	30 30.6	-	-	6 6.1
	吉備中央町	119 100.0	33 27.7	1 0.8	-	3 2.5	-	1 0.8	8 6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	60 50.4	13 10.9	

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満

② 交通手段

- ・ 居住地別に日常通院する際の交通手段をみると、「自家用車・バイク」「家族や友人の車に同乗」という車利用が主となっているなかで、「自転車」「徒歩」のような短距離移動向きの交通手段の割合も比較的高い状況にある。特に医療機能が集積する岡山市ではこの傾向が顕著である。
- ・ 「鉄道」については総社市・備前市・瀬戸内市・和気町・久米南町で、「路線バス」については岡山市北区・同中区・玉野市・赤磐市・真庭市で比率が高くなっており、これら地域では日常の通院の足として公共交通の重要性が高いといえよう。

上段:度数	日常通院する際の交通手段										
	下段:%	合計	自家用車 バイク	家族や友人の車に 同乗	路線バス	地域生活 交通	鉄道	従来の タクシー	自転車	徒歩	その他
住所	全体	3129 100.0	2573 82.2	427 13.6	154 4.9	24 0.8	98 3.1	121 3.9	360 11.5	337 10.8	17 0.5
	岡山市北区	411 100.0	293 71.3	54 13.1	31 7.5	3 0.7	14 3.4	27 6.6	116 28.2	85 20.7	2 0.5
	岡山市中区	216 100.0	152 70.4	25 11.6	25 11.6	1 0.5	6 2.8	14 6.5	47 21.8	42 19.4	1 0.5
	岡山市東区	163 100.0	137 84.0	17 10.4	8 4.9	1 0.6	3 1.8	7 4.3	17 10.4	16 9.8	-
	岡山市南区	224 100.0	179 79.9	30 13.4	7 3.1	-	4 1.8	8 3.6	47 21.0	28 12.5	2 0.9
	津山市	244 100.0	218 89.3	31 12.7	8 3.3	1 0.4	4 1.6	8 3.3	12 4.9	16 6.6	1 0.4
	玉野市	213 100.0	172 80.8	30 14.1	15 7.0	-	1 0.5	7 3.3	30 14.1	23 10.8	-
	総社市	224 100.0	190 84.8	43 19.2	1 0.4	2 0.9	14 6.3	4 1.8	23 10.3	13 5.8	-
	備前市	192 100.0	161 83.9	28 14.6	9 4.7	1 0.5	13 6.8	8 4.2	16 8.3	16 8.3	1 0.5
	瀬戸内市	211 100.0	180 85.3	31 14.7	4 1.9	-	13 6.2	7 3.3	16 7.6	15 7.1	2 0.9
	赤磐市	216 100.0	179 82.9	32 14.8	18 8.3	1 0.5	2 0.9	4 1.9	4 1.9	23 10.6	1 0.5
	真庭市	233 100.0	203 87.1	34 14.6	14 6.0	7 3.0	3 1.3	11 4.7	14 6.0	17 7.3	2 0.9
	和気町	114 100.0	91 79.8	18 15.8	2 1.8	4 3.5	6 5.3	3 2.6	9 7.9	11 9.6	3 2.6
	早島町	109 100.0	100 91.7	11 10.1	1 0.9	1 0.9	1 0.9	6 5.5	6 5.5	12 11.0	1 0.9
	久米南町	130 100.0	112 86.2	17 13.1	3 2.3	1 0.8	12 9.2	2 1.5	3 2.3	12 9.2	-
	美咲町	105 100.0	94 89.5	13 12.4	5 4.8	1 1.0	2 1.9	3 2.9	-	3 2.9	-
	吉備中央町	124 100.0	112 90.3	13 10.5	3 2.4	-	-	2 1.6	-	5 4.0	1 0.8

■ 10%以上 ■ 5%以上 10%未満

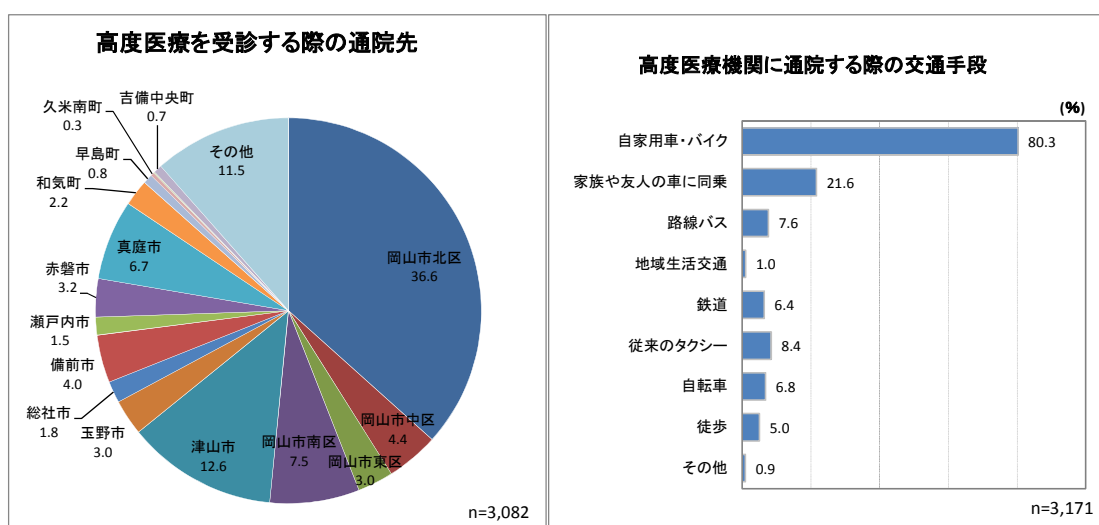
問 4-2. 高度医療を受診する際の通院先・交通手段

① 通院先

- ・ 高度医療を受診する際の通院先は、都市部に集中する傾向がある。特に岡山市北区は36.6%と高い割合を占めており、日常の通院先よりも16.8ポイントも高くなっている。

② 交通手段

- ・ 交通手段では、日常の通院と同様「自家用車・バイク」が多い。また、高度医療機関が自市町内に存在しない場合、他市町へ出向く必要があることから、「自転車」「徒歩」のような移動手段の比率が低くなり、「路線バス」「鉄道」のような公共交通の比率が高くなっている。



<地域別の動向>

① 通院先

- ・ 居住地別に高度医療を受診する際の通院先をみると、圏域南部では岡山市(特に北区)に、圏域北部では津山市に高度医療機能の集積があり、周辺市町の人を受診しに行く傾向がみられる。
- ・ また、総社市・早島町は「その他」の地域への通院割合が非常に高いが、ここでの「その他」の回答は大部分が倉敷市となっている。
- ・ 久米南町・美咲町・吉備中央町には二次救急医療機関がなく、特に美咲町には病院が立地していないことから、とりわけ他市町への通院が多くなっている。

上段:度数 下段:%		高度医療を受診する際の通院先																		
		合計	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	その他	
住所	全体	3045	1121	133	89	232	381	90	56	124	45	99	201	67	24	8	3	22	350	
		100.0	36.8	4.4	2.9	7.6	12.5	3.0	1.8	4.1	1.5	3.3	6.6	2.2	0.8	0.3	0.1	0.7	11.5	
	岡山市北区	405	375	5	1	8	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	14
		100.0	92.6	1.2	0.2	2.0	-	-	-	-	0.2	-	0.2	-	-	-	-	-	-	3.5
	岡山市中区	209	138	62	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
		100.0	66.0	29.7	-	1.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4
	岡山市東区	156	82	10	50	6	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
		100.0	52.6	6.4	32.1	3.8	-	-	-	1.3	-	1.3	-	-	-	-	-	-	-	2.6
	岡山市南区	219	64	7	-	125	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
		100.0	29.2	3.2	-	57.1	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0
	津山市	245	4	1	-	1	230	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	6
		100.0	1.6	0.4	-	0.4	93.9	-	-	-	-	-	1.2	-	-	-	-	-	-	2.4
	玉野市	199	27	9	-	56	-	89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
		100.0	13.6	4.5	-	28.1	-	44.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.0
	総社市	224	22	2	-	1	-	-	55	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	142
		100.0	9.8	0.9	-	0.4	-	-	24.6	-	-	-	0.4	-	0.4	-	-	-	-	63.4
	備前市	185	37	7	3	5	-	-	-	105	1	1	-	2	1	-	-	-	-	23
		100.0	20.0	3.8	1.6	2.7	-	-	-	56.8	0.5	0.5	-	1.1	0.5	-	-	-	-	12.4
瀬戸内市	195	80	17	33	12	-	-	-	4	43	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
	100.0	41.0	8.7	16.9	6.2	-	-	-	2.1	22.1	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	
赤磐市	210	100	8	-	4	-	-	-	2	-	90	-	4	-	-	-	-	-	2	
	100.0	47.6	3.8	-	1.9	-	-	-	1.0	-	42.9	-	1.9	-	-	-	-	-	1.0	
真庭市	227	8	1	-	2	10	-	-	-	-	-	188	-	-	-	-	-	-	18	
	100.0	3.5	0.4	-	0.9	4.4	-	-	-	-	-	82.8	-	-	-	-	-	-	7.9	
和気町	115	34	-	2	-	-	-	-	11	-	5	-	61	-	-	-	-	-	2	
	100.0	29.6	-	1.7	-	-	-	-	9.6	-	4.3	-	53.0	-	-	-	-	-	1.7	
早島町	103	9	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	63	
	100.0	8.7	1.9	-	6.8	-	-	-	-	-	-	-	-	21.4	-	-	-	-	61.2	
久米南町	130	59	-	-	1	62	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	
	100.0	45.4	-	-	0.8	47.7	-	-	-	-	0.8	-	-	-	5.4	-	-	-	-	
美咲町	102	5	1	-	-	79	-	-	-	-	-	8	-	-	1	3	-	-	5	
	100.0	4.9	1.0	-	-	77.5	-	-	-	-	-	7.8	-	-	1.0	2.9	-	-	4.9	
吉備中央町	121	77	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	22	20	-	
	100.0	63.6	0.8	-	-	-	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	18.2	16.5	-	

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満

② 交通手段

- ・ 高度医療機関への交通手段としては、圏域全体で「自家用車・バイク」「家族や友人の車に同乗」の割合が高いのは、日常の医療機関への交通手段と同様である。
- ・ また、高度医療機関が集積する岡山市では「自転車」「徒歩」の割合が高いという傾向も同じである。その中で、緊急時や重病時を想定してのことと思われるが「従来のタクシー」の比率も高くなっている。
- ・ 一方で、高度医療機関が岡山市・津山市に集積していることを背景に「鉄道」の利用も総社市・備前市・瀬戸内市・和気町を中心に多い。また、高度医療機関には近隣にバス停が整備されているケースが多いことから「路線バス」も玉野市・赤磐市などで重要な交通手段となっている。これらから「鉄道」「路線バス」といった公共交通機関は、高度医療機関への交通手段としての重要性が高いことがわかる。

上段度数	下段%	高度医療機関に通院する際の交通手段									
		合計	自家用車 バイク	家族や友 人の車に 同乗	路線バス	地域生活 交通	鉄道	従来の タクシー	自転車	徒歩	その他
住所	全体	3132	2517	677	239	28	198	261	213	157	27
		100.0	80.4	21.6	7.6	0.9	6.3	8.3	6.8	5.0	0.9
	岡山市北区	407	296	70	41	6	14	61	80	56	7
		100.0	72.7	17.2	10.1	1.5	3.4	15.0	19.7	13.8	1.7
	岡山市中区	216	156	51	45	2	14	28	27	9	-
		100.0	72.2	23.6	20.8	0.9	6.5	13.0	12.5	4.2	-
	岡山市東区	160	127	31	15	1	23	11	8	9	1
		100.0	79.4	19.4	9.4	0.6	14.4	6.9	5.0	5.6	0.6
	岡山市南区	226	174	56	18	-	11	29	32	16	2
		100.0	77.0	24.8	8.0	-	4.9	12.8	14.2	7.1	0.9
	津山市	246	221	45	12	1	6	16	7	4	2
		100.0	89.8	18.3	4.9	0.4	2.4	6.5	2.8	1.6	0.8
	玉野市	211	171	47	25	2	2	17	15	11	2
		100.0	81.0	22.3	11.8	0.9	0.9	8.1	7.1	5.2	0.9
	総社市	226	185	59	3	4	26	14	8	5	2
		100.0	81.9	26.1	1.3	1.8	11.5	6.2	3.5	2.2	0.9
	備前市	195	155	44	11	1	23	9	10	9	1
		100.0	79.5	22.6	5.6	0.5	11.8	4.6	5.1	4.6	0.5
	瀬戸内市	212	171	50	13	-	31	19	5	4	3
		100.0	80.7	23.6	6.1	-	14.6	9.0	2.4	1.9	1.4
赤磐市	219	172	52	28	1	5	9	4	10	-	
	100.0	78.5	23.7	12.8	0.5	2.3	4.1	1.8	4.6	-	
真庭市	231	202	50	10	5	4	16	5	9	2	
	100.0	87.4	21.6	4.3	2.2	1.7	6.9	2.2	3.9	0.9	
和気町	115	84	28	5	2	18	6	8	5	3	
	100.0	73.0	24.3	4.3	1.7	15.7	5.2	7.0	4.3	2.6	
早島町	105	94	16	3	-	5	8	2	4	-	
	100.0	89.5	15.2	2.9	-	4.8	7.6	1.9	3.8	-	
久米南町	132	113	28	6	1	13	7	1	4	1	
	100.0	85.6	21.2	4.5	0.8	9.8	5.3	0.8	3.0	0.8	
美咲町	108	92	25	2	1	2	7	-	-	-	
	100.0	85.2	23.1	1.9	0.9	1.9	6.5	-	-	-	
吉備中央町	123	104	25	2	1	1	4	1	2	1	
	100.0	84.6	20.3	1.6	0.8	0.8	3.3	0.8	1.6	0.8	

■ 10%以上 ■ 5%以上 10%未満

<年齢別の動向>

- ・ 年齢別に交通手段の利用状況についてみると、「自家用車・バイク」「家族や友人の車に同乗」の割合が高いのは全体の傾向と同じであるが、その中でも高齢になるほど「自家用車・バイク」の割合が下がる一方で「家族や友人の車に同乗」が多くなる傾向がみられる。
- ・ 70代以上では「路線バス」「従来のタクシー」の割合が高いという特徴もある
- ・ 「路線バス」「鉄道」については、30代・40代を除く広い世代で高度医療機関への交通手段として利用されている。

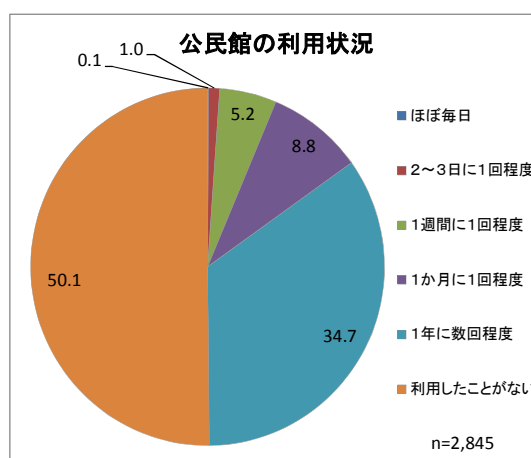
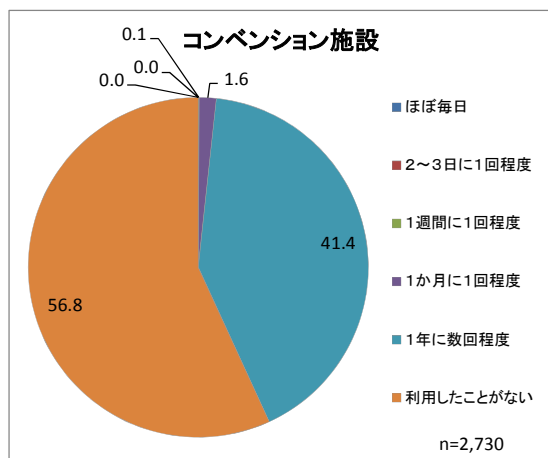
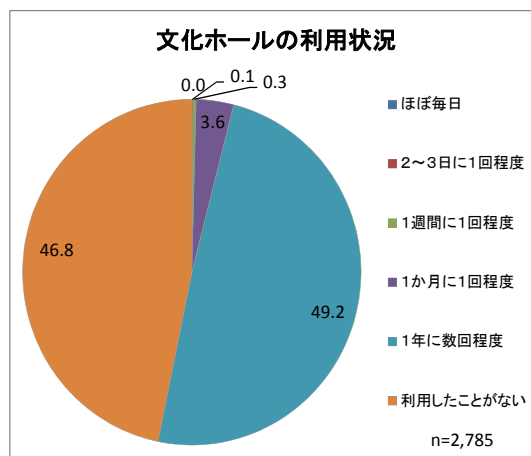
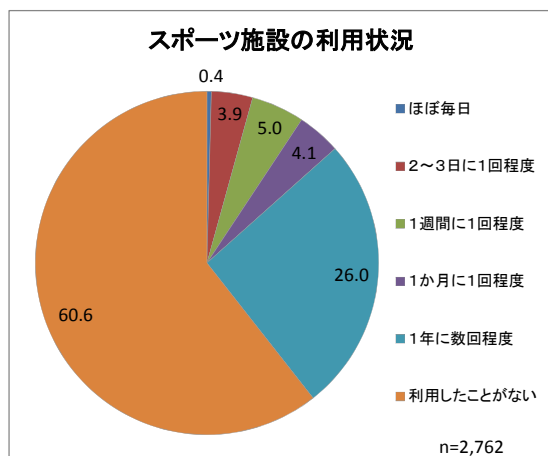
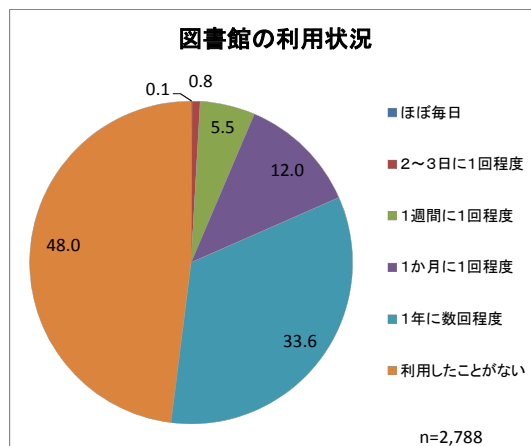
上段:度数 下段:%		高度医療機関に通院する際の交通手段									
		合計	自家用車 バイク	家族や友人 の車に同乗	路線バス	地域生活 交通	鉄道	従来の タクシー	自転車	徒歩	その他
年齢	全体	3161 100.0	2538 80.3	683 21.6	241 7.6	31 1.0	204 6.5	266 8.4	215 6.8	159 5.0	27 0.9
	20～29歳	247 100.0	187 75.7	60 24.3	14 5.7	- -	16 6.5	9 3.6	22 8.9	9 3.6	2 0.8
	30～39歳	377 100.0	343 91.0	47 12.5	11 2.9	1 0.3	13 3.4	12 3.2	24 6.4	14 3.7	3 0.8
	40～49歳	472 100.0	439 93.0	51 10.8	15 3.2	3 0.6	12 2.5	14 3.0	25 5.3	13 2.8	- -
	50～59歳	557 100.0	494 88.7	79 14.2	35 6.3	3 0.5	32 5.7	27 4.8	30 5.4	22 3.9	3 0.5
	60～69歳	849 100.0	686 80.8	202 23.8	69 8.1	6 0.7	66 7.8	74 8.7	50 5.9	37 4.4	10 1.2
	70歳以上	659 100.0	389 59.0	244 37.0	97 14.7	18 2.7	65 9.9	130 19.7	64 9.7	64 9.7	9 1.4

■ 10%以上 ■ 5%以上 10%未満

問5. (1) 公共施設の利用状況

<全体>

- ・ 公共施設（図書館・スポーツ施設・文化ホール・コンベンション施設・公民館）の利用状況では、全施設を通じ「利用したことがない」が約半数となっている。
- ・ 施設ごとでは、図書館は「1か月に1回程度」以上の利用頻度が18.4%と他施設に比べ利用頻度が高い施設となっている。次いで利用頻度が高いのが「公民館」（同15.1%）、「スポーツ施設」（同13.4%）である。
- ・ 文化ホール・コンベンション施設はともに「1か月に1回程度」以上の利用頻度は少なく、「1年に数回程度」の利用が多い。



<地域別の動向>

① 図書館

- 居住地別に図書館の利用状況をみると、どの地域も「利用したことがない」「1年に数回程度」と回答した割合が高く、「1カ月に1回程度」と回答した割合が最も高かった地域は赤磐市であった。また、「1週間に1回程度」と回答した割合の多かった地域は比較的都市部及びその周辺市町が多い。

上段:度数 下段:%		図書館の利用状況						
合計		ほぼ毎日	2～3日に1回程度	1週間に1回程度	1か月に1回程度	1年に数回程度	利用したことがない	
住所	全体	2760	4	23	151	334	919	1329
		100.0	0.1	0.8	5.5	12.1	33.3	48.2
	岡山市北区	377	1	3	25	52	133	163
		100.0	0.3	0.8	6.6	13.8	35.3	43.2
	岡山市中区	193	-	2	15	22	81	73
		100.0	-	1.0	7.8	11.4	42.0	37.8
	岡山市東区	147	-	3	7	15	61	61
		100.0	-	2.0	4.8	10.2	41.5	41.5
	岡山市南区	201	-	1	8	27	59	106
		100.0	-	0.5	4.0	13.4	29.4	52.7
	津山市	212	-	2	15	34	77	84
		100.0	-	0.9	7.1	16.0	36.3	39.6
	玉野市	188	-	-	6	19	45	118
		100.0	-	-	3.2	10.1	23.9	62.8
	総社市	200	-	-	14	18	77	91
		100.0	-	-	7.0	9.0	38.5	45.5
	備前市	172	-	1	7	16	50	98
		100.0	-	0.6	4.1	9.3	29.1	57.0
	瀬戸内市	178	-	1	11	13	53	100
		100.0	-	0.6	6.2	7.3	29.8	56.2
赤磐市	188	2	3	16	32	66	69	
	100.0	1.1	1.6	8.5	17.0	35.1	36.7	
真庭市	201	-	-	10	22	60	109	
	100.0	-	-	5.0	10.9	29.9	54.2	
和気町	97	-	1	4	15	29	48	
	100.0	-	1.0	4.1	15.5	29.9	49.5	
早島町	98	1	2	6	15	39	35	
	100.0	1.0	2.0	6.1	15.3	39.8	35.7	
久米南町	114	-	3	2	19	41	49	
	100.0	-	2.6	1.8	16.7	36.0	43.0	
美咲町	89	-	-	3	6	30	50	
	100.0	-	-	3.4	6.7	33.7	56.2	
吉備中央町	105	-	1	2	9	18	75	
	100.0	-	1.0	1.9	8.6	17.1	71.4	

② スポーツ施設

- スポーツ施設では、どの地域も「利用したことがない」「1年に数回程度」と回答した割合が高い。「2～3日に1回程度」と回答した人の割合が最も高かったのは津山市で、「1週間に1回程度」では備前市が最も高かった。

上段:度数 下段:%		スポーツ施設の利用状況						
合計		ほぼ毎日	2～3日に1回程度	1週間に1回程度	1か月に1回程度	1年に数回程度	利用したことがない	
住所	全体	2735	12	105	136	111	712	1659
		100.0	0.4	3.8	5.0	4.1	26.0	60.7
	岡山市北区	366	1	10	19	19	106	211
		100.0	0.3	2.7	5.2	5.2	29.0	57.7
	岡山市中区	190	1	5	8	5	47	124
		100.0	0.5	2.6	4.2	2.6	24.7	65.3
	岡山市東区	143	3	4	10	2	36	88
		100.0	2.1	2.8	7.0	1.4	25.2	61.5
	岡山市南区	194	-	8	13	11	50	112
		100.0	-	4.1	6.7	5.7	25.8	57.7
	津山市	214	2	16	12	10	61	113
		100.0	0.9	7.5	5.6	4.7	28.5	52.8
	玉野市	188	1	6	6	5	35	135
		100.0	0.5	3.2	3.2	2.7	18.6	71.8
	総社市	200	2	7	7	10	50	124
		100.0	1.0	3.5	3.5	5.0	25.0	62.0
	備前市	173	-	7	14	5	42	105
		100.0	-	4.0	8.1	2.9	24.3	60.7
	瀬戸内市	178	-	8	5	6	49	110
		100.0	-	4.5	2.8	3.4	27.5	61.8
赤磐市	182	-	9	11	9	45	108	
	100.0	-	4.9	6.0	4.9	24.7	59.3	
真庭市	203	2	9	7	15	65	105	
	100.0	1.0	4.4	3.4	7.4	32.0	51.7	
和気町	98	-	5	7	2	30	54	
	100.0	-	5.1	7.1	2.0	30.6	55.1	
早島町	96	-	6	5	3	21	61	
	100.0	-	6.3	5.2	3.1	21.9	63.5	
久米南町	117	-	2	5	4	31	75	
	100.0	-	1.7	4.3	3.4	26.5	64.1	
美咲町	89	-	2	4	1	25	57	
	100.0	-	2.2	4.5	1.1	28.1	64.0	
吉備中央町	104	-	1	3	4	19	77	
	100.0	-	1.0	2.9	3.8	18.3	74.0	

③ 文化ホール

- ・ 居住地別に文化ホールの利用状況をみると、全ての地域で「利用したことがない」「1年に数回程度」と回答した割合が高かった。

	上段:度数 下段:%	文化ホールの利用状況						
		合計	ほぼ毎日	2～3日に1回程度	1週間に1回程度	1か月に1回程度	1年に数回程度	利用したことがない
住所	全体	2757 100.0	1 0.1	3 0.1	7 0.3	98 3.6	1380 49.3	1288 46.7
	岡山市北区	371 100.0	1 0.3	-	1 0.3	10 2.7	199 53.6	160 43.1
	岡山市中区	195 100.0	-	-	-	11 5.6	112 57.4	72 36.9
	岡山市東区	145 100.0	-	-	-	7 4.8	72 49.7	66 45.5
	岡山市南区	188 100.0	-	-	-	7 3.7	91 48.4	90 47.9
	津山市	217 100.0	-	-	-	7 3.2	117 53.9	93 42.9
	玉野市	192 100.0	-	-	2 1.0	6 3.1	76 39.6	108 56.3
	総社市	200 100.0	-	-	1 0.5	7 3.5	93 46.5	99 49.5
	備前市	175 100.0	-	-	1 0.6	7 4.0	68 38.9	99 56.6
	瀬戸内市	183 100.0	-	-	1 0.5	5 2.7	87 47.5	90 49.2
	赤磐市	177 100.0	-	1 0.6	-	5 2.8	76 42.9	95 53.7
	真庭市	202 100.0	-	1 0.5	1 0.5	11 5.4	110 54.5	79 39.1
	和気町	99 100.0	-	-	-	4 4.0	51 51.5	44 44.4
	早島町	99 100.0	-	-	-	6 6.1	52 52.5	41 41.4
	久米南町	119 100.0	-	1 0.8	-	3 2.5	69 58.0	46 38.7
	美咲町	90 100.0	-	-	-	1 1.1	35 38.9	54 60.0
	吉備中央町	105 100.0	-	-	-	1 1.0	52 49.5	52 49.5

④ コンベンション施設

- ・ コンベンション施設では、「利用したことがない」または「1年に数回程度」と回答した割合が全ての地域で90%以上となっている。1か月以内に複数回利用する人はわずか50人弱であった。

	上段:度数 下段:%	コンベンション施設						
		合計	ほぼ毎日	2～3日に1回程度	1週間に1回程度	1か月に1回程度	1年に数回程度	利用したことがない
住所	全体	2703 100.0	-	1	4 0.1	44 1.6	1122 41.5	1532 56.7
	岡山市北区	374 100.0	-	-	-	3 0.8	207 55.3	164 43.9
	岡山市中区	186 100.0	-	1 0.5	-	2 1.1	99 53.2	84 45.2
	岡山市東区	145 100.0	-	-	-	2 1.4	65 44.8	78 53.8
	岡山市南区	190 100.0	-	-	-	7 3.7	97 51.1	86 45.3
	津山市	212 100.0	-	-	1 0.5	4 1.9	91 42.9	116 54.7
	玉野市	185 100.0	-	-	1 0.5	4 2.2	58 31.4	122 65.9
	総社市	197 100.0	-	-	-	1 0.5	68 34.5	128 65.0
	備前市	166 100.0	-	-	-	2 1.2	51 30.7	113 68.1
	瀬戸内市	181 100.0	-	-	1 0.6	4 2.2	75 41.4	101 55.8
	赤磐市	177 100.0	-	-	-	5 2.8	67 37.9	105 59.3
	真庭市	195 100.0	-	-	-	2 1.0	76 39.0	117 60.0
	和気町	97 100.0	-	-	-	1 1.0	36 37.1	60 61.9
	早島町	94 100.0	-	-	1 1.1	6 6.4	34 36.2	53 56.4
	久米南町	117 100.0	-	-	-	-	39 33.3	78 66.7
	美咲町	86 100.0	-	-	-	1 1.2	25 29.1	60 69.8
	吉備中央町	101 100.0	-	-	-	-	34 33.7	67 66.3

⑤ 公民館

- ・ 居住地別に公民館の利用状況をみると、どの地域も「利用したことがない」「1年に数回程度」と回答した割合が高い。「1カ月に1回程度」と回答した割合が比較的に高かった地域は岡山市南区・和気町・久米南町・美咲町・吉備中央町であった。

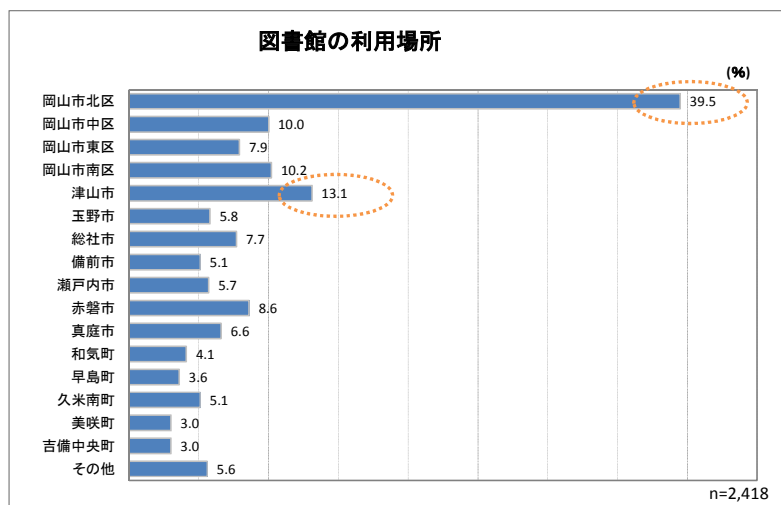
	上段:度数 下段:%	公民館の利用状況						
		合計	ほぼ毎日	2～3日に1回程度	1週間に1回程度	1か月に1回程度	1年に数回程度	利用したことがない
住所	全体	2817 100.0	3 0.1	29 1.0	146 5.2	251 8.9	977 34.7	1411 50.1
	岡山市北区	375 100.0	2 0.5	2 0.5	15 4.0	30 8.0	112 29.9	214 57.1
	岡山市中区	194 100.0	-	3 1.5	10 5.2	15 7.7	52 26.8	114 58.8
	岡山市東区	144 100.0	-	2 1.4	7 4.9	13 9.0	54 37.5	68 47.2
	岡山市南区	195 100.0	-	2 1.0	13 6.7	20 10.3	58 29.7	102 52.3
	津山市	221 100.0	-	4 1.8	15 6.8	21 9.5	77 34.8	104 47.1
	玉野市	192 100.0	-	2 1.0	11 5.7	11 5.7	57 29.7	111 57.8
	総社市	206 100.0	-	3 1.5	11 5.3	16 7.8	65 31.6	111 53.9
	備前市	178 100.0	-	1 0.6	13 7.3	15 8.4	59 33.1	90 50.6
	瀬戸内市	193 100.0	-	2 1.0	17 8.8	15 7.8	78 40.4	81 42.0
	赤磐市	194 100.0	-	1 0.5	16 8.2	16 8.2	72 37.1	89 45.9
	真庭市	208 100.0	-	-	7 3.4	18 8.7	92 44.2	91 43.8
	和気町	99 100.0	1 1.0	-	3 3.0	13 13.1	32 32.3	50 50.5
	早島町	96 100.0	-	3 3.1	4 4.2	7 7.3	32 33.3	50 52.1
	久米南町	121 100.0	-	3 2.5	3 2.5	15 12.4	56 46.3	44 36.4
	美咲町	93 100.0	-	1 1.1	1 1.1	10 10.8	40 43.0	41 44.1
	吉備中央町	108 100.0	-	-	-	16 14.8	41 38.0	51 47.2

問5. (2) 公共施設の利用場所について

<全体>

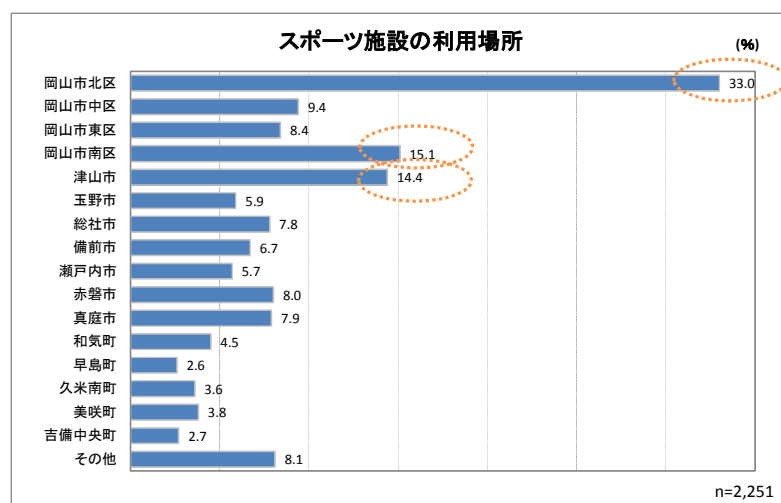
① 図書館の利用場所

- 岡山都市圏に住む人の図書館の利用場所は、岡山市北区が39.5%で最も高かった。岡山市以外の市町で高かったものは、津山市(13.1%)、赤磐市(8.6%)、総社市(7.7%)となっている。最も低かったのは、美咲町・吉備中央町の3.0%であった。



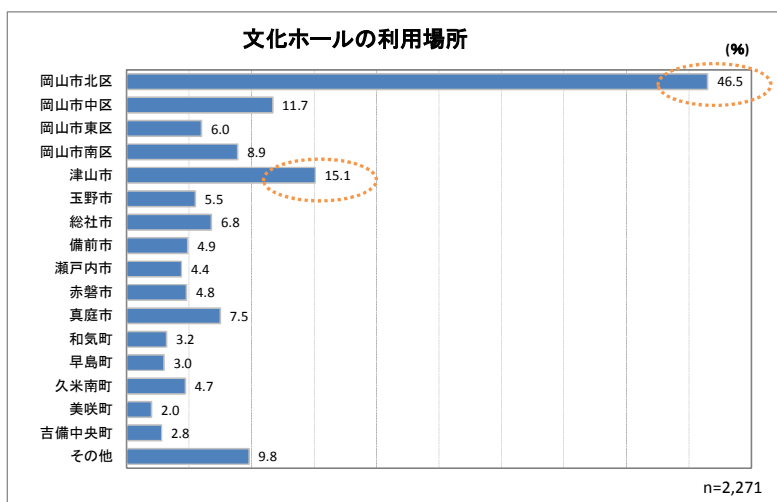
② スポーツ施設の利用場所

- スポーツ施設の利用場所は、岡山市北区が33.0%で最も高く、次いで南区の15.1%となっている。岡山市以外の市町で高かったものは、津山市(14.4%)、赤磐市(8.0%)、真庭市(7.9%)となっている。最も低かったのは、早島町の2.6%であった。



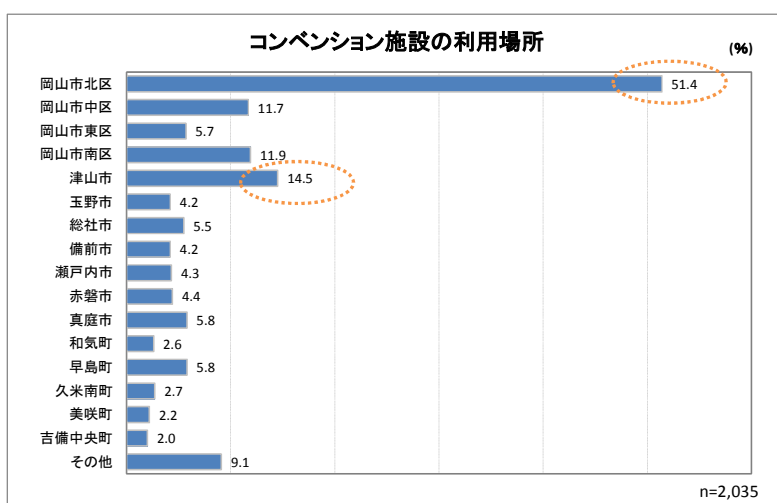
③ 文化ホールの利用場所

- 文化ホールの利用場所は、岡山市北区が 46.5%で最も高かった。岡山市以外の市町で高かったのは、津山市 (15.1%)、真庭市 (7.5%)、総社市 (6.8%) であった。最も低かったのは、美咲町の 2.0%であった。



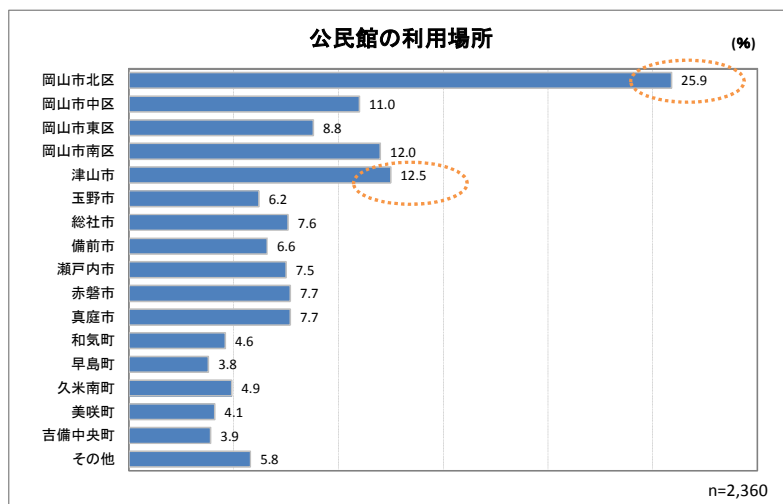
④ コンベンション施設の利用場所

- コンベンション施設の利用場所は、岡山市北区が 51.4%で最も高かった。岡山市以外の市町で高かったのは、津山市 (14.5%)、真庭市・早島町 (5.8%) となっている。最も低かったのは、吉備中央町の 2.0%であった。



⑤ 公民館の利用場所

- ・ 公民館の利用場所は、岡山市北区が 25.9%で最も高かった。岡山市以外で高い比率となったのは、津山市 (12.5%)、赤磐市・真庭市 (7.7%) となっている。最も低かったのは、早島町 3.8%であった。



<地域別の動向>

① 図書館

- ・ 居住地別に図書館の利用場所をみると、ほとんどの地域は自市区町内の図書館の利用率が高いが、岡山市中区だけは自区内の図書館の利用率が 54.7%と低く、83.1%が同市北区の図書館を利用している。
- ・ 圏域内の大部分の市町では自市町内に加え、岡山市北区での図書館の利用がみられるが、特に吉備中央町は多くの人々が岡山市北区の図書館を利用している。
- ・ また、真庭市・久米南町・美咲町といった津山市に比較的近い地域は津山市の図書館の利用率が高い。

上段:度数 下段:%		図書館の利用場所																		
		合計	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	その他	
住所	全体	2395 100.0	949 39.6	242 10.1	190 7.9	246 10.3	311 13.0	140 5.8	185 7.7	124 5.2	136 5.7	205 8.6	157 6.6	98 4.1	86 3.6	122 5.1	71 3.0	69 2.9	135 5.6	
	岡山市北区	324 100.0	315 97.2	60 18.5	7 2.2	42 13.0	2 0.6	-	8 2.5	-	-	2 0.6	2 0.6	-	2 0.6	2 0.6	-	-	1 0.3	11 3.4
	岡山市中区	172 100.0	143 83.1	94 54.7	9 5.2	6 3.5	1 0.6	-	-	-	1 0.6	1 0.6	-	-	-	-	-	1 0.6	-	5 2.9
	岡山市東区	134 100.0	50 37.3	12 9.0	110 82.1	7 5.2	-	-	-	2 1.5	3 2.2	11 8.2	-	1 0.7	-	-	-	-	-	1 0.7
	岡山市南区	174 100.0	92 52.9	16 9.2	-	138 79.3	1 0.6	6 3.4	-	-	-	1 0.6	-	-	4 2.3	-	-	-	-	5 2.9
	津山市	198 100.0	26 13.1	2 1.0	-	1 0.5	192 97.0	-	-	-	-	-	5 2.5	-	-	7 3.5	14 7.1	-	-	16 8.1
	玉野市	157 100.0	34 21.7	11 7.0	-	39 24.8	-	132 84.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 1.3
	総社市	177 100.0	35 19.8	6 3.4	-	-	-	2 1.1	165 93.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.6	37 20.9
	備前市	141 100.0	39 27.7	9 6.4	6 4.3	1 0.7	-	-	1 0.7	113 80.1	13 9.2	3 2.1	-	20 14.2	-	-	-	-	-	12 8.5
	瀬戸内市	151 100.0	37 24.5	10 6.6	51 33.8	3 2.0	-	-	-	4 2.6	115 76.2	1 0.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	赤磐市	172 100.0	45 26.2	6 3.5	6 3.5	1 0.6	1 0.6	-	-	1 0.6	2 1.2	167 97.1	-	5 2.9	-	-	-	-	-	2 1.2
	真庭市	160 100.0	20 12.5	1 0.6	-	1 0.6	49 30.6	-	1 0.6	-	2 1.3	-	146 91.3	-	-	-	-	-	-	18 11.3
	和気町	84 100.0	25 29.8	5 6.0	-	1 1.2	-	-	-	4 4.8	-	16 19.0	-	72 85.7	1 1.2	-	-	-	-	1 1.2
	早島町	88 100.0	23 26.1	3 3.4	-	5 5.7	-	-	-	-	-	-	-	-	79 89.8	-	-	-	-	15 17.0
	久米南町	106 100.0	17 16.0	4 3.8	-	1 0.9	28 26.4	-	-	-	-	2 1.9	-	-	-	-	97 91.5	-	-	1 0.9
	美咲町	77 100.0	7 9.1	1 1.3	-	-	37 48.1	-	-	-	-	1 1.3	3 3.9	-	-	-	16 20.8	56 72.7	-	2 2.6
	吉備中央町	80 100.0	41 51.3	2 2.5	1 1.3	-	-	-	10 12.5	-	-	-	-	1 1.3	-	-	-	-	67 83.8	7 8.8

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満

② スポーツ施設

- ・ 居住地別にスポーツ施設の利用場所をみると、どの地域も自市区町内のスポーツ施設の利用率が最も高い。
- ・ 岡山市北区はほぼ全ての市町から 10%以上の人々がスポーツ施設を利用しに来ている。また、玉野市・早島町は岡山市南区のスポーツ施設の利用率が高く、瀬戸内市は岡山市東区の利用率が高い。
- ・ 真庭市・久米南町・美咲町といった圏域北部では津山市のスポーツ施設の利用率が高い。

	上段:度数 下段:%	スポーツ施設の利用場所																		
		合計	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	その他	
住所	全体	2231 100.0	737 33.0	211 9.5	189 8.5	338 15.2	321 14.4	132 5.9	175 7.8	151 6.8	128 5.7	177 7.9	174 7.8	100 4.5	59 2.6	79 3.5	85 3.8	59 2.6	181 8.1	
	岡山市北区	297 100.0	274 92.3	53 17.8	5 1.7	60 20.2	3 1.0	2 0.7	12 4.0	-	-	4 1.3	2 0.7	-	2 0.7	1 0.3	-	-	-	16 5.4
	岡山市中区	153 100.0	101 66.0	102 66.7	15 9.8	16 10.5	-	-	2 1.3	-	-	4 2.6	1 0.7	2 1.3	-	-	-	-	-	5 3.3
	岡山市東区	121 100.0	35 28.9	11 9.1	91 75.2	12 9.9	1 0.8	-	2 1.7	3 2.5	5 4.1	13 10.7	-	1 0.8	-	-	-	-	-	2 1.7
	岡山市南区	181 100.0	72 39.8	13 7.2	2 1.1	163 90.1	1 0.6	8 4.4	-	-	-	1 0.6	-	-	4 2.2	-	-	-	-	5 2.8
	津山市	184 100.0	20 10.9	-	-	-	179 97.3	-	-	-	-	-	-	8 4.3	-	3 1.6	18 9.8	-	-	20 10.9
	玉野市	138 100.0	18 13.0	2 1.4	-	57 41.3	1 0.7	118 85.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 2.2
	総社市	159 100.0	31 19.5	3 1.9	-	1 0.6	-	2 1.3	140 88.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.6	51 32.1
	備前市	139 100.0	19 13.7	4 2.9	6 4.3	-	1 0.7	1 0.7	-	122 87.8	14 10.1	3 2.2	-	26 18.7	-	-	-	-	-	11 7.9
	瀬戸内市	148 100.0	19 12.8	7 4.7	60 40.5	10 6.8	-	-	-	14 9.5	106 71.6	2 1.4	-	-	-	-	-	-	-	6 4.1
	赤磐市	152 100.0	47 30.9	6 3.9	7 4.6	3 2.0	1 0.7	-	-	1 0.7	2 1.3	134 88.2	-	8 5.3	-	-	-	-	-	8 5.3
	真庭市	170 100.0	12 7.1	-	-	2 1.2	55 32.4	1 0.6	1 0.6	-	1 0.6	-	158 92.9	-	-	-	-	3 1.8	-	17 10.0
	和気町	73 100.0	13 17.8	5 6.8	3 4.1	1 1.4	-	-	-	11 15.1	10 13.7	-	63 86.3	-	-	-	-	-	-	1 1.4
	早島町	74 100.0	12 16.2	2 2.7	-	10 13.5	-	-	2 2.7	-	-	-	-	-	53 71.6	-	-	-	-	23 31.1
	久米南町	92 100.0	24 26.1	1 1.1	-	-	32 34.8	-	1 1.1	-	-	1 1.1	-	-	-	71 77.2	9 9.8	-	-	3 3.3
	美咲町	77 100.0	8 10.4	-	-	1 1.3	47 61.0	-	-	-	-	4 5.2	5 6.5	-	-	3 3.9	55 71.4	1 1.3	3 3.9	
	吉備中央町	73 100.0	32 43.8	2 2.7	-	2 2.7	-	-	15 20.5	-	-	1 1.4	-	-	-	1 1.4	-	57 78.1	7 9.6	

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満

③ 文化ホール

- ・ 居住地別に文化ホールの利用場所をみると、自市区町内の利用率は岡山市北区・津山市が90%以上となっている。
- ・ 岡山市北区は岡山都市圏における全ての市町の10%以上の人が文化ホールを利用しに来ている。
- ・ また、津山市の文化ホールは真庭市・久米南町・美咲町といった圏域北部での利用率が高い。

	上段度数 下段:%	文化ホールの利用場所																		
		合計	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	その他	
住所	全体	2256 100.0	1050 46.5	264 11.7	137 6.1	201 8.9	339 15.0	126 5.6	154 6.8	112 5.0	101 4.5	109 4.8	168 7.4	72 3.2	67 3.0	106 4.7	44 2.0	63 2.8	222 9.8	
	岡山市北区	308 100.0	293 95.1	65 21.1	3 1.0	32 10.4	3 1.0	-	12 3.9	-	-	-	1 0.3	-	2 0.6	1 0.3	-	-	1 0.3	22 7.1
	岡山市中区	154 100.0	125 81.2	91 59.1	8 5.2	3 1.9	-	-	-	-	-	1 0.6	-	-	-	-	-	-	-	16 10.4
	岡山市東区	125 100.0	78 62.4	15 12.0	66 52.8	2 1.6	-	1 0.8	-	3 2.4	5 4.0	7 5.6	-	-	-	-	-	-	-	5 4.0
	岡山市南区	163 100.0	107 65.6	18 11.0	1 0.6	102 62.6	1 0.6	5 3.1	-	-	-	-	-	-	8 4.9	-	-	-	1 0.6	9 5.5
	津山市	194 100.0	29 14.9	6 3.1	1 0.5	1 0.5	182 93.8	-	-	-	-	-	9 4.6	-	-	5 2.6	9 4.6	-	-	20 10.3
	玉野市	156 100.0	47 30.1	9 5.8	-	40 25.6	-	117 75.0	-	-	-	-	-	-	-	1 0.6	-	-	-	6 3.8
	総社市	164 100.0	37 22.6	9 5.5	1 0.6	1 0.6	-	2 1.2	130 79.3	-	-	-	-	-	1 0.6	-	1 0.6	2 1.2	57 34.8	
	備前市	135 100.0	46 34.1	10 7.4	10 7.4	-	-	-	-	94 69.6	11 8.1	-	-	16 11.9	-	-	-	-	-	18 13.3
	瀬戸内市	139 100.0	56 40.3	12 8.6	40 28.8	7 5.0	-	1 0.7	-	2 1.4	82 59.0	-	-	-	-	-	-	-	-	12 8.6
	赤磐市	144 100.0	76 52.8	12 8.3	4 2.8	1 0.7	1 0.7	-	1 0.7	2 1.4	3 2.1	97 67.4	-	5 3.5	-	-	-	-	2 1.4	6 4.2
	真庭市	179 100.0	25 14.0	2 1.1	1 0.6	2 1.1	62 34.6	-	1 0.6	-	-	-	154 86.0	-	-	-	-	-	-	18 10.1
	和気町	73 100.0	34 46.6	7 9.6	1 1.4	1 1.4	-	-	-	11 15.1	3 4.1	-	51 69.9	-	-	-	-	-	-	-
	早島町	74 100.0	20 27.0	3 4.1	-	5 6.8	-	-	-	-	-	-	-	56 75.7	-	-	-	-	-	20 27.0
	久米南町	103 100.0	27 26.2	3 2.9	-	-	37 35.9	-	-	-	-	-	-	-	-	88 85.4	3 2.9	-	-	1 1.0
	美咲町	71 100.0	14 19.7	1 1.4	1 1.4	1 1.4	53 74.6	-	-	-	-	1 1.4	4 5.6	-	-	11 15.5	31 43.7	-	-	2 2.8
	吉備中央町	74 100.0	36 48.6	1 1.4	-	3 4.1	-	-	10 13.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57 77.0	10 13.5

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満

④ コンベンション施設

- ・ 居住地別にコンベンション施設の利用場所をみると、岡山市北区・津山市は自市区内のコンベンション施設利用率が90%を超えているが、他の市区町は50%～70%程度である。
- ・ 圏域南部では岡山市に、圏域北部では津山市にコンベンション施設を利用しに来ているということがわかる。

	上段:度数 下段:%	コンベンション施設の利用場所																	
		合計	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	その他
住所	全体	2020 100.0	1038 51.4	238 11.8	115 5.7	241 11.9	290 14.4	86 4.3	111 5.5	84 4.2	88 4.4	89 4.4	117 5.8	53 2.6	119 5.9	54 2.7	43 2.1	41 2.0	185 9.2
	岡山市北区	291 100.0	273 93.8	58 19.9	5 1.7	35 12.0	3 1.0	-	8 2.7	-	-	-	1 0.3	-	10 3.4	-	-	-	41 7.2
	岡山市中区	152 100.0	123 80.9	80 52.6	9 5.9	7 4.6	-	-	-	-	-	-	-	-	10 6.6	1 0.7	-	-	1 0.7
	岡山市東区	114 100.0	69 60.5	12 10.5	56 49.1	6 5.3	-	-	-	2 1.8	3 2.6	5 4.4	-	-	6 5.3	-	-	-	-
	岡山市南区	161 100.0	102 63.4	17 10.6	-	101 62.7	1 0.6	4 2.5	-	-	-	-	-	-	17 10.6	-	-	-	1 0.6
	津山市	163 100.0	36 22.1	4 2.5	-	1 0.6	148 90.8	-	-	-	-	-	6 3.7	-	1 0.6	1 0.6	10 6.1	-	-
	玉野市	120 100.0	41 34.2	8 6.7	2 1.7	42 35.0	-	78 65.0	-	-	-	-	-	-	3 2.5	-	-	-	-
	総社市	143 100.0	48 33.6	8 5.6	1 0.7	2 1.4	-	90 62.9	-	-	-	-	1 0.7	-	10 7.0	-	-	-	2 1.4
	備前市	119 100.0	41 34.5	6 5.0	6 5.0	6 5.0	-	-	72 60.5	13 10.9	-	-	-	14 11.8	1 0.8	-	-	-	-
	瀬戸内市	130 100.0	56 43.1	13 10.0	28 21.5	10 7.7	-	1 0.8	-	1 0.8	70 53.8	-	-	-	3 2.3	-	-	-	-
	赤磐市	135 100.0	76 56.3	11 8.1	3 2.2	7 5.2	1 0.7	-	2 1.5	2 1.5	2 1.5	77 57.0	-	3 2.2	4 3.0	-	-	-	-
	真庭市	141 100.0	27 19.1	2 1.4	1 0.7	1 0.7	57 40.4	-	1 0.7	-	-	-	103 73.0	-	3 2.1	-	-	-	-
	和気町	69 100.0	34 49.3	8 11.6	3 4.3	4 5.8	-	-	-	7 10.1	-	7 10.1	-	36 52.2	1 1.4	-	-	-	-
	早島町	65 100.0	22 33.8	2 3.1	-	8 12.3	-	1 1.5	-	-	-	-	-	-	46 70.8	-	-	-	-
	久米南町	84 100.0	31 36.9	3 3.6	-	3 3.6	36 42.9	-	-	-	-	-	-	-	2 2.4	51 60.7	2 2.4	-	-
	美咲町	68 100.0	20 29.4	3 4.4	1 1.5	3 4.4	44 64.7	-	-	-	-	-	6 8.8	-	1 1.5	1 1.5	31 45.6	-	-
	吉備中央町	65 100.0	39 60.0	3 4.6	-	5 7.7	-	-	10 15.4	-	-	-	-	-	1 1.5	-	-	37 56.9	12 18.5

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満

⑤ 公民館

- ・ 公民館は広域利用を想定しておらず、地元住民の利用を主目的としていることから、全ての市町で自市町内の公民館の利用率は90%以上であった。
- ・ ただ、他の公共施設ほどではないものの、岡山市は津山市・瀬戸内市・赤磐市・吉備中央町から、津山市は真庭市・久米南町・美咲町からの利用がみられる。また、岡山市東区から赤磐市という流れもみられる。

上段:度数 下段:%		公民館の利用場所																		
		合計	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	その他	
住所	全体	2340 100.0	608 26.0	259 11.1	206 8.8	282 12.1	291 12.4	147 6.3	180 7.7	156 6.7	176 7.5	180 7.7	179 7.6	107 4.6	89 3.8	113 4.8	96 4.1	91 3.9	138 5.9	
	岡山市北区	298 100.0	288 96.6	63 21.1	5 1.7	40 13.4	2 0.7	2 0.7	8 2.7	-	-	-	2 0.7	-	2 0.7	1 0.3	-	-	1 0.3	11 3.7
	岡山市中区	159 100.0	74 46.5	142 89.3	18 11.3	10 6.3	-	-	-	1 0.6	-	-	2 1.3	-	-	1 0.6	-	-	1 0.6	3 1.9
	岡山市東区	127 100.0	20 15.7	14 11.0	116 91.3	4 3.1	-	-	-	2 1.6	4 3.1	13 10.2	-	-	-	-	-	-	-	3 2.4
	岡山市南区	181 100.0	55 30.4	15 8.3	1 0.6	174 96.1	2 1.1	5 2.8	-	-	-	-	-	-	6 3.3	-	-	-	-	2 1.1
	津山市	186 100.0	20 10.8	2 1.1	-	-	180 96.8	-	-	-	-	-	-	6 3.2	-	1 0.5	14 7.5	-	-	20 10.8
	玉野市	143 100.0	14 9.8	1 0.7	3 2.1	40 28.0	-	139 97.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 2.1
	総社市	170 100.0	22 12.9	3 1.8	-	-	-	1 0.6	161 94.7	-	-	-	-	-	3 1.8	-	-	-	2 1.2	42 24.7
	備前市	139 100.0	9 6.5	3 2.2	5 3.6	-	-	-	-	134 96.4	22 15.8	-	-	21 15.1	-	-	-	-	-	9 6.5
	瀬戸内市	163 100.0	14 8.6	4 2.5	48 29.4	3 1.8	-	-	-	7 4.3	146 89.6	1 0.6	-	-	-	-	-	-	-	1 0.6
	赤磐市	161 100.0	37 23.0	3 1.9	10 6.2	1 0.6	1 0.6	-	-	1 0.6	3 1.9	152 94.4	-	9 5.6	-	-	-	-	1 0.6	4 2.5
	真庭市	177 100.0	7 4.0	1 0.6	-	2 1.1	48 27.1	-	1 0.6	-	1 0.6	-	167 94.4	-	-	-	-	-	1 0.6	17 9.6
	和気町	80 100.0	7 8.8	3 3.8	-	-	-	-	-	11 13.8	-	11 13.8	-	77 96.3	-	-	-	-	-	-
	早島町	82 100.0	7 8.5	1 1.2	-	8 9.8	-	-	-	-	-	-	-	-	77 93.9	-	-	-	-	14 17.1
	久米南町	106 100.0	10 9.4	2 1.9	-	-	26 24.5	-	-	-	-	-	1 0.9	-	-	104 98.1	7 6.6	-	-	1 0.9
	美咲町	78 100.0	1 1.3	-	-	-	32 41.0	-	-	-	-	-	1 1.3	3 3.8	-	7 9.0	75 96.2	-	-	1 1.3
	吉備中央町	90 100.0	23 25.6	2 2.2	-	-	-	-	10 11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85 94.4	7 7.8

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満

問5. (3) 使用しているもしくは使用の希望が多い公共施設

① 図書館

- ・ 圏域全体でもっとも使用されている図書館は岡山県立図書館であり、使用希望ももっとも多く寄せられている。

使用している施設 n=667		使用したい施設 n=426	
岡山県立図書館	87	岡山県立図書館	184
津山市立図書館	48	津山市立図書館	23
赤磐市立中央図書館	47	岡山市立中央図書館	17
久米南町図書館	47	幸町図書館	17
総社市図書館	44	瀬戸内市立図書館	14
和気町立図書館	36	久米南町図書館	13
岡山市立中央図書館	34	西大寺緑花公園緑の図書館	10
瀬戸内市立図書館	34	備前市立図書館	9
西大寺緑花公園緑の図書館	28	赤磐市立中央図書館	9
備前市立図書館	23	真庭市立久世図書館	8
早島町立図書館	23		

② スポーツ施設

- ・ 使用している施設の回答は多数の施設に分散しており、図書館のように一つの施設に使用や使用希望が集まることはなかった。

使用している施設 n=507		使用したい施設 n=289	
山陽ふれあい公園	27	岡山県総合グラウンド	16
備前市総合運動公園	21	岡山県総合グラウンド(桃太郎アリーナ)	13
岡山県総合グラウンド	18	浦安総合公園	11
久米南町民運動公園	18	山陽ふれあい公園	9
浦安総合公園	17	シティライトスタジアム	8
落合総合公園	14	岡山ドーム	6
岡山市 市民屋内温水プール	13	御津スポーツパーク	6
総社市スポーツセンター	13	岡山市ウェルポートなださき	5
和気町立体育館	10	玉野市総合体育館	5
岡山市ウェルポートなださき	8	和気町立体育館	5
勝山運動公園	8		

③ 文化ホール

- 岡山市に多くの文化ホールが立地していることから、使用している施設の上位 10 施設に岡山市から 3 施設が入っている。また津山市の 2 施設も多く使用されている。使用希望についても岡山・津山両市の施設が上位となっている。

使用している施設 n=622		使用したい施設 n=269	
岡山市民会館	85	岡山シンフォニーホール	76
久米南町文化センター	45	岡山市民会館	25
津山文化センター	32	音楽文化ホール(ベルフォーレ津山)	14
音楽文化ホール(ベルフォーレ津山)	26	岡山市立市民文化ホール	12
久世エスパスセンター	26	津山文化センター	11
岡山シンフォニーホール	25	倉敷市民会館	10
総社市民会館	21	久世エスパスセンター	9
勝山文化センター	20	久米南町文化センター	7
岡山市立市民文化ホール	18	ロマン高原かよう総合会館	7
倉敷市民会館	15	勝山文化センター	6

④ コンベンション施設

- コンベンションについては、専用施設である岡山県総合展示場コンベックス岡山と岡山コンベンションセンターに使用も使用希望も集中している。

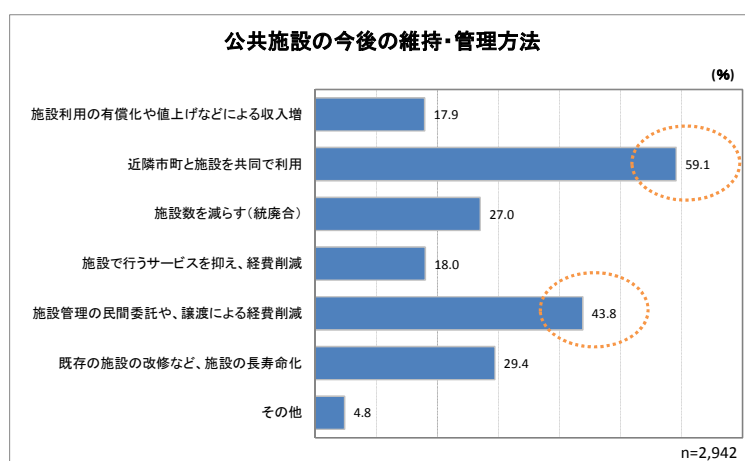
使用している施設 n=507		使用したい施設 n=289	
岡山県総合展示場コンベックス岡山	110	岡山コンベンションセンター	46
岡山コンベンションセンター	61	岡山県総合展示場コンベックス岡山	25
グリーンヒルズ津山リージョンセンター	13	音楽文化ホール(ベルフォーレ津山)	5
瀬戸内市保健福祉センター	5	久世エスパスセンター	4
岡山シティミュージアム	5	岡山シティミュージアム	2
岡山シンフォニーホール	4	早島町ゆるびの舎	2
勝山文化センター	4	久米南町文化センター	2
岡山国際交流センター	3	百花プラザ	2
久世エスパスセンター	3	北房文化センター	2
岡山ふれあいセンター	3	瀬戸内市保健福祉センター	1
県立美術館	3	岡山シンフォニーホール	1
早島町ゆるびの舎	3	勝山文化センター	1
		岡山ふれあいセンター	1

(3) 公共施設・地域医療・公共交通に関する意識

問6. 公共施設について

① 公共施設の今後の維持・管理方法

- 公共施設の今後の維持・管理方法として、都市圏住民が望む維持・管理方法は、「近隣市町と施設を共同で利用」が 59.1%と最も高い比率となった。次いで「施設管理の民間委託や、譲渡による経費削減」が 43.8%、「既存の施設の改修など、施設の長寿命化」が 29.4%と続いている。最も低かったのは「施設利用の有償化や値上げなどによる収入増」で 17.9%であった。
- なお、年齢別の動向に大きな違いはみられていない。



上段:度数 下段:%		公共施設の今後の維持・管理方法							
		合計	施設利用の有償化や値上げなどによる収入増	近隣市町と施設を共同で利用	施設数を減らす(統廃合)	施設で行うサービスを抑え、経費削減	施設管理の民間委託や、譲渡による経費削減	既存の施設の改修など、施設の長寿命化	その他
年齢	全体	2934 100.0	525 17.9	1736 59.2	794 27.1	529 18.0	1287 43.9	864 29.4	141 4.8
	20～29歳	245 100.0	30 12.2	140 57.1	52 21.2	38 15.5	93 38.0	83 33.9	12 4.9
	30～39歳	378 100.0	57 15.1	239 63.2	101 26.7	62 16.4	185 48.9	80 21.2	21 5.6
	40～49歳	454 100.0	63 13.9	274 60.4	128 28.2	74 16.3	205 45.2	124 27.3	19 4.2
	50～59歳	538 100.0	105 19.5	326 60.6	154 28.6	93 17.3	248 46.1	172 32.0	24 4.5
	60～69歳	786 100.0	152 19.3	458 58.3	234 29.8	133 16.9	329 41.9	228 29.0	37 4.7
	70歳以上	533 100.0	118 22.1	299 56.1	125 23.5	129 24.2	227 42.6	177 33.2	28 5.3

<地域別の動向>

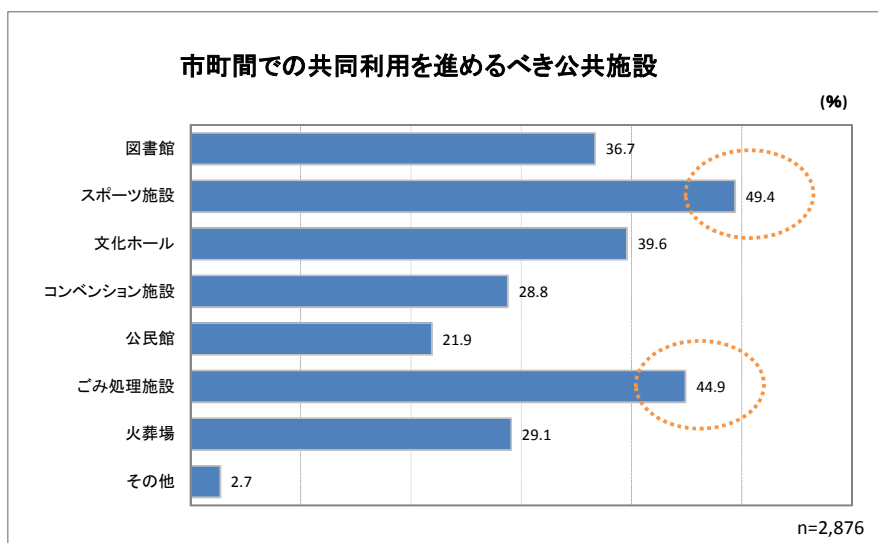
- ・ 居住地別に公共施設の今後の維持・管理方法をみると、大部分の市町では「近隣市町と施設を共同で利用」がもっとも多く選ばれ、2番目に「施設管理の民間委託や譲渡により経費削減」が選ばれている。
- ・ 3番目は市町ごとに相違があり、津山市・瀬戸内市・赤磐市・久米南町・美咲町では「施設数を減らす（統廃合）」、その他市町では「既存の施設の改修など施設の長寿命化」が選ばれている。

上段:度数 下段:%		公共施設の今後の維持・管理方法							
		合計	施設利用の有償化 や値上げなどによる 収入増	近隣市町と施設を 共同で利用	施設数を減らす (統廃合)	施設で行うサービ スを抑え、経費削 減	施設管理の民間委 託や、譲渡による 経費削減	既存の施設の改修 など、施設の長寿 命化	その他
住所	全体	2910 100.0	523 18.0	1723 59.2	785 27.0	525 18.0	1279 44.0	858 29.5	139 4.8
	岡山市北区	384 100.0	85 22.1	192 50.0	101 26.3	66 17.2	199 51.8	109 28.4	19 4.9
	岡山市中区	196 100.0	41 20.9	95 48.5	55 28.1	32 16.3	86 43.9	68 34.7	8 4.1
	岡山市東区	154 100.0	28 18.2	85 55.2	31 20.1	33 21.4	73 47.4	36 23.4	8 5.2
	岡山市南区	206 100.0	35 17.0	119 57.8	54 26.2	40 19.4	95 46.1	56 27.2	11 5.3
	津山市	234 100.0	46 19.7	143 61.1	81 34.6	44 18.8	97 41.5	79 33.8	13 5.6
	玉野市	200 100.0	37 18.5	110 55.0	54 27.0	41 20.5	83 41.5	60 30.0	7 3.5
	総社市	216 100.0	42 19.4	124 57.4	43 19.9	40 18.5	94 43.5	61 28.2	14 6.5
	備前市	184 100.0	19 10.3	105 57.1	49 26.6	32 17.4	89 48.4	55 29.9	8 4.3
	瀬戸内市	192 100.0	31 16.1	137 71.4	53 27.6	35 18.2	89 46.4	50 26.0	5 2.6
	赤磐市	196 100.0	32 16.3	128 65.3	60 30.6	27 13.8	86 43.9	48 24.5	7 3.6
	真庭市	218 100.0	51 23.4	123 56.4	62 28.4	35 16.1	87 39.9	72 33.0	15 6.9
	和気町	102 100.0	15 14.7	79 77.5	26 25.5	12 11.8	47 46.1	28 27.5	3 2.9
	早島町	105 100.0	20 19.0	69 65.7	22 21.0	22 21.0	39 37.1	34 32.4	3 2.9
	久米南町	117 100.0	15 12.8	82 70.1	34 29.1	30 25.6	41 35.0	30 25.6	5 4.3
	美咲町	100 100.0	16 16.0	69 69.0	35 35.0	10 10.0	36 36.0	30 30.0	6 6.0
	吉備中央町	106 100.0	10 9.4	63 59.4	25 23.6	26 24.5	38 35.8	42 39.6	7 6.6

各市町 ■ 1位 ■ 2位 ■ 3位

② 市町間での共同利用を進めるべき公共施設

- 市町間での共同利用を進めるべき公共施設は、「スポーツ施設」が49.4%で最も高かった。次いで「ゴミ処理施設」(44.9%)、「文化ホール」(39.6%)、「図書館」(36.7%)と続いている。最も低かったのは「公民館」の21.9%であった。
- なお年齢別にも全体の傾向と大きく異なる部分は少ないが、「スポーツ施設」については20～50代で、「ゴミ処理施設」については「60代」で50%以上が共同利用を進めるべきとしている。



上段:度数 下段:%		市町間での共同利用を進めるべき公共施設								
		合計	図書館	スポーツ施設	文化ホール	コンベンション施設	公民館	ゴミ処理施設	火葬場	その他
年齢	全体	2869	1054	1420	1137	826	628	1290	835	77
		100.0	36.7	49.5	39.6	28.8	21.9	45.0	29.1	2.7
	20～29歳	238	100	129	86	74	42	76	46	10
		100.0	42.0	54.2	36.1	31.1	17.6	31.9	19.3	4.2
	30～39歳	376	158	217	155	123	65	152	102	10
		100.0	42.0	57.7	41.2	32.7	17.3	40.4	27.1	2.7
	40～49歳	444	183	239	196	174	84	186	134	10
		100.0	41.2	53.8	44.1	39.2	18.9	41.9	30.2	2.3
50～59歳	526	187	274	216	164	95	251	167	13	
	100.0	35.6	52.1	41.1	31.2	18.1	47.7	31.7	2.5	
60～69歳	748	243	330	283	193	176	378	236	18	
	100.0	32.5	44.1	37.8	25.8	23.5	50.5	31.6	2.4	
70歳以上	537	183	231	201	98	166	247	150	16	
	100.0	34.1	43.0	37.4	18.2	30.9	46.0	27.9	3.0	

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

＜地域別の動向＞

- ・ 居住地別に市町間での共同利用を進めるべき公共施設をみると、岡山市・津山市・玉野市・総社市・備前市・瀬戸内市・赤磐市では「スポーツ施設」の割合が最も高かった。
- ・ 真庭市では「ゴミ処理施設」の割合が最も高く、和気町・早島町等、岡山都市圏内 5 町では「ゴミ処理施設」の割合が最も高かった。
- ・ また、久米南町では「火葬場」の割合が他の地域よりも比較的高く、高齢化が進んでいる地域であることが背景として考えられる。

上段 度数	下段 %	市町間での共同利用を進めるべき公共施設								
		合計	図書館	スポーツ施設	文化ホール	コンベンション施設	公民館	ごみ処理施設	火葬場	その他
住所	全体	2850 100.0	1049 36.8	1409 49.4	1134 39.8	823 28.9	624 21.9	1283 45.0	830 29.1	76 2.7
	岡山市北区	376 100.0	151 40.2	186 49.5	142 37.8	128 34.0	100 26.6	172 45.7	113 30.1	11 2.9
	岡山市中区	190 100.0	69 36.3	92 48.4	74 38.9	72 37.9	57 30.0	73 38.4	41 21.6	4 2.1
	岡山市東区	149 100.0	60 40.3	73 49.0	62 41.6	50 33.6	41 27.5	66 44.3	40 26.8	5 3.4
	岡山市南区	201 100.0	72 35.8	103 51.2	63 31.3	58 28.9	57 28.4	69 34.3	46 22.9	5 2.5
	津山市	230 100.0	76 33.0	115 50.0	91 39.6	62 27.0	47 20.4	111 48.3	66 28.7	6 2.6
	玉野市	197 100.0	75 38.1	97 49.2	86 43.7	53 26.9	33 16.8	73 37.1	46 23.4	6 3.0
	総社市	206 100.0	55 26.7	100 48.5	85 41.3	62 30.1	40 19.4	88 42.7	44 21.4	8 3.9
	備前市	183 100.0	68 37.2	101 55.2	77 42.1	45 24.6	28 15.3	78 42.6	46 25.1	5 2.7
	瀬戸内市	193 100.0	86 44.6	99 51.3	72 37.3	44 22.8	45 23.3	90 46.6	66 34.2	2 1.0
	赤磐市	192 100.0	72 37.5	96 50.0	76 39.6	46 24.0	38 19.8	69 35.9	64 33.3	6 3.1
	真庭市	208 100.0	79 38.0	100 48.1	106 51.0	53 25.5	37 17.8	97 46.6	76 36.5	3 1.4
	和気町	103 100.0	39 37.9	46 44.7	38 36.9	27 26.2	20 19.4	64 62.1	33 32.0	1 1.0
	早島町	102 100.0	40 39.2	55 53.9	47 46.1	39 38.2	20 19.6	57 55.9	32 31.4	2 2.0
	久米南町	116 100.0	41 35.3	59 50.9	49 42.2	34 29.3	23 19.8	71 61.2	59 50.9	3 2.6
	美咲町	96 100.0	34 35.4	48 50.0	40 41.7	25 26.0	13 13.5	49 51.0	33 34.4	3 3.1
	吉備中央町	108 100.0	32 29.6	39 36.1	26 24.1	25 23.1	25 23.1	56 51.9	25 23.1	6 5.6

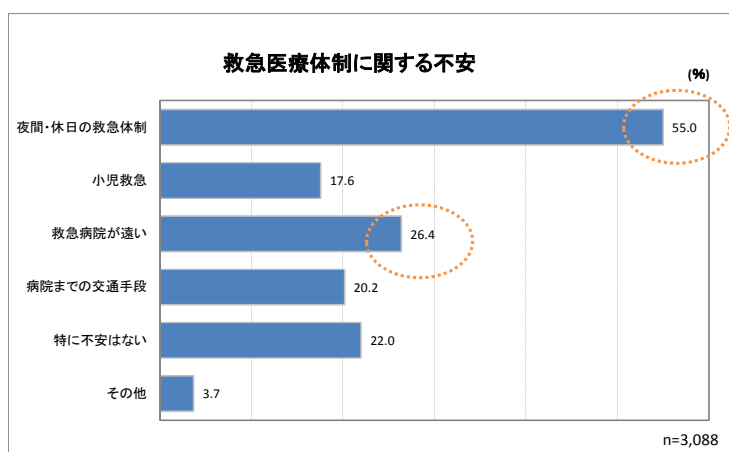
■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

問7. 地域医療について

① 救急医療に関する不安について

<全体>

- 岡山都市圏の住民が抱える救急医療に関する不安として、最も値が高かったのが「夜間・休日の救急体制」で55.0%であった。次いで「救急病院が遠い」(26.4%)、「特に不安はない」(22.0%)、「病院までの交通手段」(20.2%)、「小児救急」(17.6%)と続いている。



<年齢別の動向>

- 年齢別にみると「夜間・休日の救急体制」は全世代で50%前後の高い割合となっている。全体で2番目に多かった「救急病院が遠い」の回答、は全世代で20%以上の割合となっている。
- 「小児救急」は全体では低い割合ではあるが、年齢別にみると30代で高い割合となっており、他の世代との違いが明確になっている。

上段:度数 下段:%		救急医療体制に関する不安						
		合計	夜間・休日の救急体制	小児救急	救急病院が遠い	病院までの交通手段	特に不安はない	その他
年齢	全体	3078	1690	540	811	622	677	113
		100.0	54.9	17.5	26.3	20.2	22.0	3.7
	20~29歳	250	121	59	52	45	62	10
		100.0	48.4	23.6	20.8	18.0	24.8	4.0
	30~39歳	383	194	155	91	47	82	15
		100.0	50.7	40.5	23.8	12.3	21.4	3.9
	40~49歳	464	253	87	123	90	92	22
	100.0	54.5	18.8	26.5	19.4	19.8	4.7	
50~59歳	555	316	73	157	114	122	23	
	100.0	56.9	13.2	28.3	20.5	22.0	4.1	
60~69歳	814	476	115	214	155	171	22	
	100.0	58.5	14.1	26.3	19.0	21.0	2.7	
70歳以上	612	330	51	174	171	148	21	
	100.0	53.9	8.3	28.4	27.9	24.2	3.4	

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

＜地域別の動向＞

- ・ 居住地別に救急医療体制に関する不安をみると、ほぼ全ての地域で「夜間・休日の救急体制」の割合が最も高く、広く問題意識が共有されている。
- ・ 一方で、市町ごとに異なる傾向としては、二次救急医療機関を持たない久米南町・美咲町・吉備中央町等で「救急病院が遠い」の割合が高い状況にある。この3町では「病院までの交通手段」も比較的高い割合となっている。
- ・ 「特に不安はない」と回答した割合が高かった地域は、岡山市（北区・南区）・早島町であった。早島町については岡山市と倉敷市という高度医療機関が集積する地域に近接していることが背景にあるものと思われる。

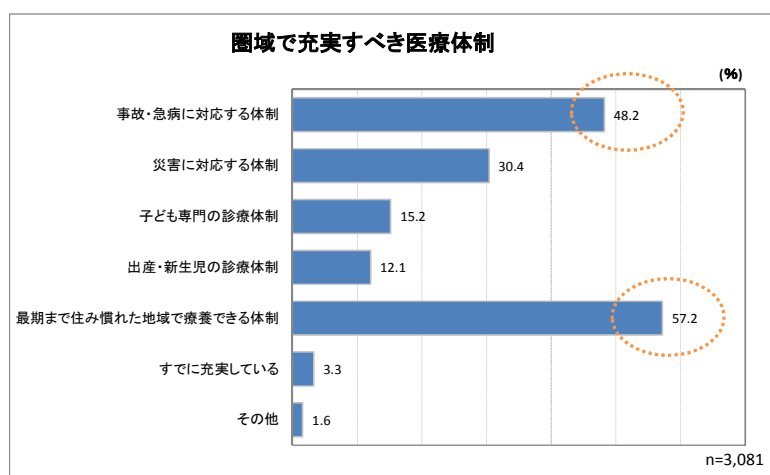
上段:度数 下段:%	救急医療体制に関する不安						
	合計	夜間・休日の救急体制	小児救急	救急病院が遠い	病院までの交通手段	特に不安はない	その他
全体	3053 100.0	1680 55.0	536 17.6	801 26.2	615 20.1	671 22.0	113 3.7
岡山市北区	398 100.0	170 42.7	57 14.3	35 8.8	78 19.6	159 39.9	7 1.8
岡山市中区	207 100.0	112 54.1	31 15.0	31 15.0	40 19.3	59 28.5	4 1.9
岡山市東区	160 100.0	78 48.8	19 11.9	31 19.4	45 28.1	46 28.8	6 3.8
岡山市南区	215 100.0	94 43.7	37 17.2	38 17.7	41 19.1	73 34.0	8 3.7
津山市	240 100.0	128 53.3	50 20.8	51 21.3	42 17.5	56 23.3	9 3.8
玉野市	209 100.0	151 72.2	44 21.1	46 22.0	36 17.2	27 12.9	14 6.7
総社市	222 100.0	138 62.2	32 14.4	84 37.8	40 18.0	30 13.5	12 5.4
備前市	193 100.0	123 63.7	49 25.4	48 24.9	41 21.2	27 14.0	10 5.2
瀬戸内市	199 100.0	117 58.8	38 19.1	80 40.2	37 18.6	23 11.6	8 4.0
赤磐市	212 100.0	125 59.0	32 15.1	50 23.6	39 18.4	44 20.8	5 2.4
真庭市	224 100.0	122 54.5	67 29.9	52 23.2	31 13.8	45 20.1	7 3.1
和気町	111 100.0	69 62.2	24 21.6	35 31.5	21 18.9	18 16.2	6 5.4
早島町	105 100.0	55 52.4	15 14.3	13 12.4	20 19.0	34 32.4	6 5.7
久米南町	131 100.0	76 58.0	13 9.9	75 57.3	32 24.4	11 8.4	5 3.8
美咲町	106 100.0	59 55.7	15 14.2	52 49.1	33 31.1	9 8.5	4 3.8
吉備中央町	121 100.0	63 52.1	13 10.7	80 66.1	39 32.2	10 8.3	2 1.7

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

② 圏域で充実すべき医療体制

<全体>

- 岡山都市圏域で充実すべき医療体制は、「最後まで住み慣れた地域で療養できる体制」が57.2%で最も高くなった。次いで「事故・急病に対応する体制」48.2%、「災害に対応する体制」30.4%と続いている。
- 最も低いのは、「すでに充実している」の3.3%であった。救急医療に関する不安で「特に不安はない」が22.0%であったのに対し、圏域で充実すべき医療体制で「すでに充実している」は非常に小さな割合となった。



<年齢別の動向>

- 年齢別には「事故・急病に対応する体制」「最後まで住み慣れた地域で療養できる体制」は広い世代で比率が高いが、特に前者は40～50代、後者は50代以上で高い比率となっている。

	上段:度数 下段:%	圏域で充実すべき医療体制							
		合計	事故・急病に対応する体制	災害に対応する体制	子ども専門の診療体制	出産・新生児の診療体制	最後まで住み慣れた地域で療養できる体制	すでに充実している	その他
年齢	全体	3072 100.0	1480 48.2	933 30.4	466 15.2	372 12.1	1758 57.2	101 3.3	49 1.6
	20～29歳	248 100.0	98 39.5	106 42.7	56 22.6	68 27.4	75 30.2	11 4.4	6 2.4
	30～39歳	382 100.0	180 47.1	117 30.6	127 33.2	86 22.5	130 34.0	15 3.9	6 1.6
	40～49歳	466 100.0	239 51.3	146 31.3	95 20.4	57 12.2	227 48.7	16 3.4	7 1.5
	50～59歳	546 100.0	290 53.1	167 30.6	66 12.1	53 9.7	302 55.3	25 4.6	8 1.5
	60～69歳	815 100.0	379 46.5	242 29.7	77 9.4	76 9.3	547 67.1	17 2.1	13 1.6
	70歳以上	615 100.0	294 47.8	155 25.2	45 7.3	32 5.2	477 77.6	17 2.8	9 1.5

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

<地域別の動向>

- ・ 居住地別に圏域で充実すべき医療体制をみると、岡山都市圏における全ての市町で「最期まで住み慣れた地域で療養できる体制」が50%以上の高い割合となった。
- ・ また、岡山市や津山市といった都市部に比べ、医療機能が充実していない市町では「事故・急病に対応する体制」も高い割合となっている。

上段:度数 下段:%	圏域で充実すべき医療体制								
	合計	事故・急病に対応する体制	災害に対応する体制	子ども専門の診療体制	出産・新生児の診療体制	最期まで住み慣れた地域で療養できる体制	すでに充実している	その他	
全体	3046 100.0	1465 48.1	930 30.5	463 15.2	369 12.1	1742 57.2	100 3.3	49 1.6	
岡山市北区	396 100.0	151 38.1	158 39.9	55 13.9	45 11.4	216 54.5	28 7.1	4 1.0	
岡山市中区	211 100.0	88 41.7	81 38.4	37 17.5	20 9.5	114 54.0	11 5.2	1 0.5	
岡山市東区	158 100.0	72 45.6	56 35.4	18 11.4	15 9.5	87 55.1	3 1.9	6 3.8	
岡山市南区	215 100.0	84 39.1	77 35.8	27 12.6	20 9.3	125 58.1	9 4.2	3 1.4	
津山市	239 100.0	105 43.9	68 28.5	46 19.2	17 7.1	144 60.3	9 3.8	7 2.9	
玉野市	209 100.0	123 58.9	56 26.8	24 11.5	33 15.8	119 56.9	5 2.4	6 2.9	
総社市	223 100.0	115 51.6	66 29.6	28 12.6	22 9.9	120 53.8	7 3.1	7 3.1	
備前市	194 100.0	95 49.0	38 19.6	22 11.3	54 27.8	113 58.2	3 1.5	4 2.1	
瀬戸内市	203 100.0	116 57.1	67 33.0	38 18.7	22 10.8	106 52.2	2 1.0	3 1.5	
赤磐市	213 100.0	104 48.8	58 27.2	28 13.1	16 7.5	133 62.4	4 1.9	1 0.5	
真庭市	224 100.0	96 42.9	53 23.7	58 25.9	45 20.1	127 56.7	6 2.7	1 0.4	
和気町	109 100.0	51 46.8	37 33.9	16 14.7	20 18.3	59 54.1	3 2.8	-	
早島町	103 100.0	40 38.8	35 34.0	16 15.5	6 5.8	67 65.0	5 4.9	2 1.9	
久米南町	129 100.0	88 68.2	27 20.9	15 11.6	5 3.9	86 66.7	-	2 1.6	
美咲町	103 100.0	61 59.2	34 33.0	15 14.6	9 8.7	56 54.4	3 2.9	2 1.9	
吉備中央町	117 100.0	76 65.0	19 16.2	20 17.1	20 17.1	70 59.8	2 1.7	-	

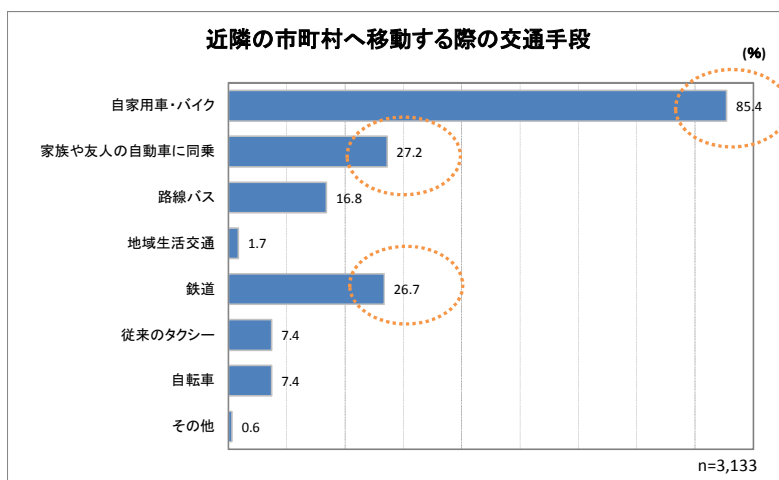
■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

問8. 公共交通について

① 近隣市町へ移動する際の交通手段

<全体>

- 岡山都市圏の住民が近隣市町へ移動する際の交通手段として利用するのは、「自家用車・バイク」が最も多く 85.4%であった。次いで「家族や友人の自動車に同乗」(27.2%)、「鉄道」(26.7%)と続いており、生活圏域における質問項目の「通勤・通学」「買い物」「通院」と比べて、公共交通の割合が上昇した。



<年齢別の動向>

- 年齢別でも「自家用車・バイク」「家族や友人の車に同乗」という車利用が主ではあるが、全世代を通し「路線バス」「鉄道」という公共交通も広く利用されている。
- 一方、「従来のタクシー」については70代以上のみで高い割合となっている。

上段:度数 下段:%		近隣の市町村へ移動する際の交通手段								
		合計	自家用車 バイク	家族や友人の 自動車に同乗	路線バス	地域生活交通	鉄道	従来のタクシー	自転車	その他
年齢	全体	3125 100.0	2668 85.4	850 27.2	525 16.8	54 1.7	836 26.8	233 7.5	231 7.4	18 0.6
	20~29歳	251 100.0	203 80.9	85 33.9	39 15.5	3 1.2	71 28.3	5 2.0	23 9.2	1 0.4
	30~39歳	385 100.0	361 93.8	95 24.7	48 12.5	2 0.5	107 27.8	11 2.9	30 7.8	3 0.8
	40~49歳	470 100.0	450 95.7	84 17.9	60 12.8	3 0.6	115 24.5	11 2.3	21 4.5	-
	50~59歳	556 100.0	514 92.4	114 20.5	71 12.8	6 1.1	144 25.9	25 4.5	31 5.6	2 0.4
	60~69歳	831 100.0	731 88.0	220 26.5	143 17.2	14 1.7	224 27.0	61 7.3	63 7.6	2 0.2
	70歳以上	632 100.0	409 64.7	252 39.9	164 25.9	26 4.1	175 27.7	120 19.0	63 10.0	10 1.6

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満 ■ 10%以上 30%未満

<地域別の動向>

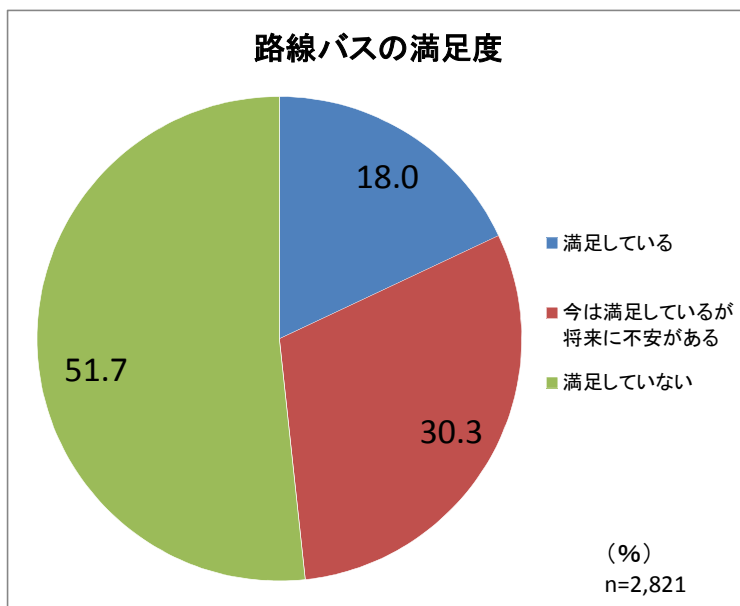
- ・ 居住地別に近隣市町へ移動する際の交通手段をみると、岡山都市圏における全ての市町で「自家用車・バイク」「家族や友人の自動車に同乗」の比率が高い。
- ・ 「鉄道」については、鉄道網に含まれない吉備中央町や路線が姫新線のみのも真庭市では利用が少ないが、他の市町では広く利用されている。
- ・ 「路線バス」については、岡山市・玉野市・赤磐市をはじめとして比率の高い市町と、久米南町・早島町などをはじめとする比率の低い市町で大きな差がみられている。
- ・ また、「自転車」は岡山市での利用が多いということも示されている。

上段度数 下段%	近隣の市町村へ移動する際の交通手段								
	合計	自家用車・バイク	家族や友人の自動車に同乗	路線バス	地域生活交通	鉄道	従来のタクシー	自転車	その他
全体	3097 100.0	2648 85.5	843 27.2	521 16.8	53 1.7	830 26.8	228 7.4	230 7.4	18 0.6
岡山市北区	399 100.0	317 79.4	101 25.3	95 23.8	6 1.5	136 34.1	29 7.3	55 13.8	1 0.3
岡山市中区	212 100.0	168 79.2	54 25.5	85 40.1	3 1.4	62 29.2	24 11.3	35 16.5	-
岡山市東区	162 100.0	142 87.7	50 30.9	38 23.5	1 0.6	55 34.0	12 7.4	12 7.4	2 1.2
岡山市南区	223 100.0	182 81.6	75 33.6	52 23.3	-	67 30.0	19 8.5	39 17.5	2 0.9
津山市	241 100.0	219 90.9	57 23.7	21 8.7	3 1.2	33 13.7	14 5.8	6 2.5	-
玉野市	212 100.0	178 84.0	54 25.5	62 29.2	3 1.4	43 20.3	17 8.0	12 5.7	2 0.9
総社市	226 100.0	196 86.7	68 30.1	8 3.5	8 3.5	87 38.5	14 6.2	10 4.4	1 0.4
備前市	196 100.0	169 86.2	51 26.0	20 10.2	1 0.5	73 37.2	10 5.1	11 5.6	2 1.0
瀬戸内市	206 100.0	182 88.3	51 24.8	13 6.3	1 0.5	79 38.3	20 9.7	11 5.3	1 0.5
赤磐市	216 100.0	185 85.6	66 30.6	62 28.7	3 1.4	27 12.5	16 7.4	8 3.7	1 0.5
真庭市	226 100.0	203 89.8	57 25.2	28 12.4	13 5.8	20 8.8	13 5.8	10 4.4	1 0.4
和気町	110 100.0	90 81.8	32 29.1	6 5.5	3 2.7	41 37.3	9 8.2	8 7.3	1 0.9
早島町	108 100.0	100 92.6	27 25.0	2 1.9	5 4.6	46 42.6	10 9.3	9 8.3	1 0.9
久米南町	131 100.0	113 86.3	40 30.5	2 1.5	1 0.8	43 32.8	5 3.8	2 1.5	-
美咲町	108 100.0	95 88.0	28 25.9	7 6.5	2 1.9	11 10.2	9 8.3	2 1.9	2 1.9
吉備中央町	121 100.0	109 90.1	32 26.4	20 16.5	-	7 5.8	7 5.8	-	1 0.8

■ 30%以上 ■ 10%以上 30%未満

② 路線バスの満足度

- 岡山都市圏の住民の路線バスへの満足度は「満足している」が 18.0%、「今は満足しているが、将来に不安がある」が 30.3%、「満足していない」が 51.7%と、回答者の8割以上が路線バスに満足していないか、路線バスの将来に対する不安を表した。



<地域別の動向>

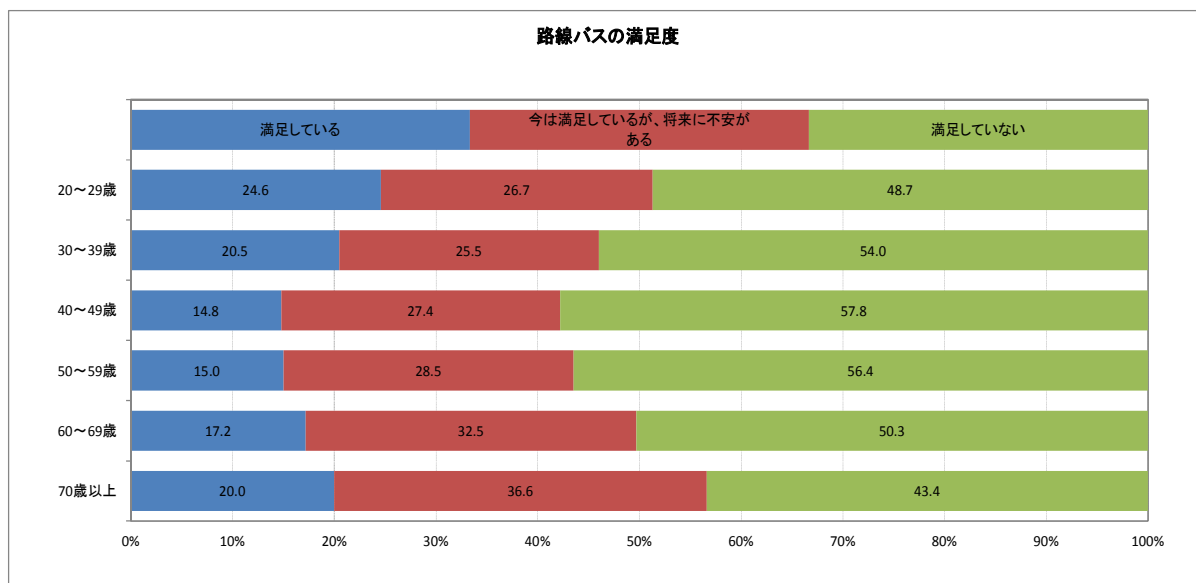
- ・ 居住地別に路線バスの満足度をみると、岡山市中区・真庭市・美咲町以外は「満足していない」と回答した人の割合が最も高かった。真庭市及び美咲町は「今は満足しているが、将来に不安がある」と回答した人の割合が最も高く、岡山市中区は「満足している」と回答した人の割合が最も高かった。

上段:度数 下段:%		路線バスの満足度			
		合計	満足している	今は満足しているが 将来に不安がある	満足していない
住所	全体	2789 100.0	503 18.0	849 30.4	1437 51.5
	岡山市北区	377 100.0	102 27.1	116 30.8	159 42.2
	岡山市中区	201 100.0	87 43.3	53 26.4	61 30.3
	岡山市東区	153 100.0	35 22.9	40 26.1	78 51.0
	岡山市南区	210 100.0	50 23.8	59 28.1	101 48.1
	津山市	224 100.0	31 13.8	75 33.5	118 52.7
	玉野市	195 100.0	38 19.5	66 33.8	91 46.7
	総社市	193 100.0	18 9.3	42 21.8	133 68.9
	備前市	170 100.0	14 8.2	62 36.5	94 55.3
	瀬戸内市	185 100.0	17 9.2	47 25.4	121 65.4
	赤磐市	196 100.0	26 13.3	74 37.8	96 49.0
	真庭市	196 100.0	33 16.8	84 42.9	79 40.3
	和気町	98 100.0	4 4.1	27 27.6	67 68.4
	早島町	96 100.0	18 18.8	8 8.3	70 72.9
	久米南町	94 100.0	10 10.6	27 28.7	57 60.6
	美咲町	90 100.0	13 14.4	39 43.3	38 42.2
	吉備中央町	111 100.0	7 6.3	30 27.0	74 66.7

各市町 ■ 1位

<年代別の動向>

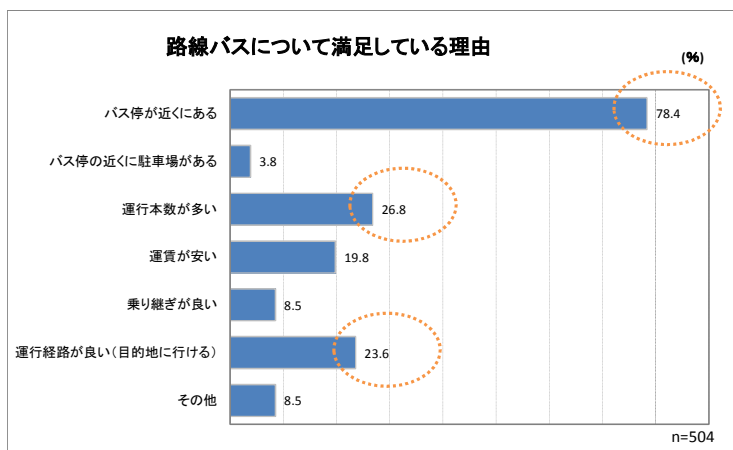
- ・ 年齢別に路線バスの満足度をみると、全年齢で「満足していない」と回答した人の割合が最も高かった。「満足している」と回答した人の割合が他の年齢階級と比較して高かったのは20代で24.6%であった。「満足しているが、将来に不安がある」と回答した人の割合が他の年齢階級と比較して高かったのは70代以上で36.6%であった。



③ 路線バスに満足している理由

<全体>

- ・ 路線バスへの満足度に「満足している」と回答した人で、理由として最も多かったのは「バス停が近くにある」78.4%であった。次いで「運行本数が多い」が26.8%、「運行経路が良い（目的地に行ける）」が23.6%と続いている。



<地域別の動向>

- ・ 居住地別に路線バスについて満足している理由をみると、総社市・真庭市・和気町以外の市町では「バス停が近くにある」と回答した割合が最も高かった。真庭市・和気町では「運賃が安い」も魅力として多く挙げられている。

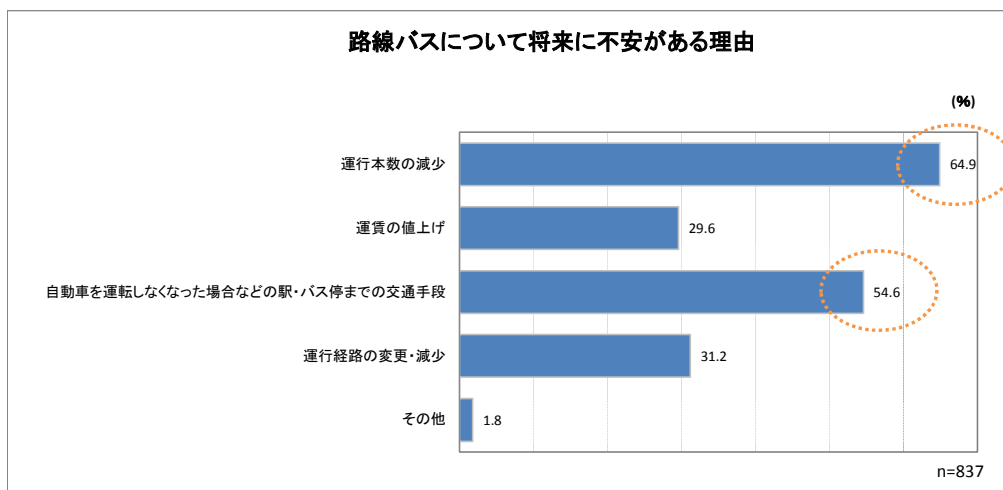
上段度数 下段%	路線バスについて満足している理由							
	合計	バス停が近くにある	バス停の近くに駐車場がある	運行本数が多い	運賃が安い	乗り継ぎが良い	運行経路が良い(目的地に行ける)	その他
全体	500 100.0	392 78.4	19 3.8	134 26.8	99 19.8	43 8.6	119 23.8	43 8.6
岡山市北区	102 100.0	89 87.3	2 2.0	44 43.1	18 17.6	14 13.7	29 28.4	1 1.0
岡山市中区	87 100.0	81 93.1	2 2.3	42 48.3	16 18.4	12 13.8	30 34.5	2 2.3
岡山市東区	35 100.0	27 77.1	1 2.9	14 40.0	4 11.4	4 11.4	8 22.9	2 5.7
岡山市南区	50 100.0	43 86.0	-	17 34.0	6 12.0	5 10.0	13 26.0	1 2.0
津山市	31 100.0	21 67.7	-	-	8 25.8	-	4 12.9	7 22.6
玉野市	37 100.0	29 78.4	2 5.4	6 16.2	2 5.4	-	9 24.3	2 5.4
総社市	18 100.0	8 44.4	1 5.6	-	1 5.6	1 5.6	-	9 50.0
備前市	14 100.0	10 71.4	-	-	4 28.6	1 7.1	2 14.3	1 7.1
瀬戸内市	17 100.0	11 64.7	2 11.8	-	1 5.9	1 5.9	2 11.8	5 29.4
赤磐市	25 100.0	23 92.0	2 8.0	8 32.0	2 8.0	2 8.0	4 16.0	-
真庭市	33 100.0	18 54.5	5 15.2	1 3.0	19 57.6	1 3.0	7 21.2	5 15.2
和気町	4 100.0	2 50.0	-	-	2 50.0	-	1 25.0	-
早島町	17 100.0	11 64.7	1 5.9	-	5 29.4	-	5 29.4	3 17.6
久米南町	10 100.0	5 50.0	1 10.0	2 20.0	4 40.0	-	1 10.0	2 20.0
美咲町	13 100.0	9 69.2	-	-	6 46.2	1 7.7	3 23.1	1 7.7
吉備中央町	7 100.0	5 71.4	-	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

④ 路線バスについて将来に不安がある理由

<全体>

- 先述『②路線バスへの満足度』で「今は満足しているが、将来に不安がある」と回答した人で、理由として最も多かったのは「運行本数の減少」(64.9%)であった。次いで「自動車を運転しなくなった場合などの駅・バス停まで交通手段」(54.6%)、「運行経路の変更・減少」(31.2%)と続いている。



<年齢別の動向>

- 「運行本数の減少」「自動車を運転しなくなった場合などの駅・バス停まで交通手段」はともに広い世代で問題意識が共有されているが、特に後者は40代以上で50%以上の高い割合となっている。

上段:度数 下段:%		路線バスについて将来に不安がある理由					
		合計	運行本数の減少	運賃の値上げ	自動車を運転しなくなった場合などの駅・バス停までの交通手段	運行経路の変更・減少	その他
年齢	全体	837 100.0	543 64.9	248 29.6	457 54.6	261 31.2	15 1.8
	20～29歳	63 100.0	42 66.7	18 28.6	28 44.4	22 34.9	1 1.6
	30～39歳	93 100.0	67 72.0	31 33.3	38 40.9	44 47.3	3 3.2
	40～49歳	122 100.0	84 68.9	45 36.9	74 60.7	42 34.4	2 1.6
	50～59歳	141 100.0	92 65.2	46 32.6	72 51.1	46 32.6	4 2.8
	60～69歳	234 100.0	137 58.5	53 22.6	144 61.5	60 25.6	2 0.9
	70歳以上	184 100.0	121 65.8	55 29.9	101 54.9	47 25.5	3 1.6

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

<地域別の動向>

- ・ 居住地別に路線バスについて将来に不安がある理由をみると、ほぼ全ての地域で「運行本数の減少」と「自動車を運転しなくなった場合などの駅・バス停までの交通手段」の二つの選択肢に回答が集中していることがわかる。ただし岡山市北区・中区、玉野市については「自動車を運転しなくなった場合などの駅・バス停までの交通手段」はやや割合が低い。

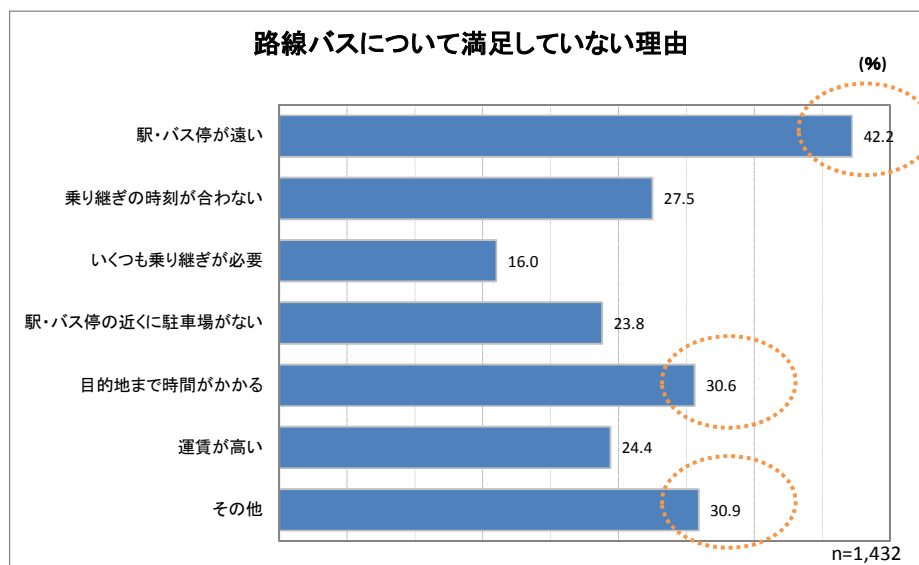
上段:度数 下段:%		路線バスについて将来に不安がある理由					
		合計	運行本数の減少	運賃の値上げ	自動車を運転しなくなった場合などの駅・バス停までの交通手段	運行経路の変更・減少	その他
住所	全体	832 100.0	540 64.9	248 29.8	454 54.6	261 31.4	14 1.7
	岡山市北区	114 100.0	86 75.4	36 31.6	42 36.8	45 39.5	1 0.9
	岡山市中区	52 100.0	34 65.4	18 34.6	22 42.3	14 26.9	2 3.8
	岡山市東区	39 100.0	17 43.6	14 35.9	24 61.5	8 20.5	- -
	岡山市南区	59 100.0	31 52.5	22 37.3	36 61.0	16 27.1	- -
	津山市	74 100.0	47 63.5	19 25.7	40 54.1	18 24.3	2 2.7
	玉野市	64 100.0	45 70.3	23 35.9	25 39.1	28 43.8	2 3.1
	総社市	42 100.0	24 57.1	13 31.0	25 59.5	15 35.7	2 4.8
	備前市	62 100.0	41 66.1	18 29.0	36 58.1	24 38.7	2 3.2
	瀬戸内市	46 100.0	33 71.7	14 30.4	29 63.0	11 23.9	- -
	赤磐市	71 100.0	43 60.6	22 31.0	40 56.3	21 29.6	- -
	真庭市	83 100.0	53 63.9	16 19.3	47 56.6	31 37.3	2 2.4
	和気町	27 100.0	17 63.0	9 33.3	21 77.8	5 18.5	1 3.7
	早島町	8 100.0	4 50.0	1 12.5	7 87.5	1 12.5	- -
	久米南町	26 100.0	16 61.5	8 30.8	20 76.9	9 34.6	- -
	美咲町	38 100.0	29 76.3	8 21.1	24 63.2	13 34.2	- -
	吉備中央町	27 100.0	20 74.1	7 25.9	16 59.3	2 7.4	- -

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

⑤ 路線バスについて満足していない理由

<全体>

- 『②路線バスへの満足度』で「満足していない」と回答した人で、理由として最も多かったのは「駅・バスが遠い」(42.2%)であった。次いで「目的地まで時間がかかる」が30.6%、「乗り継ぎの時刻が合わない」が27.5%と続いている。



<年齢別の動向>

- 年齢別では路線バスに満足していない理由に大きな相違はみられず、全体の傾向とほぼ同じである。

上段:度数 下段:%		路線バスについて満足していない理由							
		合計	駅・バス停が遠い	乗り継ぎの時刻が合わない	いくつも乗り継ぎが必要	駅・バス停の近くに駐車場がない	目的地まで時間がかかる	運賃が高い	その他
年齢	全体	1428 100.0	603 42.2	393 27.5	228 16.0	341 23.9	437 30.6	348 24.4	442 31.0
	20～29歳	115 100.0	52 45.2	36 31.3	13 11.3	23 20.0	37 32.2	28 24.3	42 36.5
	30～39歳	195 100.0	84 43.1	59 30.3	26 13.3	56 28.7	64 32.8	42 21.5	64 32.8
	40～49歳	254 100.0	115 45.3	61 24.0	37 14.6	67 26.4	73 28.7	60 23.6	85 33.5
	50～59歳	284 100.0	109 38.4	91 32.0	57 20.1	73 25.7	98 34.5	99 34.9	88 31.0
	60～69歳	364 100.0	141 38.7	95 26.1	67 18.4	81 22.3	103 28.3	80 22.0	112 30.8
	70歳以上	216 100.0	102 47.2	51 23.6	28 13.0	41 19.0	62 28.7	39 18.1	51 23.6

■ 30%以上

＜地域別の動向＞

- ・ 居住地別に路線バスに満足していない理由をみると、「駅・バス停が遠い」と回答した割合が高い地域が多かったが、津山市・真庭市では「乗り継ぎの時刻が合わない」と回答した割合が最も高く、玉野市では「目的地まで時間がかかる」と回答した割合が最も高かった。また、岡山市北区・備前市・早島町では「その他」と回答した割合が最も高く、理由としては「バスの運行本数が少ない」や、「時刻通りにバスが来ない」等の理由が最も多かった。
- ・ また吉備中央町では「運賃が高い」の割合が他市町に比べ特に高い状況である。

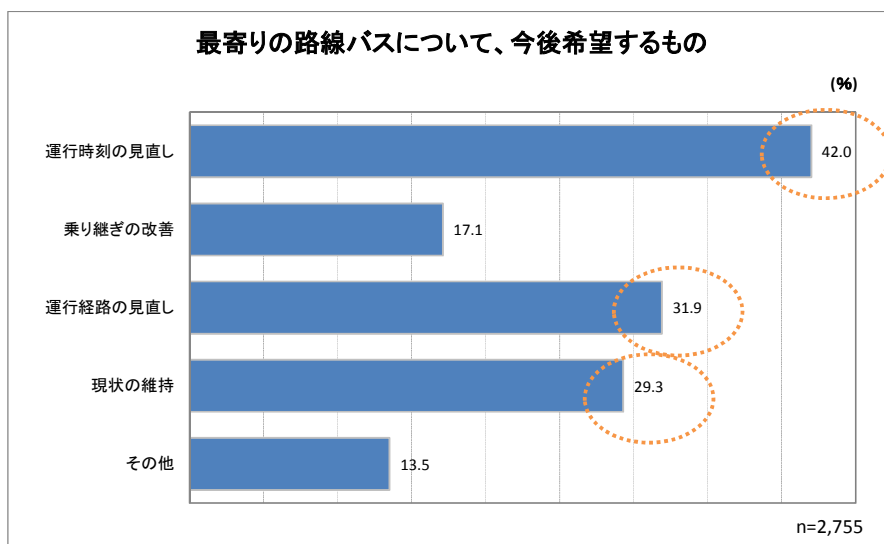
上段:度数 下段:%		路線バスについて満足していない理由							
		合計	駅・バス停が遠い	乗り継ぎの時刻 が合わない	いくつも乗り継ぎ が必要	駅・バス停の近く に駐車場がない	目的地まで時間 がかかる	運賃が高い	その他
住所	全体	1412 100.0	600 42.5	387 27.4	227 16.1	339 24.0	428 30.3	344 24.4	436 30.9
	岡山市北区	158 100.0	62 39.2	39 24.7	21 13.3	38 24.1	38 24.1	39 24.7	65 41.1
	岡山市中区	61 100.0	25 41.0	11 18.0	20 32.8	16 26.2	18 29.5	13 21.3	19 31.1
	岡山市東区	77 100.0	39 50.6	16 20.8	7 9.1	26 33.8	26 33.8	28 36.4	20 26.0
	岡山市南区	99 100.0	51 51.5	13 13.1	11 11.1	25 25.3	26 26.3	28 28.3	30 30.3
	津山市	115 100.0	40 34.8	51 44.3	21 18.3	30 26.1	36 31.3	20 17.4	28 24.3
	玉野市	91 100.0	34 37.4	26 28.6	14 15.4	35 38.5	43 47.3	33 36.3	30 33.0
	総社市	130 100.0	67 51.5	36 27.7	14 10.8	35 26.9	31 23.8	20 15.4	38 29.2
	備前市	92 100.0	24 26.1	32 34.8	19 20.7	10 10.9	24 26.1	10 10.9	33 35.9
	瀬戸内市	121 100.0	57 47.1	34 28.1	25 20.7	24 19.8	47 38.8	43 35.5	34 28.1
	赤磐市	95 100.0	43 45.3	21 22.1	19 20.0	20 21.1	30 31.6	21 22.1	27 28.4
	真庭市	77 100.0	27 35.1	32 41.6	16 20.8	17 22.1	30 39.0	19 24.7	17 22.1
	和気町	64 100.0	29 45.3	21 32.8	8 12.5	9 14.1	13 20.3	15 23.4	18 28.1
	早島町	68 100.0	26 38.2	8 11.8	8 11.8	9 13.2	15 22.1	3 4.4	31 45.6
	久米南町	55 100.0	25 45.5	14 25.5	4 7.3	15 27.3	10 18.2	3 5.5	15 27.3
	美咲町	38 100.0	19 50.0	10 26.3	5 13.2	10 26.3	7 18.4	10 26.3	8 21.1
	吉備中央町	71 100.0	32 45.1	23 32.4	15 21.1	20 28.2	34 47.9	39 54.9	23 32.4

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

問9. 最寄りの路線バスについて、今後希望するもの

<全体>

- 岡山都市圏の住民が今後最寄りの路線バスに希望するものとして、最も比率が高かったのが「運行時刻の見直し」(42.0%)であった。次いで「運行経路の見直し」(31.9%)、「現状の維持」(29.3%)と続いている。



<年齢別の動向>

- 年齢別では路線バスに満足していない理由に大きな相違はみられず、全体の傾向とほぼ同じである。

上段:度数 下段:%		最寄りの路線バスについて、今後希望するもの					
		合計	運行時刻の見直し	乗り継ぎの改善	運行経路の見直し	現状の維持	その他
年齢	全体	2750 100.0	1152 41.9	468 17.0	879 32.0	807 29.3	372 13.5
	20~29歳	235 100.0	110 46.8	33 14.0	63 26.8	67 28.5	24 10.2
	30~39歳	358 100.0	143 39.9	47 13.1	109 30.4	110 30.7	55 15.4
	40~49歳	436 100.0	189 43.3	66 15.1	147 33.7	119 27.3	64 14.7
	50~59歳	492 100.0	205 41.7	81 16.5	165 33.5	134 27.2	74 15.0
	60~69歳	718 100.0	293 40.8	143 19.9	232 32.3	210 29.2	94 13.1
	70歳以上	511 100.0	212 41.5	98 19.2	163 31.9	167 32.7	61 11.9

■ 30%以上

<地域別の動向>

- ・ 居住地別に最寄りの路線バスについて、今後希望するものをみると、ほとんどの地域では「運行時刻の見直し」と回答した割合が最も高かったが、早島町・久米南町では「運行経路の見直し」と回答した割合が最も高かった。
- ・ 「現状の維持」についても比較的多くの地域で比率が高く、公共交通サービスの継続的な提供に不安を持っている人が多いことがうかがえる。
- ・ また、「その他」と回答した割合も比較的に高く、「運行本数の増加」を求める声も多かった。

上段:度数 下段:%		最寄りの路線バスについて、今後希望するもの					
		合計	運行時刻の見直し	乗り継ぎの改善	運行経路の見直し	現状の維持	その他
住所	全体	2729 100.0	1144 41.9	466 17.1	872 32.0	803 29.4	369 13.5
	岡山市北区	377 100.0	157 41.6	46 12.2	103 27.3	134 35.5	48 12.7
	岡山市中区	200 100.0	50 25.0	28 14.0	50 25.0	99 49.5	24 12.0
	岡山市東区	149 100.0	60 40.3	21 14.1	51 34.2	46 30.9	19 12.8
	岡山市南区	197 100.0	73 37.1	28 14.2	65 33.0	62 31.5	19 9.6
	津山市	216 100.0	102 47.2	47 21.8	83 38.4	45 20.8	28 13.0
	玉野市	191 100.0	89 46.6	32 16.8	48 25.1	67 35.1	19 9.9
	総社市	184 100.0	80 43.5	21 11.4	70 38.0	26 14.1	42 22.8
	備前市	169 100.0	86 50.9	32 18.9	47 27.8	51 30.2	22 13.0
	瀬戸内市	185 100.0	97 52.4	35 18.9	64 34.6	37 20.0	22 11.9
	赤磐市	195 100.0	86 44.1	32 16.4	61 31.3	62 31.8	19 9.7
	真庭市	195 100.0	83 42.6	55 28.2	55 28.2	68 34.9	18 9.2
	和気町	92 100.0	39 42.4	13 14.1	37 40.2	14 15.2	20 21.7
	早島町	89 100.0	20 22.5	15 16.9	41 46.1	16 18.0	22 24.7
	久米南町	98 100.0	33 33.7	20 20.4	39 39.8	21 21.4	17 17.3
	美咲町	88 100.0	35 39.8	21 23.9	22 25.0	31 35.2	11 12.5
	吉備中央町	104 100.0	54 51.9	20 19.2	36 34.6	24 23.1	19 18.3

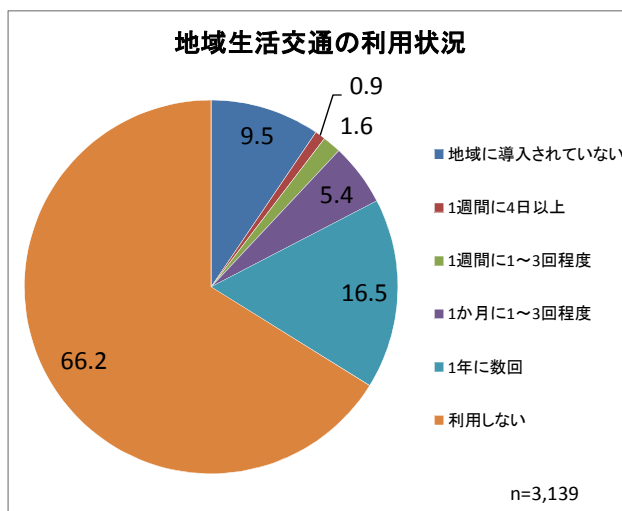
■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

問10. 地域生活交通について

① 地域生活交通の利用状況

<全体>

- 岡山都市圏の住民で、地域生活交通を「1週間に4日以上」「1週間に1～3回程度」「1か月に1～3回程度」として日常的に利用頻度の高い人の割合は7.9%と低い割合となっている。
- 「1年に数回」利用する人は16.5%、「利用しない」人は66.2%、「地域に導入されていない」と回答した人は全体の9.5%であった。



<年齢別の動向>

- 年齢別に地域生活交通の利用状況をみると、全ての年齢階級で「利用しない」と回答した人の割合が最も高かった。1カ月以内に地域生活交通を複数回利用すると回答した人の割合が最も高かった年齢階級は70歳以上であった。

上段:度数 下段:%		地域生活交通の利用状況						
		合計	地域に導入されていない	1週間に4日以上	1週間に1～3回程度	1か月に1～3回程度	1年に数回	利用しない
年齢	全体	3130	297	27	50	169	516	2071
		100.0	9.5	0.9	1.6	5.4	16.5	66.2
	20～29歳	245	18	4	1	15	42	165
		100.0	7.3	1.6	0.4	6.1	17.1	67.3
	30～39歳	378	35	1	3	16	69	254
		100.0	9.3	0.3	0.8	4.2	18.3	67.2
	40～49歳	473	42	2	4	18	73	334
	100.0	8.9	0.4	0.8	3.8	15.4	70.6	
50～59歳	561	54	4	3	16	74	410	
	100.0	9.6	0.7	0.5	2.9	13.2	73.1	
60～69歳	842	89	5	9	31	141	567	
	100.0	10.6	0.6	1.1	3.7	16.7	67.3	
70歳以上	631	59	11	30	73	117	341	
	100.0	9.4	1.7	4.8	11.6	18.5	54.0	

■ 50%以上 ■ 10%以上 50%未満

<地域別の動向>

- ・ 居住地別に地域生活交通の利用状況をみると、岡山都市圏における全ての市町で「利用しない」と回答した割合が最も高かった。
- ・ 「1年に数回」という頻度であれば、瀬戸内市・和気町・久米南町・美咲町・吉備中央町を除く市町で10%以上の人が利用している。また、1カ月以内に複数回利用していると回答した人の割合が最も高かったのは岡山市北区であった。

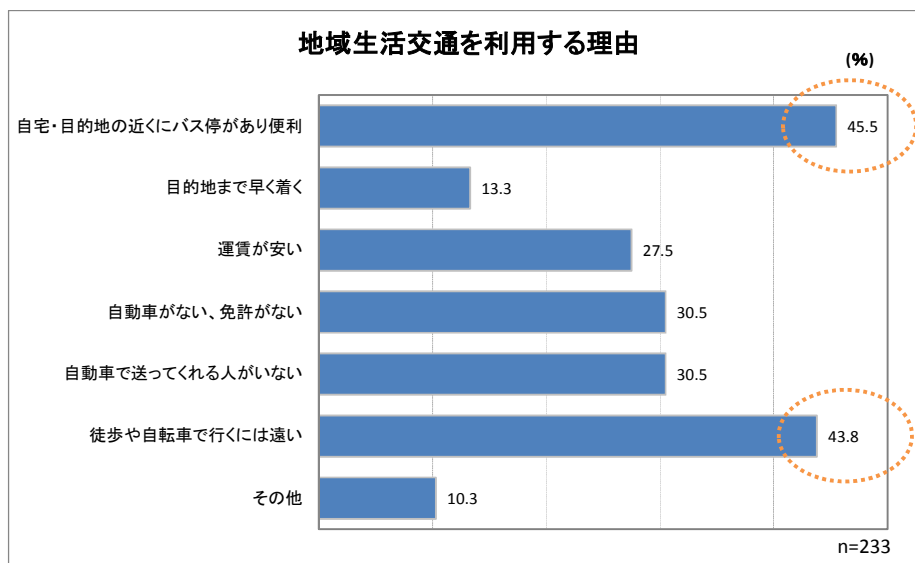
	上段:度数 下段:%	地域生活交通の利用状況						
		合計	地域に導入されていない	1週間に4日以上	1週間に1~3回程度	1か月に1~3回程度	1年に数回	利用しない
住所	全体	3102 100.0	296 9.5	26 0.8	49 1.6	166 5.4	514 16.6	2051 66.1
	岡山市北区	405 100.0	71 17.5	5 1.2	8 2.0	38 9.4	86 21.2	197 48.6
	岡山市中区	212 100.0	38 17.9	2 0.9	11 5.2	17 8.0	57 26.9	87 41.0
	岡山市東区	161 100.0	39 24.2	- -	3 1.9	6 3.7	27 16.8	86 53.4
	岡山市南区	218 100.0	48 22.0	4 1.8	2 0.9	12 5.5	64 29.4	88 40.4
	津山市	244 100.0	13 5.3	1 0.4	2 0.8	12 4.9	29 11.9	187 76.6
	玉野市	215 100.0	2 0.9	1 0.5	3 1.4	12 5.6	35 16.3	162 75.3
	総社市	226 100.0	9 4.0	1 0.4	2 0.9	6 2.7	29 12.8	179 79.2
	備前市	191 100.0	8 4.2	1 0.5	3 1.6	12 6.3	33 17.3	134 70.2
	瀬戸内市	205 100.0	43 21.0	- -	1 0.5	11 5.4	17 8.3	133 64.9
	赤磐市	217 100.0	5 2.3	3 1.4	2 0.9	9 4.1	34 15.7	164 75.6
	真庭市	229 100.0	2 0.9	1 0.4	3 1.3	10 4.4	44 19.2	169 73.8
	和気町	115 100.0	1 0.9	3 2.6	2 1.7	3 2.6	3 2.6	103 89.6
	早島町	108 100.0	3 2.8	1 0.9	3 2.8	5 4.6	29 26.9	67 62.0
	久米南町	132 100.0	2 1.5	1 0.8	1 0.8	7 5.3	9 6.8	112 84.8
	美咲町	105 100.0	1 1.0	- -	3 2.9	4 3.8	9 8.6	88 83.8
	吉備中央町	119 100.0	11 9.2	2 1.7	- -	2 1.7	9 7.6	95 79.8

■ 50%以上 ■ 10%以上 50%未満

② 地域生活交通を利用する理由

<全体>

- 上記『①地域生活交通の利用状況』で「1週間に4日以上」「1週間に1～3回程度」「1か月に1～3回程度」と回答した人で、地域生活交通を利用する理由として最も比率が高かったのが「自宅・目的地の近くにバス停があり便利」(45.5%)であった。次いで「徒歩や自転車で行くには遠い」が43.8%、「自動車がない、免許がない」及び「自動車で送ってくれる人がいない」が30.5%と続いている。



<年齢別の動向>

- 「自宅・目的地の近くにバス停があり便利」は40代以上で多く理由として挙げられている、一方で「徒歩や自転車で行くには遠い」は20代と60代で多く理由として挙げられている。

	上段:度数 下段:%	地域生活交通を利用する理由							
		合計	自宅・目的地の 近くにバス停が あり便利	目的地まで早く 着く	運賃が安い	自動車がない 免許がない	自動車で送って くれる人がいない	徒歩や自転車 で行くには遠い	その他
年齢	全体	233 100.0	106 45.5	31 13.3	64 27.5	71 30.5	71 30.5	102 43.8	24 10.3
	20～29歳	20 100.0	4 20.0	3 15.0	4 20.0	3 15.0	9 45.0	11 55.0	2 10.0
	30～39歳	19 100.0	5 26.3	1 5.3	3 15.8	3 15.8	5 26.3	5 26.3	6 31.6
	40～49歳	24 100.0	11 45.8	4 16.7	4 16.7	4 16.7	4 16.7	11 45.8	3 12.5
	50～59歳	23 100.0	10 43.5	5 21.7	7 30.4	1 4.3	4 17.4	7 30.4	4 17.4
	60～69歳	43 100.0	24 55.8	5 11.6	12 27.9	14 32.6	8 18.6	23 53.5	2 4.7
	70歳以上	104 100.0	52 50.0	13 12.5	34 32.7	46 44.2	41 39.4	45 43.3	7 6.7

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

<地域別の動向>

- ・ 居住地別に地域生活交通を利用する理由をみると、どの地域でも「自宅・目的地の近くにバス停があり便利」「徒歩や自転車で行くには遠い」と回答した人の割合が比較的に多かった。

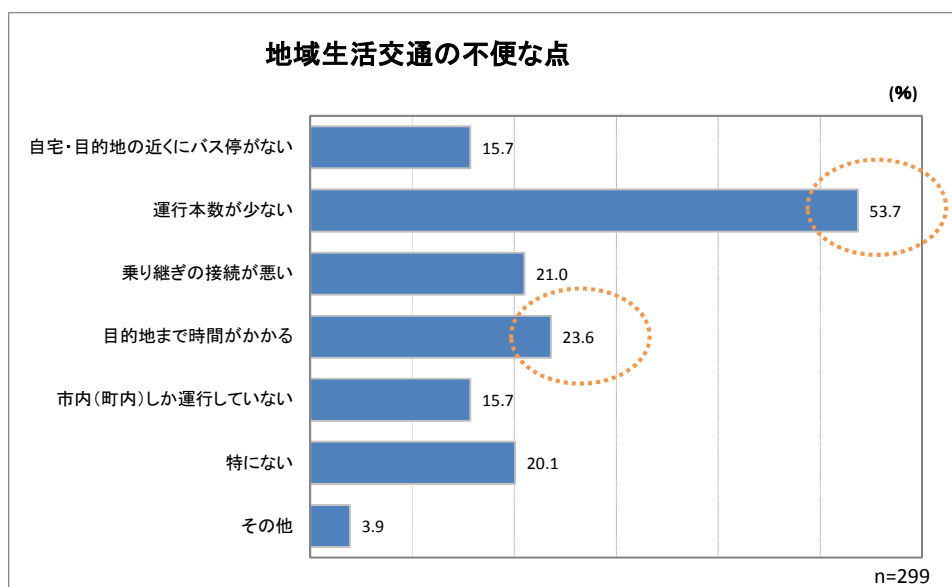
上段:度数 下段:%		地域生活交通を利用する理由							
		合計	自宅・目的地の近くにバス停があり便利	目的地まで早く着く	運賃が安い	自動車がない、免許がない	自動車ですべての人がない	徒歩や自転車で行くには遠い	その他
住所	全体	228 100.0	105 46.1	31 13.6	60 26.3	69 30.3	69 30.3	100 43.9	23 10.1
	岡山市北区	49 100.0	27 55.1	11 22.4	12 24.5	5 10.2	12 24.5	16 32.7	8 16.3
	岡山市中区	30 100.0	18 60.0	3 10.0	8 26.7	7 23.3	12 40.0	10 33.3	5 16.7
	岡山市東区	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	4 57.1	-
	岡山市南区	18 100.0	4 22.2	1 5.6	2 11.1	7 38.9	6 33.3	14 77.8	2 11.1
	津山市	13 100.0	6 46.2	1 7.7	6 46.2	6 46.2	7 53.8	8 61.5	-
	玉野市	16 100.0	10 62.5	2 12.5	7 43.8	9 56.3	5 31.3	5 31.3	-
	総社市	9 100.0	1 11.1	2 22.2	4 44.4	5 55.6	3 33.3	5 55.6	-
	備前市	15 100.0	3 20.0	2 13.3	-	6 40.0	3 20.0	9 60.0	2 13.3
	瀬戸内市	11 100.0	3 27.3	2 18.2	1 9.1	4 36.4	2 18.2	2 18.2	-
	赤磐市	13 100.0	9 69.2	1 7.7	3 23.1	2 15.4	4 30.8	7 53.8	-
	真庭市	14 100.0	6 42.9	1 7.1	6 42.9	5 35.7	4 28.6	7 50.0	3 21.4
	和気町	7 100.0	3 42.9	-	2 28.6	4 57.1	5 71.4	4 57.1	3 42.9
	早島町	8 100.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	-
	久米南町	8 100.0	2 25.0	-	4 50.0	3 37.5	2 25.0	4 50.0	-
	美咲町	7 100.0	6 85.7	1 14.3	1 14.3	2 28.6	-	2 28.6	-
	吉備中央町	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

③ 地域生活交通の不便な点

<全体>

- 『①地域生活交通の利用状況』で「1週間に4日以上」「1週間に1～3回程度」「1か月に1～3回程度」と回答した人で、地域生活交通の不便な点として最も割合が高かったのが「運行本数が少ない」(53.7%)であった。次いで「目的地まで時間がかかる」が23.6%、「乗り継ぎの接続が悪い」が21.0%と続いている。



<地域別の動向>

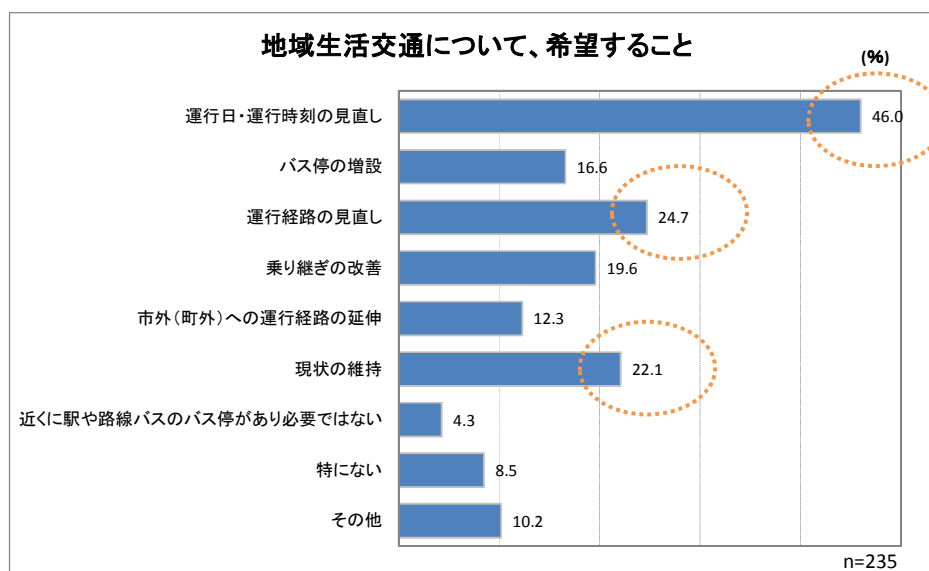
- ・ 居住地別に地域生活交通の不便な点をみると、岡山都市圏の市部では「運行本数が少ない」と回答した割合が最も高かった。母数は少ないが、和気町・早島町では「市内(町内)しか運行していない」と回答した割合が高かった。

上段:度数 下段:%		地域生活交通の不便な点							
		合計	自宅・目的の 近くにバス停がない	運行本数が少ない	乗り継ぎの接続 が悪い	目的地まで時間 がかかる	市内(町内)しか 運行していない	特にな	その他
住所	全体	225 100.0	35 15.6	121 53.8	47 20.9	53 23.6	35 15.6	45 20.0	9 4.0
	岡山市北区	49 100.0	10 20.4	22 44.9	8 16.3	9 18.4	4 8.2	16 32.7	3 6.1
	岡山市中区	27 100.0	4 14.8	7 25.9	4 14.8	6 22.2	2 7.4	12 44.4	3 11.1
	岡山市東区	7 100.0	-	5 71.4	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-
	岡山市南区	18 100.0	5 27.8	10 55.6	1 5.6	6 33.3	1 5.6	2 11.1	-
	津山市	14 100.0	2 14.3	9 64.3	1 7.1	2 14.3	3 21.4	1 7.1	-
	玉野市	15 100.0	-	7 46.7	3 20.0	6 40.0	3 20.0	3 20.0	-
	総社市	9 100.0	2 22.2	5 55.6	2 22.2	3 33.3	2 22.2	1 11.1	1 11.1
	備前市	16 100.0	3 18.8	12 75.0	6 37.5	5 31.3	4 25.0	2 12.5	1 6.3
	瀬戸内市	12 100.0	3 25.0	9 75.0	4 33.3	5 41.7	1 8.3	-	-
	赤磐市	14 100.0	1 7.1	10 71.4	2 14.3	4 28.6	-	3 21.4	-
	真庭市	14 100.0	3 21.4	13 92.9	5 35.7	-	1 7.1	-	1 7.1
	和気町	6 100.0	-	1 16.7	1 16.7	2 33.3	4 66.7	2 33.3	-
	早島町	8 100.0	-	2 25.0	2 25.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	-
	久米南町	7 100.0	1 14.3	4 57.1	4 57.1	1 14.3	3 42.9	-	-
	美咲町	6 100.0	-	4 66.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	-	-
	吉備中央町	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

④ 地域生活交通について希望すること

- 岡山都市圏の住民が、地域生活交通について希望することで最も割合が高かったのが「運行日・運行時刻の見直し」で、46.0%であった。次いで「運行経路の見直し」が24.7%、「現状の維持」が22.1%と続いており、最も割合が小さかったのは「近くに駅や路線バスのバス停があり必要ではない」の4.3%であった。



<地域別の動向>

- ・ 居住地別に地域生活交通について、希望することをみると、「運行日・運行時刻の見直し」を希望する地域が多かった。また、母数は少ないが玉野市では「現状の維持」の回答割合が高かった。

上段:度数		地域生活交通について、希望すること									
下段:%		合計	運行日・運行時刻の見直し	バス停の増設	運行経路の見直し	乗り継ぎの改善	市外(町外)への運行経路の延伸	現状の維持	近くに駅や路線バスのバス停が必要ではない	特になし	その他
住所	全体	231 100.0	106 45.9	39 16.9	56 24.2	46 19.9	29 12.6	51 22.1	10 4.3	20 8.7	24 10.4
	岡山市北区	49 100.0	22 44.9	9 18.4	14 28.6	7 14.3	2 4.1	14 28.6	1 2.0	5 10.2	5 10.2
	岡山市中区	30 100.0	9 30.0	3 10.0	7 23.3	1 3.3	2 6.7	7 23.3	2 6.7	5 16.7	5 16.7
	岡山市東区	9 100.0	5 55.6	2 22.2	3 33.3	2 22.2	1 11.1	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1
	岡山市南区	18 100.0	8 44.4	6 33.3	4 22.2	2 11.1	1 5.6	3 16.7	-	2 11.1	-
	津山市	14 100.0	8 57.1	7 50.0	3 21.4	2 14.3	2 14.3	3 21.4	-	-	1 7.1
	玉野市	16 100.0	6 37.5	-	1 6.3	4 25.0	2 12.5	7 43.8	1 6.3	2 12.5	2 12.5
	総社市	9 100.0	4 44.4	2 22.2	3 33.3	2 22.2	1 11.1	2 22.2	-	1 11.1	1 11.1
	備前市	16 100.0	7 43.8	1 6.3	4 25.0	7 43.8	2 12.5	3 18.8	2 12.5	-	4 25.0
	瀬戸内市	12 100.0	8 66.7	1 8.3	4 33.3	3 25.0	-	1 8.3	1 8.3	-	-
	赤磐市	14 100.0	9 64.3	1 7.1	3 21.4	2 14.3	1 7.1	4 28.6	1 7.1	1 7.1	1 7.1
	真庭市	13 100.0	8 61.5	3 23.1	3 23.1	5 38.5	3 23.1	-	-	1 7.7	1 7.7
	和気町	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3
	早島町	9 100.0	2 22.2	-	2 22.2	2 22.2	4 44.4	1 11.1	-	1 11.1	2 22.2
	久米南町	7 100.0	4 57.1	1 14.3	2 28.6	3 42.9	3 42.9	1 14.3	-	-	-
	美咲町	6 100.0	3 50.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	-	-	-
	吉備中央町	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

II. 岡山都市圏企業アンケート調査

1. 調査概要

本調査は、圏域内に立地する事業者の経営環境や直面している課題、要望等を調査し、今後、現状を踏まえた効果的な施策の実施につなげていくための基礎資料とすることを目的として実施した。

なお、岡山都市圏とは、岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町の8市5町からなる圏域を指す。

アンケート調査の概要は以下の通りである。

【岡山都市圏企業アンケート調査の概要】

調査目的	岡山都市圏に本社を置く企業について、①経営状況・経営上の課題、②公的産業振興策のあり方の2つを把握することを目的とする。
調査対象	圏域内に本社を置き、従業員5名以上の企業 2,060社（協同組合・団体等を除く）
データ数	・ サンプル数 1,000票（有効発送数997票） ・ 有効回答数 502票（回収率50.4%）
調査時点	2015年11月5日～11月18日（本報告書掲載の有効回答数、回収率は11月30日までの回収分を反映）
標本抽出	調査対象となる企業から1,000社を無作為抽出
調査方法	自記入式アンケート調査票を郵送により配布・回収
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本事項 会社概要（所在地、資本金、業種、従業員数） ● アンケート事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 経営状態に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・ 業績、取引先（地域）、会社の強み、圏域のメリット／デメリット ・ 人材確保の取組、人材（後継者等）の育成 ② 新分野への進出に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・ 新分野への取組状況 ③ 公的産業振興策のあり方に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・ 期待する公的産業振興策、具体的要望

【本アンケート調査の回収状況】

市町	発送数(票)	回収数(票)	回収率(%)
岡山市	444	219	49.3
津山市	141	74	52.5
玉野市	83	34	41.0
総社市	57	25	43.9
備前市	75	44	58.7
瀬戸内市	42	21	50.0
赤磐市	32	18	56.3
真庭市	67	26	38.8
和気町	13	6	46.2
早島町	8	3	37.5
久米南町	4	3	75.0
美咲町	19	11	57.9
吉備中央町	15	8	53.3
市町名不記入	-	10	-
合計	1,000 (有効発送数 997)	502 (有効回答数 : 502)	50.4 (分母 : 有効発送数)

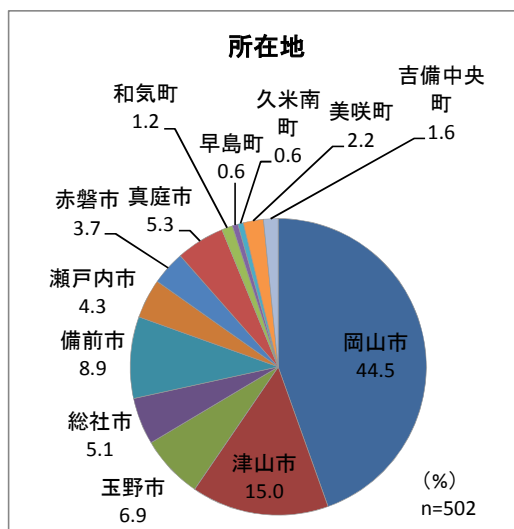
【本報告書での記載方法について】

- ・ 本報告書では、集計結果の数値を、特に断りのないかぎり、小数点以下第2位で四捨五入している。そのため、各回答の合計が100%に一致しないことがある。
- ・ 複数回答の設問については、回答比率の合計は、100%を超える。
- ・ 各設問を集計した回答数の値（n値）については、「n=●」という記載方法でグラフ・表に示している。
- ・ 各設問の集計にあたっては、回答がない、もしくは回答内容が把握できないものについては「不明」とし集計対象から除外している。

2. 回答者属性

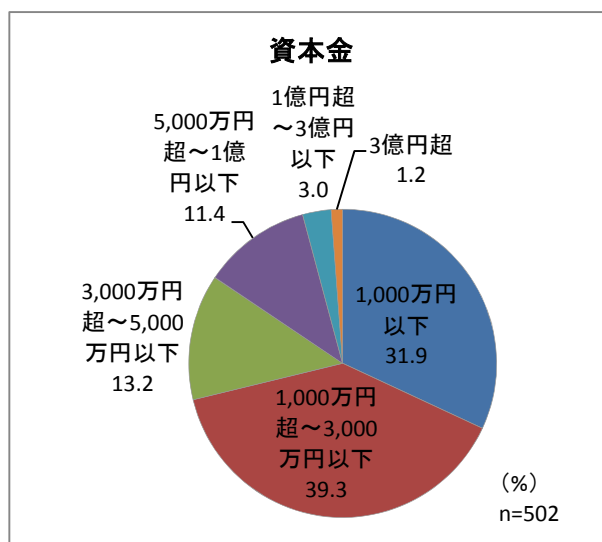
① 所在地

- 回答企業の所在地は、岡山市が44.5%と全体の約半数を占める。次いで津山市(15.0%)、備前市(8.9%)、玉野市(6.9%)、真庭市(5.3%)、総社市(5.1%)と続き、調査票の発送数の順にほぼ一致している。発送数は市町の企業数に応じた数となっているため、回答企業の構成は、ほぼ企業の所在地地域別の構成と一致していることになる。



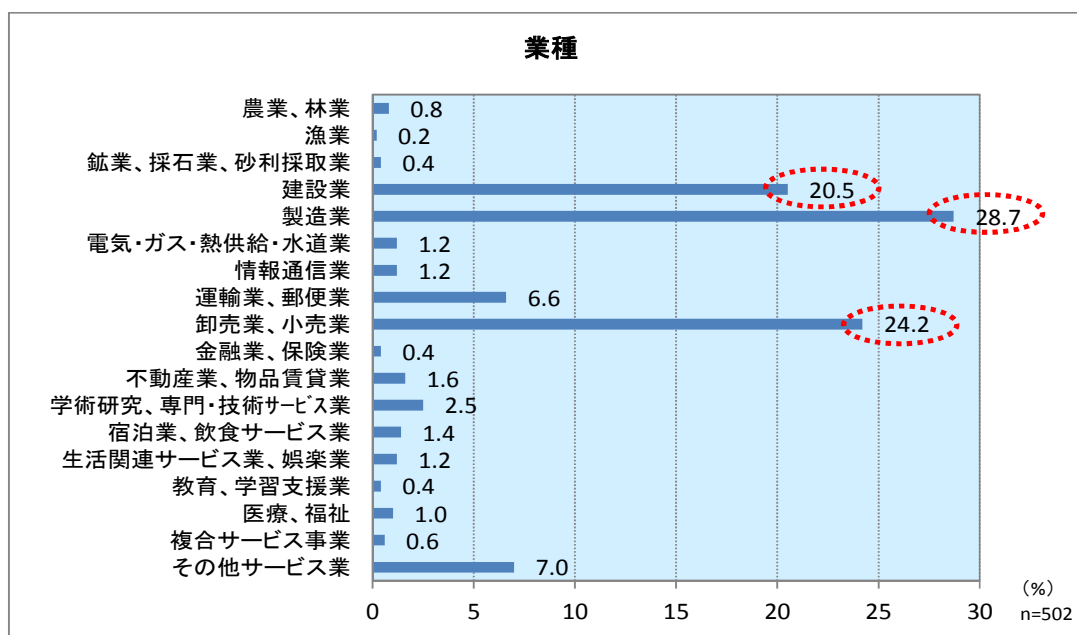
② 資本金

- 資本金では1,000万円超～3,000万円以下の企業が最も多く39.3%を占める。次いで1,000万円以下が31.9%あり、全体では資本金3,000万円以下の小規模企業が約7割を占めており、本調査全体は中小企業の業態を反映したものとなった。



③ 業種

- 業種別にみると、製造業が28.7%と最も多く、次いで卸売業・小売業（24.2%）、建設業（20.5%）と続いている。これら3つの業種が突出して高く、全体の7割を占めている。これは岡山都市圏の産業の中で雇用・付加価値額とも高いウエイトを占める産業構造とほぼ同じものとなった（但し医療、福祉は除く）。



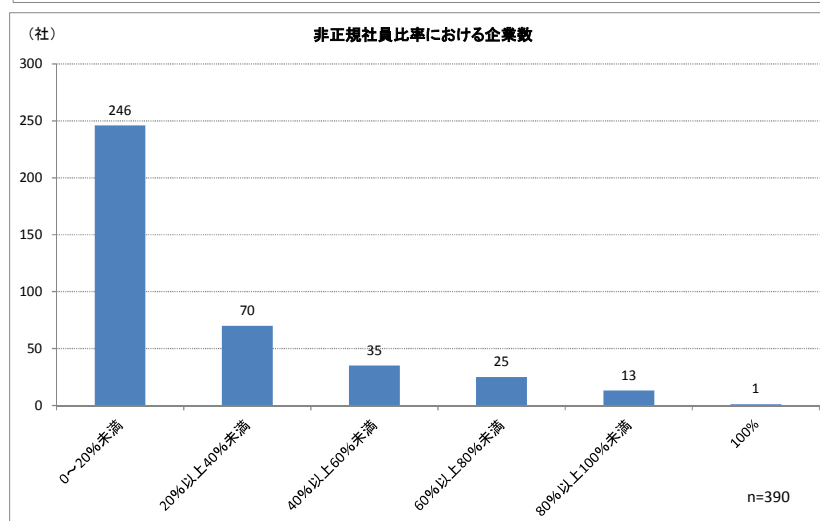
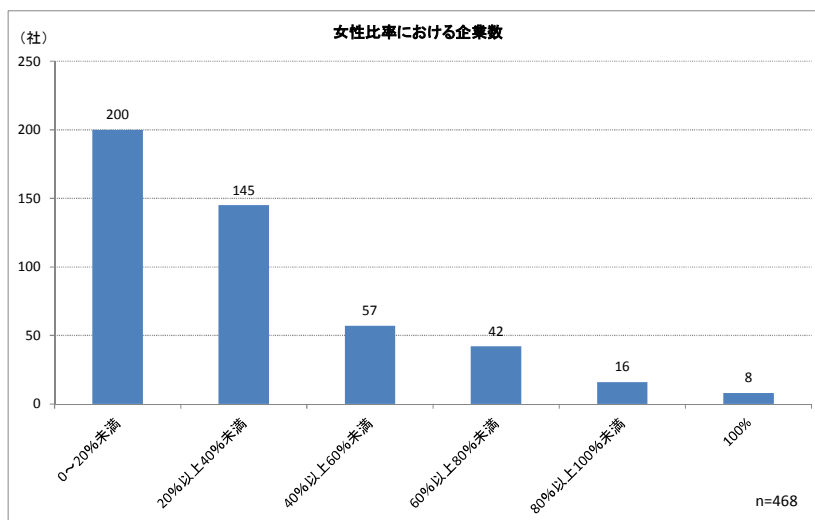
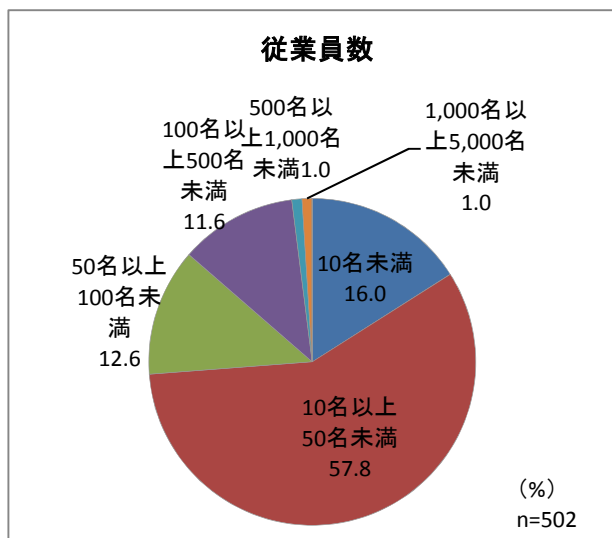
【岡山都市圏の産業大分類別の主要指標】

	事業所数		従業者数		売上額		付加価値額		付加価値率 (%)
	(所)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	
総数	50,278		492,355		9,750,519		1,991,173		
農林漁業	268	0.5	3,030	0.6	32,290	0.3	6,497	0.3	20.1
鉱業、採石業、砂利採取業	31	0.1	177	0.0	1,570	0.0	345	0.0	22.0
建設業	5,093	10.1	35,200	7.1	681,024	7.0	121,572	6.1	17.9
製造業	3,983	7.9	86,938	17.7	2,318,341	23.8	504,016	25.3	21.7
電気・ガス・熱供給・水道業	25	0.0	1,441	0.3	27,290	0.3	16,360	0.8	59.9
情報通信業	549	1.1	10,037	2.0	166,989	1.7	42,375	2.1	25.4
運輸業、郵便業	1,389	2.8	29,222	5.9	381,282	3.9	112,940	5.7	29.6
卸売業、小売業	13,711	27.3	106,052	21.5	3,481,422	35.7	396,775	19.9	11.4
金融業、保険業	999	2.0	14,595	3.0	831,164	8.5	143,319	7.2	17.2
不動産業、物品賃貸業	3,317	6.6	11,201	2.3	221,247	2.3	50,157	2.5	22.7
学術研究、専門・技術サービス業	2,051	4.1	12,092	2.5	119,714	1.2	48,958	2.5	40.9
宿泊業、飲食サービス業	5,598	11.1	41,397	8.4	144,220	1.5	55,169	2.8	38.3
生活関連サービス業、娯楽業	4,343	8.6	20,068	4.1	237,314	2.4	58,166	2.9	24.5
教育、学習支援業	1,329	2.6	13,798	2.8	127,263	1.3	64,633	3.2	50.8
医療、福祉	3,475	6.9	64,201	13.0	665,195	6.8	254,721	12.8	38.3
複合サービス事業	371	0.7	3,441	0.7	34,100	0.3	13,346	0.7	39.1
サービス業(他に分類されないもの)	3,746	7.5	39,465	8.0	280,094	2.9	101,824	5.1	36.4

出所：経済センサス活動調査（2012年）

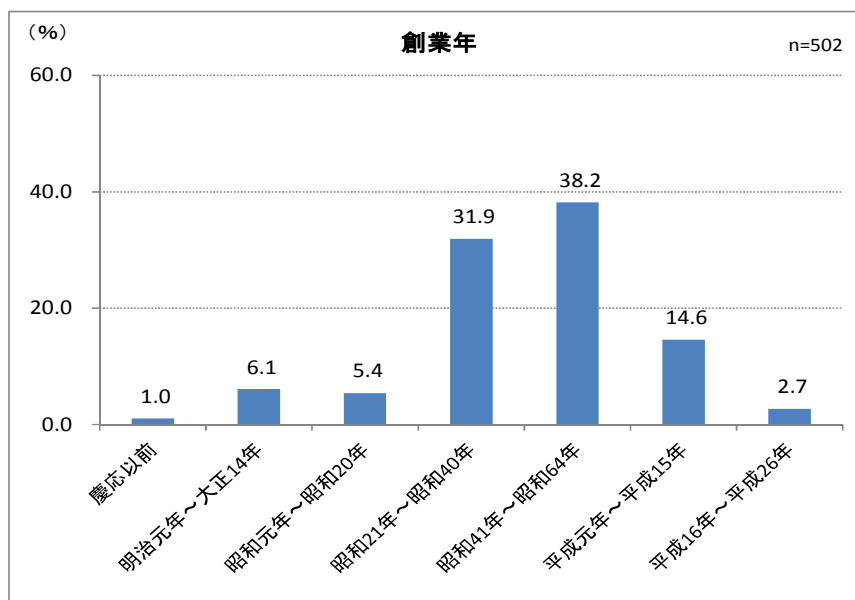
④ 従業員数

- 従業員数では10名以上50名未満が57.8%と最も多く、次いで10名未満が16.0%となっている。全体では従業員数50名未満の企業が約7割を占めている。
- 全従業員のうち女性従業員数の割合が、20%未満の企業が全体の約半数を占めている。
- また、非正規社員数についても女性従業員数と同様に20%未満の割合が全体の約半数となっている。



⑤ 創業年

- ・ 創業開始時期については、最も多いのが昭和41年～昭和64年で38.2%、次いで昭和21年～昭和40年で31.9%となっている。戦後に創業し業歴も比較的長い企業が多いことがわかる。



3. 調査結果

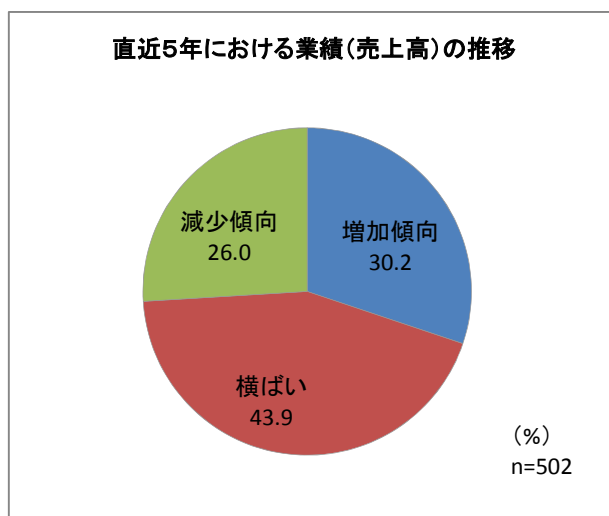
(1) 企業活動の状況について

問2. 経営状況について

① 直近5年における業績（売上高）の推移について

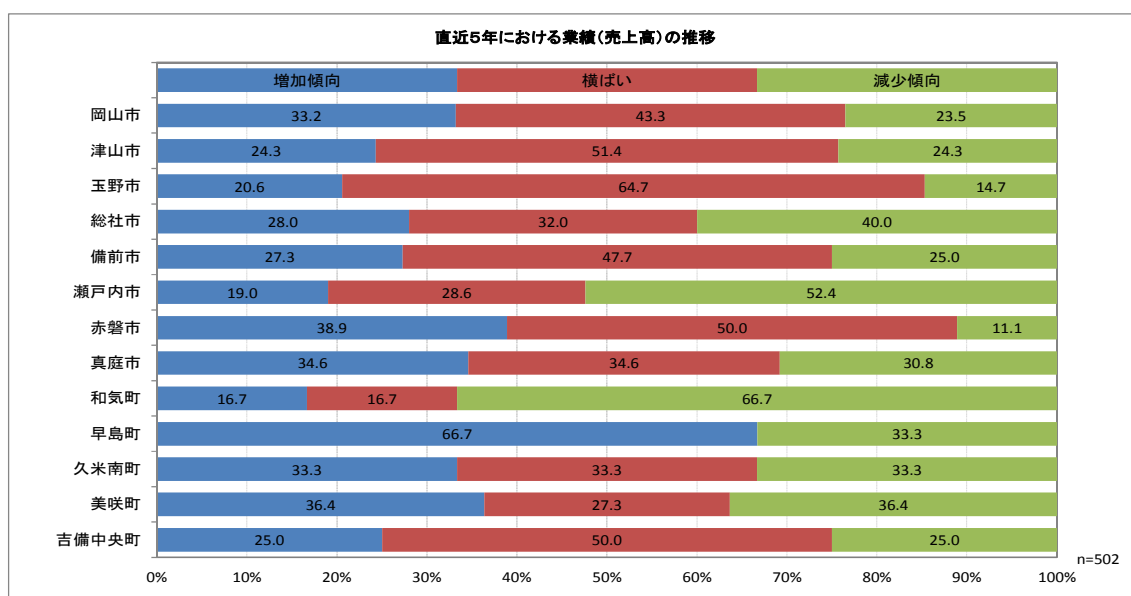
<全体>

- ・ 「増加傾向」あるいは「横ばい」と回答した企業が約7割、「減少傾向」と回答した企業は約3割であった。



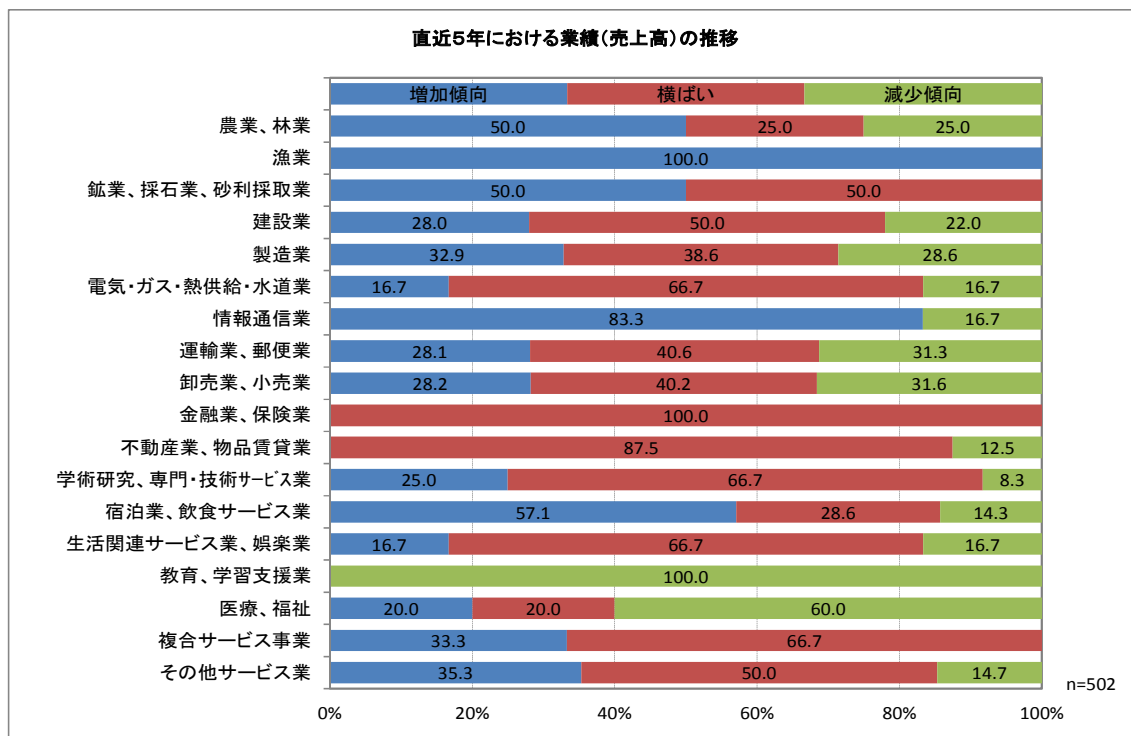
<地域別の動向>

- ・ 地域別で見ると、大半の市町において「増加傾向」と「横ばい」の回答が5割以上を占めているが、「減少傾向」が5割以上を占めていたのは瀬戸内市と和気町の2市町のみであった。



<業種別の動向>

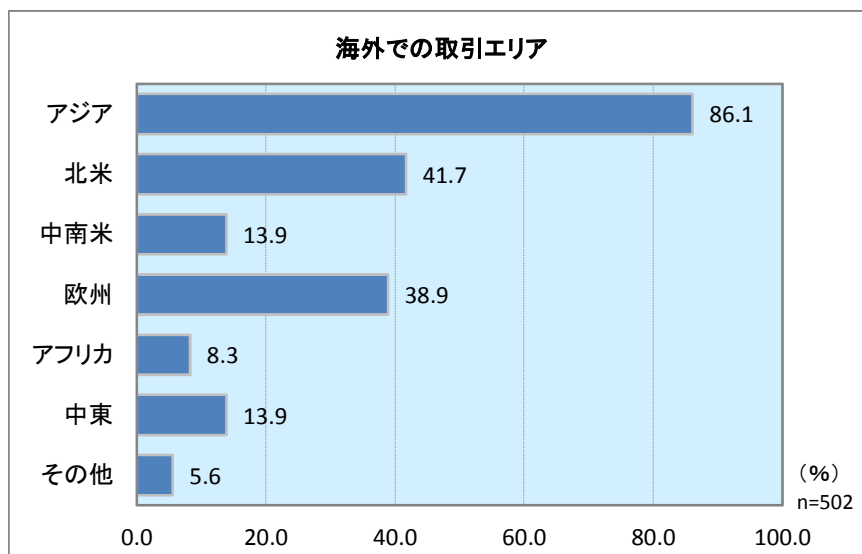
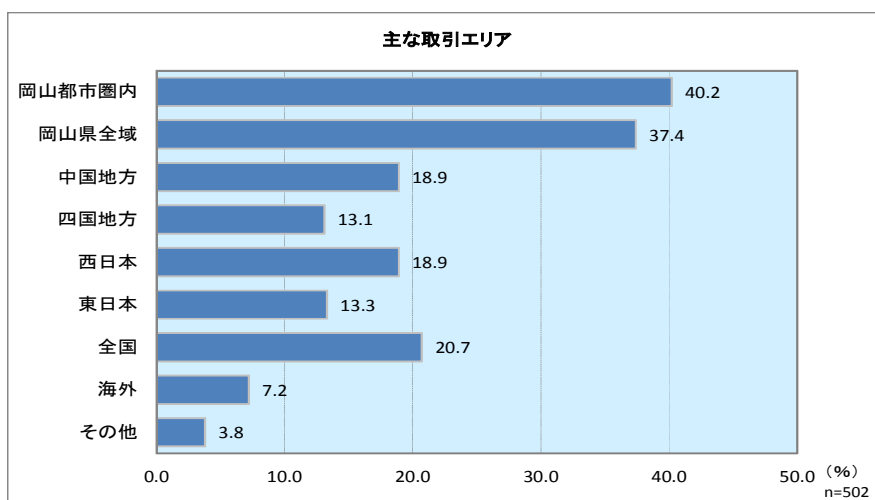
- 業種別では、ほとんどの業種において「増加傾向」と「横ばい」の回答が6割以上であったが、「減少傾向」の回答が6割以上あったのは「教育、学習支援業」と「医療、福祉」の2つのみであった。



② 取引エリアについて

<全体>

- ・ 主な取引エリアについては、大半の企業が「岡山都市圏内」(40.2%)あるいは「岡山県全域」(37.4%)であり、それに次いで多かったのが「全国」(20.7%)であった。
- ・ また「海外」も販路としている企業は全体の7.2%であった。取引エリアとしては「アジア」が86.1%と最も多く、「北米」(41.7%)・「欧州」(38.9%)の順になっている。



<地域別の動向>

- ・ 都市圏内の企業については、立地市町を問わず「岡山都市圏内」「岡山全域」を主な取引エリアとしている企業が多い。
- ・ また、岡山県外での展開については、どの市町でも一定程度存在しており、市町ごとに際立った差異はみられない。

上段:度数 下段:%		主な取引エリア									
		合計	岡山都市圏内	岡山県全域	中国地方	四国地方	西日本	東日本	全国	海外	その他
所在地	全体	490 100.0	196 40.0	183 37.3	93 19.0	64 13.1	93 19.0	65 13.3	102 20.8	36 7.3	19 3.9
	岡山市	219 100.0	86 39.3	100 45.7	52 23.7	34 15.5	40 18.3	24 11.0	37 16.9	15 6.8	8 3.7
	津山市	73 100.0	27 37.0	27 37.0	11 15.1	8 11.0	12 16.4	10 13.7	14 19.2	5 6.8	4 5.5
	玉野市	34 100.0	15 44.1	9 26.5	3 8.8	6 17.6	4 11.8	6 17.6	7 20.6	1 2.9	1 2.9
	総社市	25 100.0	9 36.0	7 28.0	3 12.0	- -	2 8.0	- -	7 28.0	- -	1 4.0
	備前市	43 100.0	15 34.9	9 20.9	6 14.0	6 14.0	13 30.2	11 25.6	15 34.9	5 11.6	1 2.3
	瀬戸内市	21 100.0	12 57.1	3 14.3	2 9.5	1 4.8	3 14.3	2 9.5	7 33.3	2 9.5	- -
	赤磐市	18 100.0	9 50.0	6 33.3	5 27.8	2 11.1	6 33.3	3 16.7	7 38.9	5 27.8	1 5.6
	真庭市	26 100.0	9 34.6	12 46.2	5 19.2	2 7.7	5 19.2	3 11.5	3 11.5	1 3.8	1 3.8
	和気町	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	4 66.7	4 66.7	- -	1 16.7	1 16.7
	早島町	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	1 33.3
	久米南町	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	2 66.7	- -	- -
	美咲町	11 100.0	5 45.5	4 36.4	2 18.2	2 18.2	3 27.3	2 18.2	1 9.1	1 9.1	- -
	吉備中央町	8 100.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	2 25.0	- -	- -

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

<業種別の動向>

- ・ 一定程度の企業数がある業種について言及すると「建設業」「卸売・小売業」という基本的に営業所・店舗を中心に市場にアクセスする業種については、「岡山都市圏」「岡山県全域」の割合が高い。
 - ・ 一方で「製造業」のように製造した商品が直接国内外に販売できる業種については、多様な製造業の集積が進む当圏域の企業は、国内外で広く取引をしている傾向にある。
- *以降も業種別の動向については、「建設」「製造業」「卸売・小売業」を中心に言及する。

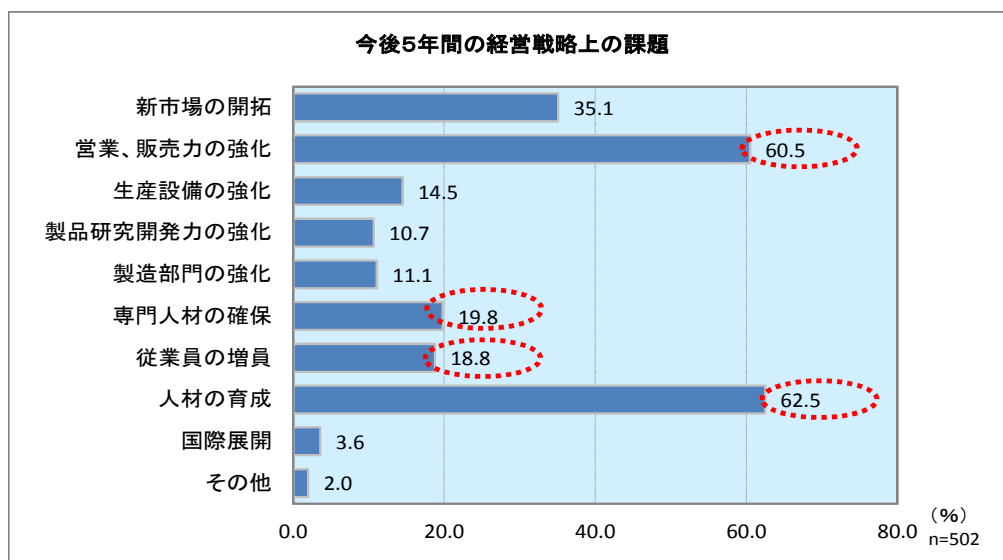
業種	上段:度数 下段:%	主な取引エリア									
		合計	岡山都市圏内	岡山県全域	中国地方	四国地方	西日本	東日本	全国	海外	その他
全体	486 100.0	195 40.1	183 37.7	91 18.7	64 13.2	94 19.3	66 13.6	99 20.4	36 7.4	19 3.9	
農業、林業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	
漁業	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	
鉱業、採石業、砂利採取業	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	
建設業	99 100.0	47 47.5	51 51.5	15 15.2	10 10.1	7 7.1	8 8.1	5 5.1	2 2.0	4 4.0	
製造業	140 100.0	42 30.0	35 25.0	36 25.7	21 15.0	46 32.9	33 23.6	58 41.4	24 17.1	3 2.1	
電気・ガス・熱供給・水道業	6 100.0	4 66.7	2 33.3	2 33.3	-	-	-	-	-	-	
情報通信業	6 100.0	3 50.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	4 66.7	-	-	-	
運輸業、郵便業	32 100.0	15 46.9	8 25.0	7 21.9	8 25.0	14 43.8	7 21.9	4 12.5	-	2 6.3	
卸売業、小売業	117 100.0	46 39.3	48 41.0	24 20.5	19 16.2	15 12.8	8 6.8	20 17.1	6 5.1	8 6.8	
金融業、保険業	2 100.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	
不動産業、物品賃貸業	8 100.0	5 62.5	4 50.0	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	
学術研究・専門・技術サービス業	12 100.0	6 50.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	2 16.7	2 16.7	2 16.7	-	-	
宿泊業、飲食サービス業	7 100.0	2 28.6	3 42.9	-	-	-	-	2 28.6	2 28.6	-	
生活関連サービス業、娯楽業	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-	-	1 16.7	-	-	
教育、学習支援業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	
医療、福祉	5 100.0	3 60.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-	
複合サービス事業	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	
その他サービス業	34 100.0	13 38.2	17 50.0	3 8.8	3 8.8	5 14.7	3 8.8	3 8.8	-	-	

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

③ 今後の課題について

<全体>

- ・ 今後5年間の経営戦略における課題としては、「人材の育成」と「営業、販売力の強化」がともに約6割と最も多く、次いで「新市場の開拓」が続いた。
- ・ 「専門人材の確保」や「従業員の増員」を課題とする企業もそれぞれ約2割あり、「人材の育成」も含めると、人材を経営戦略上の課題としている企業が多いことがわかる。人口減少のなかで、市場拡大に対応するための市場開拓と人材不足への対応が求められていることがうかがえる。



<業種別の動向>

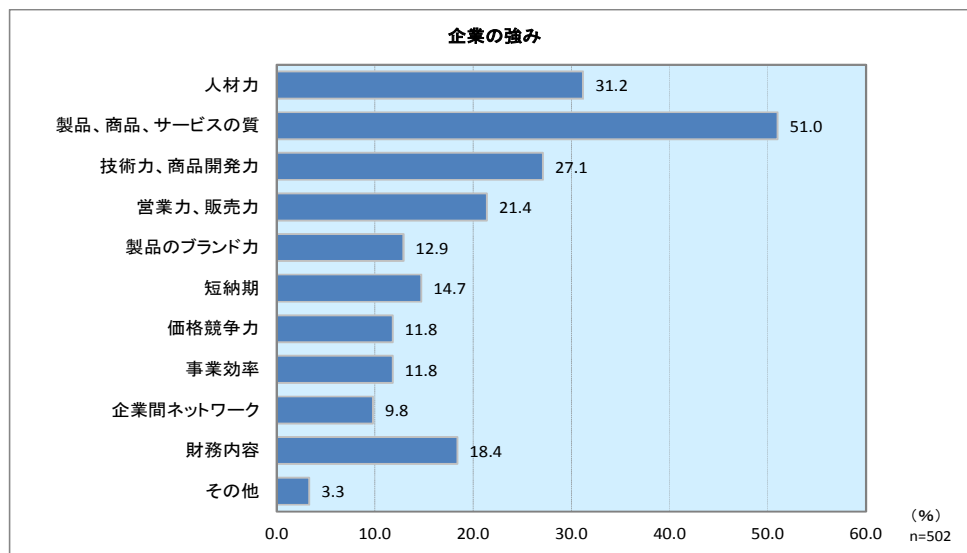
- 「建設」「製造業」「卸売・小売業」をはじめ多くの業種で「人材の育成」「営業、販売力の強化」「新市場の開拓」が課題に挙げられている点は全体の傾向と同様である。その中で「製造業」では当然のことながら「生産設備の強化」「製造部門の強化」が課題として挙げられている。

上段:度数 下段:%		今後5年間の経営戦略上の課題										
		合計	新市場の開拓	営業、販売力の強化	生産設備の強化	製品研究開発力の強化	製造部門の強化	専門人材の確保	従業員の増員	人材の育成	国際展開	その他
業種	全体	485 100.0	170 35.1	292 60.2	70 14.4	51 10.5	54 11.1	98 20.2	89 18.4	304 62.7	17 3.5	9 1.9
	農業、林業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	1 25.0	2 50.0	-	-
	漁業	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-
	鉱業、採石業、砂利採取業	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-
	建設業	98 100.0	32 32.7	56 57.1	4 4.1	5 5.1	3 3.1	29 29.6	25 25.5	71 72.4	1 1.0	-
	製造業	140 100.0	47 33.6	64 45.7	45 32.1	31 22.1	47 33.6	19 13.6	15 10.7	80 57.1	11 7.9	-
	電気・ガス・熱供給・水道業	6 100.0	3 50.0	3 50.0	-	-	-	2 33.3	1 16.7	6 100.0	-	-
	情報通信業	6 100.0	2 33.3	5 83.3	-	1 16.7	-	-	2 33.3	5 83.3	-	-
	運輸業、郵便業	31 100.0	8 25.8	18 58.1	7 22.6	-	-	5 16.1	12 38.7	22 71.0	-	-
	卸売業、小売業	118 100.0	46 39.0	97 82.2	4 3.4	7 5.9	1 0.8	14 11.9	20 16.9	69 58.5	4 3.4	5 4.2
	金融業、保険業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	2 100.0	-	-
	不動産業、物品賃貸業	8 100.0	2 25.0	7 87.5	-	-	-	1 12.5	1 12.5	4 50.0	-	1 12.5
	学術研究、専門・技術サービス業	12 100.0	5 41.7	3 25.0	2 16.7	1 8.3	-	6 50.0	3 25.0	8 66.7	-	-
	宿泊業、飲食サービス業	7 100.0	3 42.9	6 85.7	1 14.3	-	-	-	1 14.3	4 57.1	-	1 14.3
	生活関連サービス業、娯楽業	6 100.0	2 33.3	6 100.0	-	1 16.7	-	2 33.3	1 16.7	4 66.7	-	-
	教育、学習支援業	2 100.0	1 50.0	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-
	医療、福祉	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	-	3 60.0	-	5 100.0	1 20.0	-
	複合サービス事業	3 100.0	3 100.0	2 66.7	-	-	-	1 33.3	-	3 100.0	-	-
	その他サービス業	34 100.0	13 38.2	19 55.9	5 14.7	3 8.8	2 5.9	14 41.2	5 14.7	18 52.9	-	2 5.9

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

④ 企業（自社）の強みについて

- ・ 自社の強みについては、ほぼ半数の企業が「製品、商品、サービスの質」と回答した。次いで多かったのが「人材力」であり、今後の経営戦略上、人材を課題とする企業が多い一方で自社の人材に自信を持っている企業が多いことがわかる。



<業種別の動向>

- ・ 製造業と卸売・小売業では「製品、商品、サービスの質」が競争力の源泉として1番に挙げられおり、2番目には製造業は「技術力・商品開発力」、卸売・小売業は「営業力・販売力」と業種ごとの違いが出ている。
- ・ 建設業については「技術力・商品開発力」「人材力」が強みとして上位に挙げられている。

企業の強み(業種別)

上段:度数 下段:%		企業の強み											
		合計	人材力	製品、商品、サービスの質	技術力、商品開発力	営業力、販売力	製品のブランド力	短納期	価格競争力	事業効率	企業間ネットワーク	財務内容	その他
業種	全体	479 100.0	150 31.3	243 50.7	130 27.1	99 20.7	62 12.9	71 14.8	56 11.7	57 11.9	47 9.8	90 18.8	16 3.3
	農業、林業	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	1 25.0	-
	漁業	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	鉱業、採石業、砂利採取業	2 100.0	-	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-
	建設業	99 100.0	49 49.5	39 39.4	48 48.5	15 15.2	7 7.1	5 5.1	13 13.1	17 17.2	7 7.1	17 17.2	3 3.0
	製造業	139 100.0	29 20.9	78 56.1	54 38.8	12 8.6	21 15.1	49 35.3	23 16.5	8 5.8	7 5.0	27 19.4	4 2.9
	電気・ガス・熱供給・水道業	6 100.0	3 50.0	-	2 33.3	1 16.7	2 33.3	-	1 16.7	-	1 16.7	3 50.0	-
	情報通信業	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	2 33.3	-	-	1 16.7	1 16.7	-	-	-
	運輸業、郵便業	28 100.0	12 42.9	16 57.1	1 3.6	5 17.9	2 7.1	1 3.6	2 7.1	3 10.7	7 25.0	7 25.0	-
	卸売業、小売業	118 100.0	31 26.3	60 50.8	7 5.9	49 41.5	20 16.9	10 8.5	12 10.2	17 14.4	10 8.5	20 16.9	7 5.9
	金融業、保険業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-
	不動産業、物品賃貸業	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	2 33.3	-	-	1 16.7	2 33.3	2 33.3	-
	学術研究、専門・技術サービス業	12 100.0	6 50.0	6 50.0	4 33.3	1 8.3	-	2 16.7	1 8.3	2 16.7	2 16.7	2 16.7	-
	宿泊業、飲食サービス業	7 100.0	1 14.3	5 71.4	1 14.3	1 14.3	-	-	2 28.6	-	-	-	1 14.3
	生活関連サービス業、娯楽業	6 100.0	1 16.7	5 83.3	1 16.7	2 33.3	-	-	-	-	-	1 16.7	-
	教育、学習支援業	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-
	医療、福祉	4 100.0	2 50.0	4 100.0	1 25.0	-	2 50.0	-	-	-	-	1 25.0	-
	複合サービス事業	3 100.0	2 66.7	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-	-	-
	その他サービス業	34 100.0	8 23.5	17 50.0	8 23.5	5 14.7	3 8.8	3 8.8	1 2.9	5 14.7	10 29.4	7 20.6	1 2.9

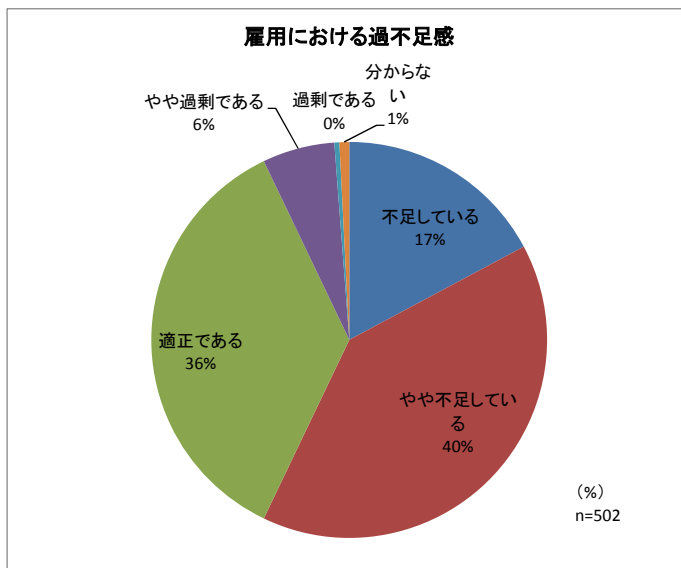
■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

問3. 雇用状況について

① 雇用の過不足感について

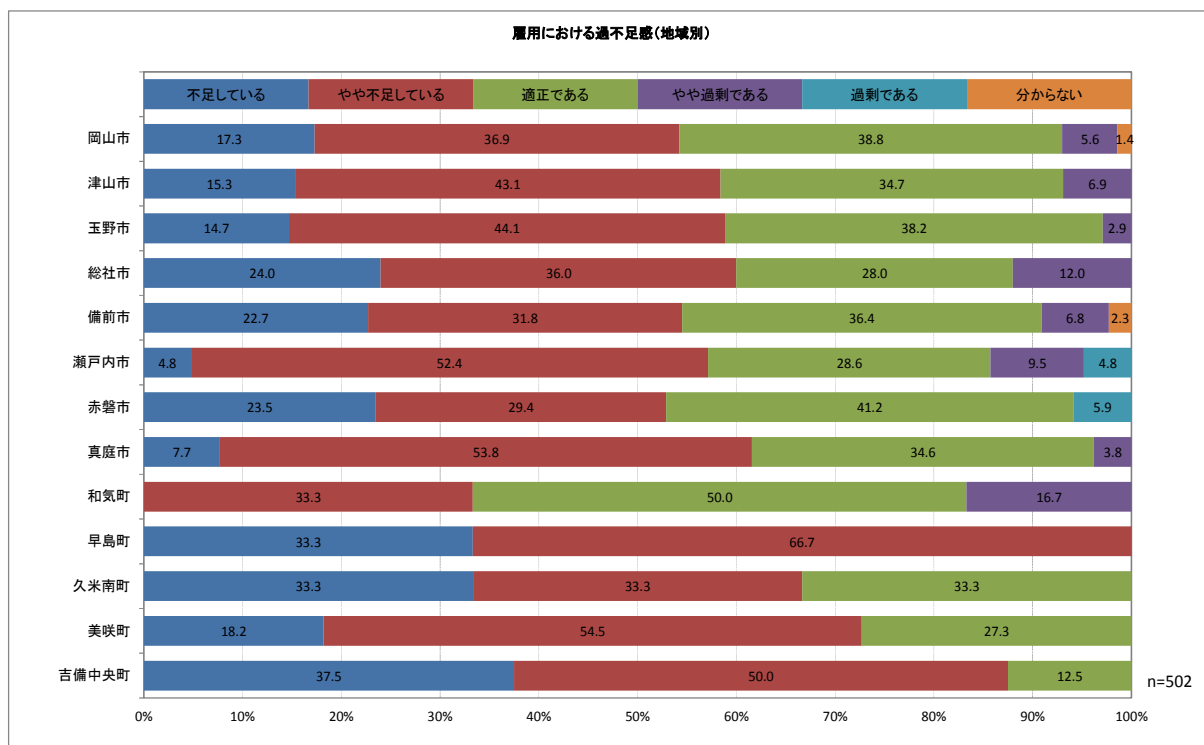
<全体>

- 雇用状況について、「不足している」が約2割であり、「やや不足している」も含めると企業の約6割が人材不足を感じている。一方で、「過剰である」と回答した企業はゼロであり、「やや過剰である」は僅かであることから、人材に余力がある企業はほとんどないことがうかがえる。



<地域別の動向>

- 市町別でみても人材が「不足している」「やや不足している」という意識は広く共有されており、例えば岡山市のように人口規模が多い市でも人材不足の状況にある。小規模な町はサンプル数が少ないものの、人材不足とする割合は比較的高く、深刻な状況にあると思われる。



<業種別の動向>

- 業種別には、建設業、製造業、卸売・小売業の一部で雇用の過剰感が示されているが、おおむねどの業種でも「やや不足している」が「適正である」よりも勝っている状況である。

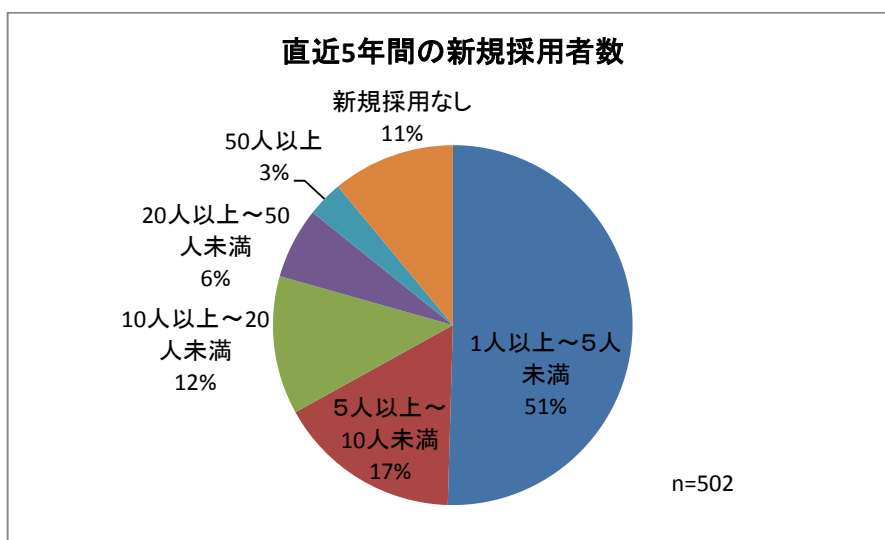
上段:度数 下段:%	雇用における過不足感							
	合計	不足している	やや不足している	適正である	やや過剰である	過剰である	分からない	
全体	480 100.0	79 16.5	195 40.6	172 35.8	28 5.8	2 0.4	4 0.8	
農業、林業	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	-	-	
漁業	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	
鉱業、採石業、砂利採取業	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	
建設業	98 100.0	20 20.4	42 42.9	32 32.7	3 3.1	-	1 1.0	
製造業	138 100.0	16 11.6	49 35.5	61 44.2	10 7.2	2 1.4	-	
電気・ガス・熱供給・水道業	6 100.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	-	-	-	
情報通信業	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	-	-	-	
運輸業、郵便業	32 100.0	11 34.4	10 31.3	11 34.4	-	-	-	
卸売業、小売業	115 100.0	15 13.0	46 40.0	39 33.9	13 11.3	-	2 1.7	
金融業、保険業	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	-	
不動産業、物品賃貸業	7 100.0	3 42.9	1 14.3	3 42.9	-	-	-	
学術研究、専門・技術サービス業	12 100.0	1 8.3	7 58.3	3 25.0	1 8.3	-	-	
宿泊業、飲食サービス業	7 100.0	1 14.3	5 71.4	1 14.3	-	-	-	
生活関連サービス業、娯楽業	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	-	-	-	
教育、学習支援業	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	
医療、福祉	5 100.0	-	2 40.0	3 60.0	-	-	-	
複合サービス事業	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-	-	-	
その他サービス業	34 100.0	8 23.5	17 50.0	7 20.6	1 2.9	-	1 2.9	

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

② 直近5年間の新規採用動向

<全体>

- 直近5年間の新規採用者数は、約5割の企業が「1人以上～5人未満」の採用を行っている。新規採用を行っていない企業は約1割だけであり、残り9割の企業は、規模の違いはあるものの、新規採用を行っていることがわかる。



<地域別の動向>

- 地域別には基本的に全体の傾向と変わらず「1人～5人未満」が主であるが、岡山市では比較的各市町よりも新規採用者を積極的に雇用する企業が多い状況にある。

所在地	上段:度数 下段:%	直近5年間の新規採用者数						新規採用なし
		合計	1人以上～5人未満	5人以上～10人未満	10人以上～20人未満	20人以上～50人未満	50人以上	
全体	488 100.0	247 50.6	80 16.4	60 12.3	31 6.4	16 3.3	54 11.1	
岡山市	216 100.0	103 47.7	38 17.6	26 12.0	18 8.3	12 5.6	19 8.8	
津山市	73 100.0	45 61.6	8 11.0	5 6.8	5 6.8	1 1.4	9 12.3	
玉野市	34 100.0	19 55.9	3 8.8	2 5.9	2 5.9	-	8 23.5	
総社市	25 100.0	9 36.0	6 24.0	5 20.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	
備前市	44 100.0	20 45.5	6 13.6	7 15.9	2 4.5	1 2.3	8 18.2	
瀬戸内市	21 100.0	12 57.1	4 19.0	2 9.5	1 4.8	-	2 9.5	
赤磐市	18 100.0	8 44.4	3 16.7	5 27.8	1 5.6	-	1 5.6	
真庭市	26 100.0	14 53.8	5 19.2	5 19.2	-	-	2 7.7	
和気町	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-	-	
早島町	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3	-	
久米南町	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-	
美咲町	11 100.0	7 63.6	2 18.2	1 9.1	-	-	1 9.1	
吉備中央町	8 100.0	2 25.0	2 25.0	2 25.0	-	-	2 25.0	

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

<業種別の動向>

- 業種別には建設業、製造業、卸売・小売業ともに「1人以上～5人未満」が多い状態である。ただ一部の企業はこの5年で20人以上の採用を行っていることから、積極的に採用を行っている企業も、これら業種を中心にみられる。

直近5年間の新規採用者数(業種別)

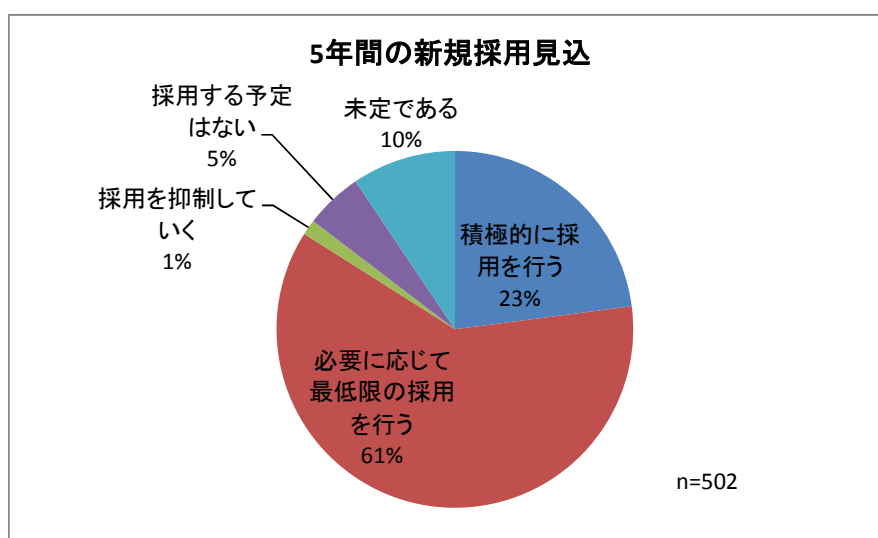
業種	上段:度数 下段:%	直近5年間の新規採用者数						
		合計	1人以上～ 5人未満	5人以上～ 10人未満	10人以上～ 20人未満	20人以上～ 50人未満	50人以上	新規採用 なし
	全体	484 100.0	242 50.0	80 16.5	61 12.6	31 6.4	16 3.3	54 11.2
	農業、林業	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-
	漁業	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
	鉱業、採石業、砂利 採取業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-
	建設業	98 100.0	60 61.2	18 18.4	6 6.1	4 4.1	1 1.0	9 9.2
	製造業	140 100.0	61 43.6	27 19.3	26 18.6	8 5.7	2 1.4	16 11.4
	電気・ガス・熱供給・ 水道業	6 100.0	6 100.0	-	-	-	-	-
	情報通信業	6 100.0	2 33.3	-	2 33.3	2 33.3	-	-
	運輸業、郵便業	32 100.0	16 50.0	6 18.8	4 12.5	3 9.4	1 3.1	2 6.3
	卸売業、小売業	117 100.0	57 48.7	16 13.7	11 9.4	6 5.1	9 7.7	18 15.4
	金融業、保険業	2 100.0	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-
	不動産業、物品賃貸 業	7 100.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-	-	3 42.9
	学術研究、専門・技 術サービス業	12 100.0	6 50.0	1 8.3	3 25.0	-	-	2 16.7
	宿泊業、飲食サービ ス業	7 100.0	4 57.1	-	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3
	生活関連サービ ス業、娯楽業	6 100.0	4 66.7	1 16.7	-	-	-	1 16.7
	教育、学習支援業	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-
	医療、福祉	5 100.0	1 20.0	-	1 20.0	3 60.0	-	-
	複合サービス事業	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	-
	その他サービス業	34 100.0	17 50.0	6 17.6	5 14.7	2 5.9	2 5.9	2 5.9

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

③ 5年間の新規採用見込

<全体>

- 今後5年間の新規採用については、「必要に応じて最低限の採用を行う」を含めると約8割の企業が新規採用を行うと回答しており、圏域の雇用環境は悪い状況ではないものと思われる。



<地域別の動向>

- 地域別でも「必要に応じて最低限の採用を行う」が大部分を占める状況に変わりはないが、岡山市では「積極的に採用を行う」とする企業が3割を超えており、圏域内の雇用環境を牽引する存在となる可能性がある。

上段: 度数	5年間の新規採用見込み						
	下段: %	合計	積極的に採用を行う	必要に応じて最低限の採用を行う	採用を抑制していく	採用する予定はない	未定である
所在地	全体	488	113	295	7	26	47
		100.0	23.2	60.5	1.4	5.3	9.6
	岡山市	217	65	116	3	10	23
		100.0	30.0	53.5	1.4	4.6	10.6
	津山市	73	11	48	1	7	6
		100.0	15.1	65.8	1.4	9.6	8.2
	玉野市	34	7	19	-	1	7
		100.0	20.6	55.9	-	2.9	20.6
	総社市	25	7	15	1	2	-
		100.0	28.0	60.0	4.0	8.0	-
	備前市	44	12	24	-	3	5
		100.0	27.3	54.5	-	6.8	11.4
	瀬戸内市	21	3	16	-	1	1
		100.0	14.3	76.2	-	4.8	4.8
赤磐市	18	3	15	-	-	-	
	100.0	16.7	83.3	-	-	-	
真庭市	26	1	19	1	-	5	
	100.0	3.8	73.1	3.8	-	19.2	
和気町	6	-	5	-	1	-	
	100.0	-	83.3	-	16.7	-	
早島町	3	1	2	-	-	-	
	100.0	33.3	66.7	-	-	-	
久米南町	3	1	1	1	-	-	
	100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	
美咲町	11	1	10	-	-	-	
	100.0	9.1	90.9	-	-	-	
吉備中央町	7	1	5	-	1	-	
	100.0	14.3	71.4	-	14.3	-	

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

<業種別の動向>

- 業種別でも「必要に応じて最低限の採用を行う」が大部分を占める状況に変わりはないが、建設業、製造業、卸売・小売業ではそれぞれ24~25社が「積極的に採用を行う」としている。また、運輸業・サービス業・情報通信でも一定の数の企業が「積極的に採用を行う」としている。

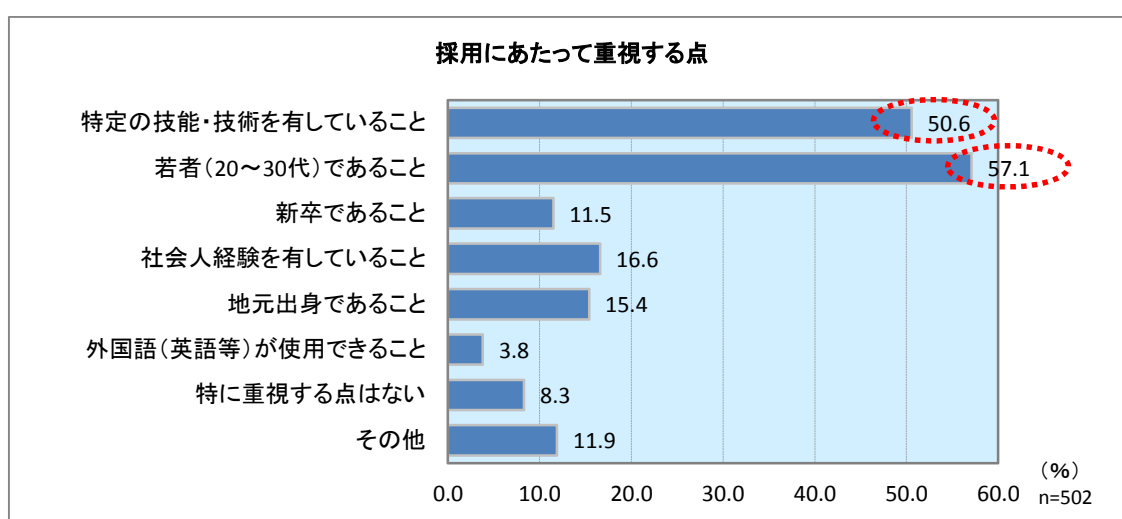
	上段:度数 下段:%	5年間の新規採用見込み					
		合計	積極的に採用 を行う	必要に応じて 最低限の採用 を行う	採用を抑制し ていく	採用する予定 はない	未定である
業種	全体	484 100.0	113 23.3	292 60.3	7 1.4	26 5.4	46 9.5
	農業、林業	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-	-	-
	漁業	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
	鉱業、採石業、砂利採取 業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	建設業	98 100.0	25 25.5	61 62.2	-	4 4.1	8 8.2
	製造業	139 100.0	25 18.0	95 68.3	3 2.2	6 4.3	10 7.2
	電気・ガス・熱供給・水道 業	6 100.0	1 16.7	4 66.7	-	-	1 16.7
	情報通信業	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-
	運輸業、郵便業	32 100.0	11 34.4	18 56.3	-	-	3 9.4
	卸売業、小売業	117 100.0	24 20.5	61 52.1	2 1.7	11 9.4	19 16.2
	金融業、保険業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	不動産業、物品賃貸業	8 100.0	1 12.5	3 37.5	-	2 25.0	2 25.0
	学術研究、専門・技術サー ビス業	12 100.0	3 25.0	8 66.7	-	1 8.3	-
	宿泊業、飲食サービス業	7 100.0	1 14.3	4 57.1	-	1 14.3	1 14.3
	生活関連サービス業、娯 楽業	6 100.0	1 16.7	4 66.7	-	-	1 16.7
	教育、学習支援業	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-
	医療、福祉	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	-	-
	複合サービス事業	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	その他サービス業	34 100.0	11 32.4	21 61.8	-	1 2.9	1 2.9

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

④ 採用で重視する点

<全体>

- ・ 企業が採用にあたって重視する点は、「若者（20～30代）であること」が最も多く約6割の企業が回答している。次いで「特定の技能・技術を有していること」が約5割あり、年齢が若くかつ能力をもった人材を企業は求めていることがわかる。
- ・ 一方で「新卒であること」が11.5%であるのに対し、「社会人経験を有していること」が16.6%であり、必ずしも新卒であることに拘らず、社会人経験を有している人材の方が重視されていることがわかる。「その他」のなかには、やる気があることや意欲的であることなど人物の中身を重視する意見もみられた。



<業種別の動向>

- ・ 業種別には「若者（20～30代）であること」「特定の技能・技術を有していること」が大部分を占めることに変わりはない。
- ・ 全般的に「新卒であること」よりも「社会人経験を有していること」が優先される傾向がある。これは今回の調査対象企業が主に中小企業であり、新卒者の教育にコストをかけるよりも、即戦力の人材を採用したいことが表れているものと思われる。
- ・ また、「地元出身であること」については、おおむね各業種で1～2割の企業が重視するとしている。

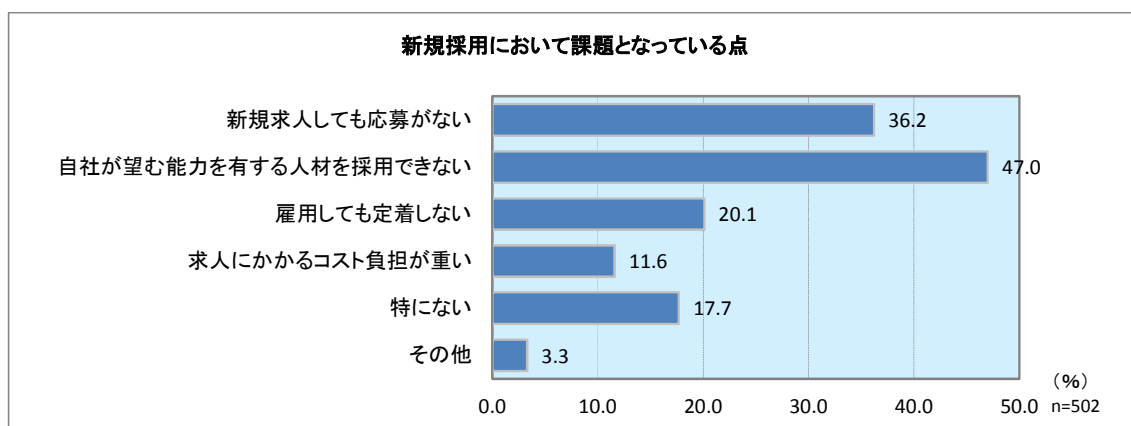
業種	上段:度数 下段:%	採用にあたって重視する点								
		合計	特定の技能・技術を有していること	若者(20～30代)であること	新卒であること	社会人経験を有していること	地元出身であること	外国語(英語等)が使用できること	特に重視する点はない	その他
全体	480 100.0	241 50.2	275 57.3	55 11.5	80 16.7	73 15.2	18 3.8	41 8.5	59 12.3	
農業、林業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	
漁業	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	
鉱業、採石業、砂利採取業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	
建設業	97 100.0	69 71.1	64 66.0	6 6.2	14 14.4	13 13.4	-	2 2.1	12 12.4	
製造業	140 100.0	66 47.1	86 61.4	18 12.9	24 17.1	25 17.9	7 5.0	14 10.0	14 10.0	
電気・ガス・熱供給・水道業	6 100.0	2 33.3	5 83.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	
情報通信業	6 100.0	1 16.7	3 50.0	1 16.7	-	-	-	1 16.7	2 33.3	
運輸業、郵便業	32 100.0	23 71.9	12 37.5	-	5 15.6	5 15.6	1 3.1	2 6.3	4 12.5	
卸売業、小売業	114 100.0	33 28.9	60 52.6	17 14.9	25 21.9	17 14.9	7 6.1	13 11.4	16 14.0	
金融業、保険業	2 100.0	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	
不動産業、物品賃貸業	7 100.0	5 71.4	3 42.9	-	-	2 28.6	-	-	1 14.3	
学術研究、専門・技術サービス業	12 100.0	9 75.0	6 50.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	-	1 8.3	2 16.7	
宿泊業、飲食サービス業	7 100.0	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	
生活関連サービス業、娯楽業	6 100.0	2 33.3	4 66.7	1 16.7	-	1 16.7	-	2 33.3	-	
教育、学習支援業	2 100.0	-	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	
医療、福祉	5 100.0	5 100.0	3 60.0	-	-	-	1 20.0	-	-	
複合サービス事業	3 100.0	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-	1 33.3	
その他サービス業	34 100.0	19 55.9	17 50.0	6 17.6	4 11.8	5 14.7	1 2.9	4 11.8	4 11.8	

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

⑤ 新規採用における課題

<全体>

- 新規採用において課題となっている点については、「自社が望む能力を有する人材を採用できない」が 47.0%と最も多く、これは前項にあった採用で重視する点として「特定の技能・技術を有していること」が多かったことにつながっていることがわかる。また、「新規求人しても応募がない」が 36.2%と2番目に多く、企業側としては新規採用を行っていきたいが、求人をしてなかなか人が集まらなく苦勞していることがうかがえる。



<地域別の動向>

- 全体の傾向は地域別にもあてはまるが、「新規求人しても応募がない」という点については津山市・赤磐市で比較的低いポイントとなっている。

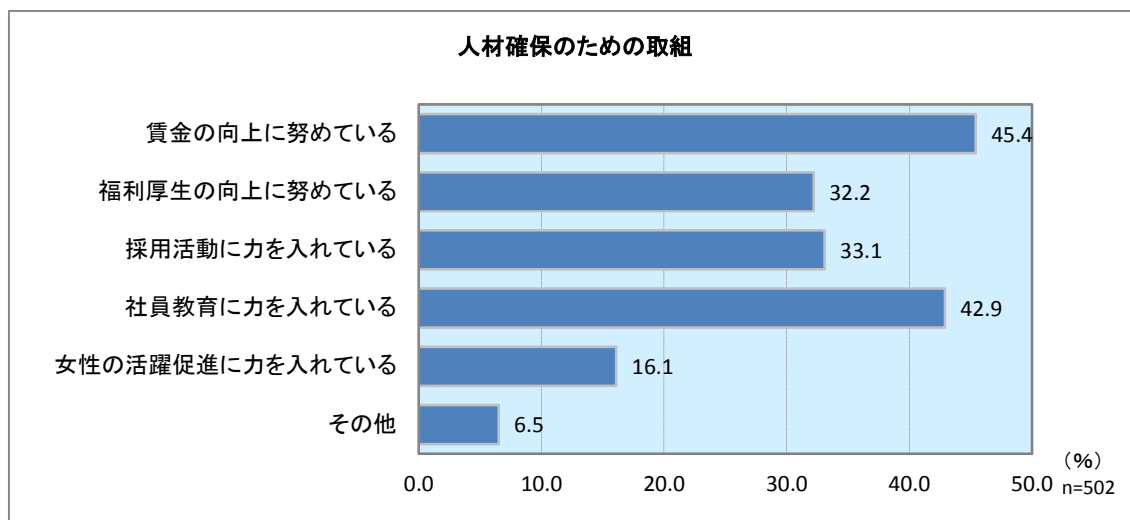
■ 50%以上 ■ 30%以 50%未満

上段:度数	下段:%	新規採用において課題となっている点						
		合計	新規求人しても応募がない	自社が望む能力を有する人材を採用できない	雇用しても定着しない	求人にかかるコスト負担が重い	特にない	その他
所在地	全体	482 100.0	175 36.3	223 46.3	96 19.9	55 11.4	86 17.8	16 3.3
	岡山市	215 100.0	72 33.5	86 40.0	40 18.6	33 15.3	46 21.4	9 4.2
	津山市	70 100.0	17 24.3	39 55.7	13 18.6	8 11.4	12 17.1	3 4.3
	玉野市	34 100.0	18 52.9	13 38.2	6 17.6	1 2.9	7 20.6	-
	総社市	25 100.0	9 36.0	11 44.0	11 44.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0
	備前市	43 100.0	19 44.2	25 58.1	8 18.6	3 7.0	5 11.6	-
	瀬戸内市	21 100.0	9 42.9	7 33.3	6 28.6	2 9.5	5 23.8	-
	赤磐市	18 100.0	5 27.8	14 77.8	4 22.2	-	2 11.1	-
	真庭市	26 100.0	9 34.6	10 38.5	3 11.5	4 15.4	6 23.1	-
	和気町	6 100.0	2 33.3	4 66.7	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7
	早島町	3 100.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	-	-	-
	久米南町	3 100.0	2 66.7	2 66.7	-	1 33.3	-	-
	美咲町	11 100.0	6 54.5	6 54.5	1 9.1	1 9.1	1 9.1	-
	吉備中央町	7 100.0	5 71.4	5 71.4	1 14.3	-	-	1 14.3

⑥ 人材確保のための取組

<全体>

- 人材を確保するために企業が行っている取組については、「賃金の向上に努めている」が45.4%と最も多く、次いで「社員教育」(42.9%)、「採用活動」(33.1%)、「福利厚生向上」(32.2%)と続いている。これら4つの取組についてはどれも大きな差はないことから、企業側はバランスよく人材確保の取組を行っていることがうかがえる。



<業種別の動向>

- ・ 全体の動向と同様に業種別にみても、傾向的なものは見出せない。人材確保の取組については差別化が難しく、違いが出にくい分野といえよう。

上段:度数 下段:%		人材確保のための取組						
		合計	賃金の向上に努めている	福利厚生の上向上に努めている	採用活動に力を入れている	社員教育に力を入れている	女性の活躍促進に力を入れている	その他
業種	全体	464 100.0	213 45.9	152 32.8	153 33.0	198 42.7	72 15.5	30 6.5
	農業、林業	4 100.0	2 50.0	2 50.0	- -	- -	1 25.0	- -
	漁業	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	鉱業、採石業、砂利採取業	2 100.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -
	建設業	91 100.0	48 52.7	39 42.9	26 28.6	43 47.3	7 7.7	5 5.5
	製造業	136 100.0	66 48.5	40 29.4	50 36.8	53 39.0	18 13.2	12 8.8
	電気・ガス・熱供給・水道業	6 100.0	4 66.7	4 66.7	- -	4 66.7	- -	- -
	情報通信業	6 100.0	- -	2 33.3	4 66.7	3 50.0	1 16.7	1 16.7
	運輸業、郵便業	31 100.0	18 58.1	12 38.7	11 35.5	11 35.5	1 3.2	1 3.2
	卸売業、小売業	111 100.0	48 43.2	33 29.7	28 25.2	48 43.2	23 20.7	10 9.0
	金融業、保険業	2 100.0	- -	- -	1 50.0	2 100.0	1 50.0	- -
	不動産業、物品賃貸業	6 100.0	2 33.3	- -	2 33.3	2 33.3	4 66.7	- -
	学術研究、専門・技術サービス業	12 100.0	3 25.0	5 41.7	5 41.7	5 41.7	3 25.0	- -
	宿泊業、飲食サービス業	7 100.0	3 42.9	2 28.6	3 42.9	3 42.9	3 42.9	1 14.3
	生活関連サービス業、娯楽業	6 100.0	- -	- -	4 66.7	2 33.3	2 33.3	- -
	教育、学習支援業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -
	医療、福祉	4 100.0	1 25.0	- -	3 75.0	3 75.0	1 25.0	- -
	複合サービス事業	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	3 100.0	1 33.3	- -
	その他サービス業	34 100.0	14 41.2	11 32.4	15 44.1	15 44.1	6 17.6	- -

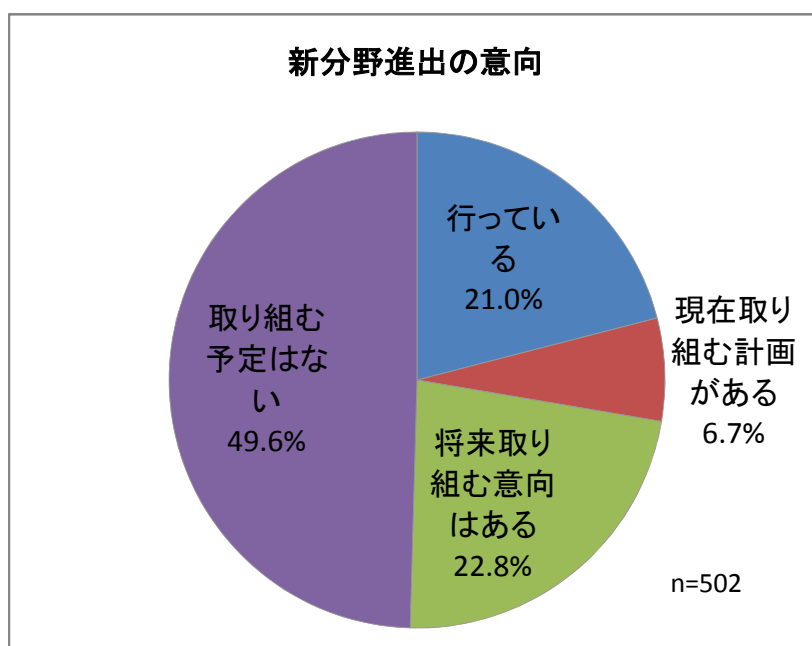
■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

問4. 新分野進出の意向

① 新分野への取組

<全体>

- ・ 新分野、新業務への取組については、「行っている」が約2割、「現在取り組む計画がある」、「将来的に取り組む意向はある」は合わせて約3割、残り5割の企業については「取り組む予定はない」という回答であった。現時点で新分野へ取り組んでいる企業は2割であり、計画がある・意向がある約3割の企業を今後実行に移す取組が求められよう。



<業種別の動向>

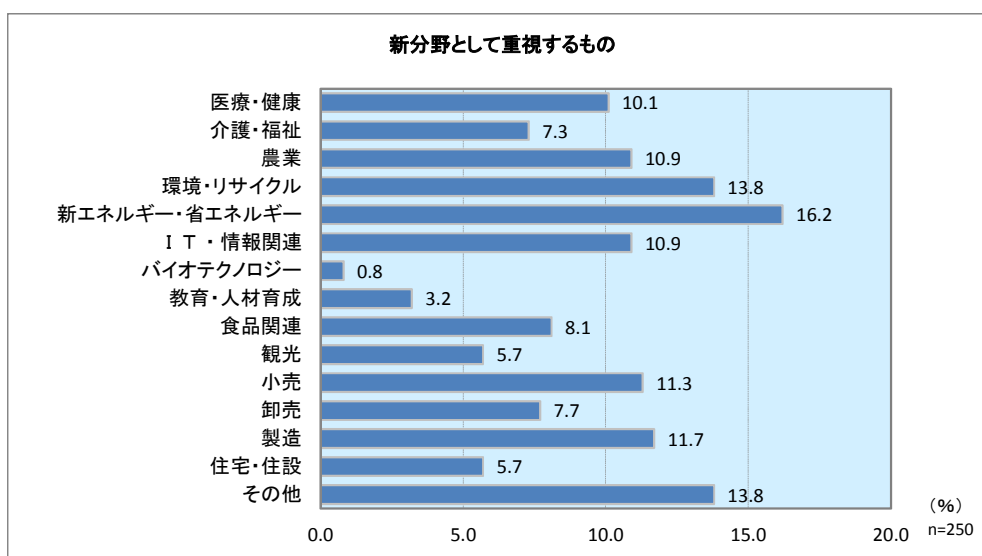
- 全体の傾向と業種別の動向に大きな違いはないが、実数でみると製造業では34社、卸売・小売業が22社、建設業では16社がすでに新分野へ進出しており、「現在取り組む計画がある」とする企業も一定数みられる。

上段:度数 下段:%		新分野進出の意向				
		合計	行っている	現在取り組む計画がある	将来取り組む意向はある	取り組む予定はない
業種	全体	482 100.0	101 21.0	32 6.6	109 22.6	240 49.8
	農業、林業	4 100.0	1 25.0	-	1 25.0	2 50.0
	漁業	1 100.0	-	-	-	1 100.0
	鉱業、採石業、砂利採取業	2 100.0	-	-	2 100.0	-
	建設業	97 100.0	16 16.5	7 7.2	18 18.6	56 57.7
	製造業	139 100.0	34 24.5	7 5.0	33 23.7	65 46.8
	電気・ガス・熱供給・水道業	6 100.0	-	-	4 66.7	2 33.3
	情報通信業	6 100.0	2 33.3	2 33.3	-	2 33.3
	運輸業、郵便業	32 100.0	1 3.1	1 3.1	9 28.1	21 65.6
	卸売業、小売業	116 100.0	22 19.0	9 7.8	27 23.3	58 50.0
	金融業、保険業	2 100.0	-	-	-	2 100.0
	不動産業、物品賃貸業	8 100.0	1 12.5	-	-	7 87.5
	学術研究、専門・技術サービス業	12 100.0	3 25.0	2 16.7	2 16.7	5 41.7
	宿泊業、飲食サービス業	7 100.0	2 28.6	-	3 42.9	2 28.6
	生活関連サービス業、娯楽業	6 100.0	-	-	1 16.7	5 83.3
	教育、学習支援業	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0
	医療、福祉	5 100.0	2 40.0	-	2 40.0	1 20.0
	複合サービス事業	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-
	その他サービス業	34 100.0	15 44.1	4 11.8	5 14.7	10 29.4

■ 50%以上 ■ 30%以上 50%未満

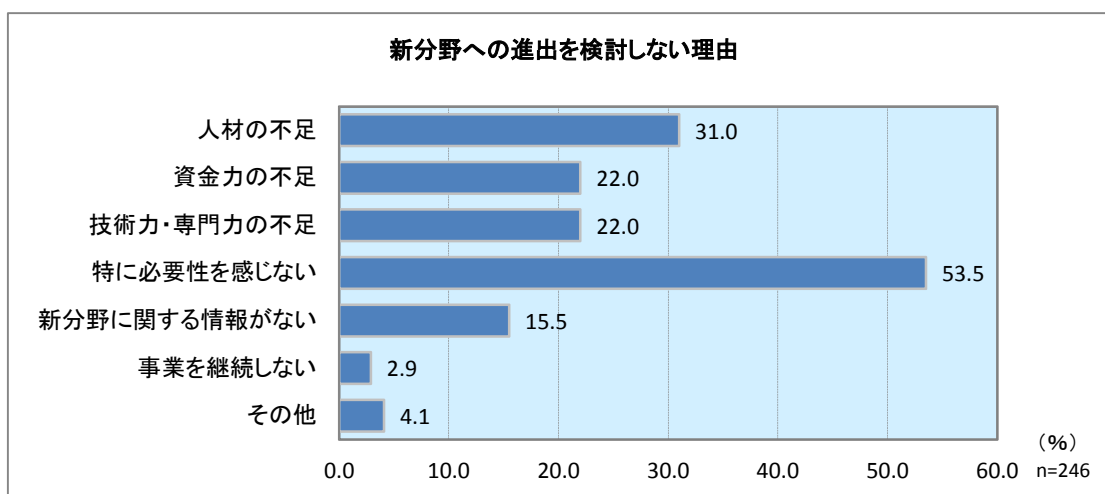
② 重視している分野

- ・ 前項の新分野への取組について具体的に重視している分野については、「新エネルギー・省エネルギー」が16.2%と最も高く、次いで「環境・リサイクル」が13.8%と続いている。こうした環境・エネルギー分野への進出には個々の企業の枠を超え、産業間連携や産業界と地域社会との連携による複合的、総合的な対策の実施が求められるよう。
- ・ また、「その他」のなかには、物流やリース、出版、不動産といった幅広い分野についての意見がみられた。



③ 検討しない理由

- ・ 新分野への進出を検討しない理由として、「特に必要性を感じない」が53.5%と最も多
が、新分野への進出を制約する要因としては「人材の不足」(31.0%)、「資金力の不足」
「技術力・専門力の不足」(ともに22.0%)となっている。



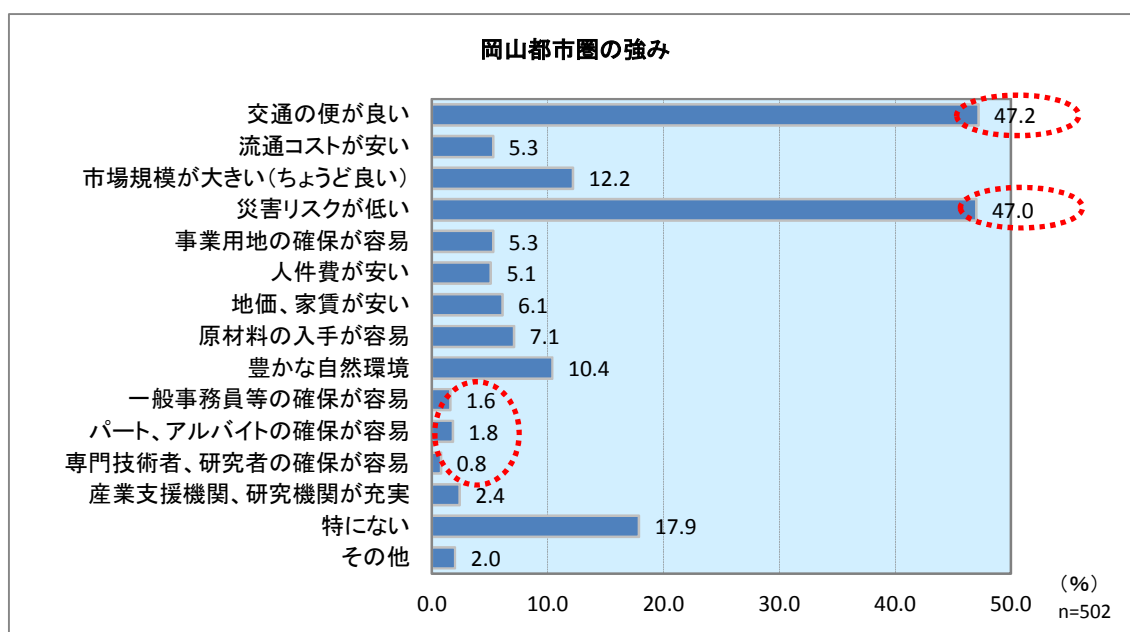
(2) 産業振興について

問5. 産業振興策について

① 岡山都市圏の強み

<全体>

- ・ 企業活動を行うにあたり、岡山都市圏の強みとして約5割の企業が「交通の便が良い」あるいは「災害リスクが低い」を強みと考えており、他の項目と比べて圧倒的に多い結果となった。高速道路や鉄道など交通インフラの整備により、関西エリア、九州エリアへのアクセスが容易になったことや、台風や地震などの自然災害が少なく安定した事業継続が可能であることなどが考えられる。
- ・ 一方で、「一般事務員等の確保が容易」や「パート、アルバイトの確保が容易」、「専門技術者、研究者の確保が容易」といった人的面については低い結果となった。



<地域別の動向>

- 市町別でみた場合、岡山都市圏の強みとして「交通の便が良い」と回答した企業が多かったのが和気町（83.3%）、総社市（68.0%）、早島町（66.7%）、赤磐市（62.5%）と続いた。また、「災害リスクが低い」と回答した企業では、赤磐市（68.8%）、早島町（66.7%）、真庭市（64.0%）、美咲町（63.6%）と続いている。

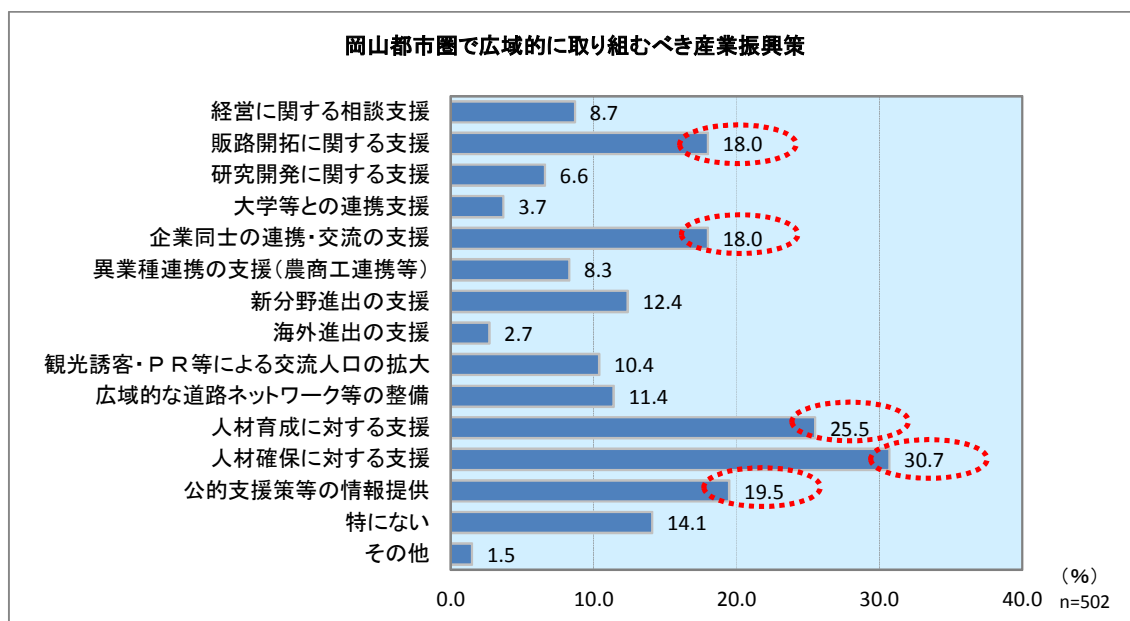
上段:度数		岡山都市圏の強み															
		合計	交通の便が良い	流通コストが安い	市場規模が大きい(ちょうど良い)	災害リスクが低い	事業用地の確保が容易	人件費が安い	地価、家賃が安い	原材料の入手が容易	豊かな自然環境	一般事務員等の確保が容易	パート、アルバイトの確保が容易	専門技術者、研究者の確保が容易	産業支援機関、研究機関が充実	特になし	その他
所在地	全体	483 100.0	230 47.6	26 5.4	59 12.2	225 46.6	25 5.2	25 5.2	27 5.6	35 7.2	51 10.6	8 1.7	9 1.9	4 0.8	12 2.5	86 17.8	10 2.1
	岡山市	214 100.0	121 56.5	12 5.6	31 14.5	105 49.1	9 4.2	6 2.8	7 3.3	9 4.2	14 6.5	2 0.9	4 1.9	2 0.9	4 1.9	34 15.9	6 2.8
	津山市	73 100.0	19 26.0	6 8.2	5 6.8	25 34.2	5 6.8	5 6.8	5 6.8	6 8.2	9 12.3	1 1.4	2 2.7	-	2 2.7	20 27.4	2 2.7
	玉野市	34 100.0	12 35.3	1 2.9	4 11.8	12 35.3	2 5.9	1 2.9	2 5.9	3 8.8	5 14.7	5 14.7	1 2.9	2 5.9	-	9 26.5	2 5.9
	総社市	25 100.0	17 68.0	-	5 20.0	13 52.0	-	1 4.0	1 4.0	1 4.0	2 8.0	-	1 4.0	-	2 8.0	3 12.0	-
	備前市	44 100.0	19 43.2	2 4.5	3 6.8	17 38.6	-	2 4.5	4 9.1	11 25.0	5 11.4	-	-	-	1 2.3	8 18.2	-
	瀬戸内市	21 100.0	9 42.9	3 14.3	5 23.8	11 52.4	1 4.8	2 9.5	1 4.8	2 9.5	4 19.0	-	-	-	-	1 4.8	-
	赤磐市	16 100.0	10 62.5	1 6.3	1 6.3	11 68.8	2 12.5	2 12.5	1 6.3	1 6.3	1 6.3	-	-	-	2 12.5	1 6.3	-
	真庭市	25 100.0	12 48.0	1 4.0	4 16.0	16 64.0	3 12.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	5 20.0	-	-	-	-	2 8.0	-
	和気町	6 100.0	5 83.3	-	-	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	-	-	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-
	早島町	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-
	久米南町	3 100.0	-	-	-	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-
	美咲町	11 100.0	1 9.1	-	-	7 63.6	2 18.2	-	2 18.2	-	2 18.2	-	-	-	-	2 18.2	-
	吉備中央町	8 100.0	3 37.5	-	-	4 50.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	-	4 50.0	-	-	-	-	3 37.5	-

■ 10%以上

② 取り組むべき産業振興策

<全体>

- ・ 企業活動を行うにあたり、岡山都市圏で広域的に取り組むべき産業振興策として期待するものは、「人材確保に対する支援」(30.7%)、「人材育成に対する支援」(25.5%)と人材に関する項目が上位を占めており、戦略上の課題と同様に人材確保・育成への期待が大きいことがわかる。また、公的支援策等の情報提供も求められている。



<業種別の動向>

- ・ 業種別にみても人材関連の支援のニーズが高いことがわかる。
- ・ また圏域内に立地する割合の高い建設業、製造業、卸売・小売業は各項目に一定のポイントがみられ、比較的広範な分野にわたって支援を求めていることがうかがえる。特に「企業同士の連携・交流の支援」「新分野進出の支援」「研究開発に関する支援」「公的支援策等の情報提供」といった選択が多い。

上段:度数		岡山市圏域で広域的に取り組むべき産業振興策															
下段:%		合計	経営に関する相談支援	販路開拓に関する支援	研究開発に関する支援	大学等との連携支援	企業同士の連携・交流の支援	業種連携の支援(農工商連携等)	新分野進出の支援	海外進出の支援	観光誘客・PR等による交流人口の拡大	広域的な道路ネットワーク等の整備	人材育成に対する支援	人材確保に対する支援	公的支援策等の情報提供	特になし	その他
全体	469 100.0	39 8.3	65 18.1	32 6.8	18 3.8	85 18.1	40 8.5	58 12.4	13 2.8	48 10.2	52 11.1	120 25.6	143 30.5	91 19.4	67 14.3	7 1.5	
農業、林業	4 100.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 50.0	2 50.0	-	-	
漁業	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	
鉱業、採石業、砂利採取業	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	
建設業	96 100.0	7 7.3	9 9.4	4 4.2	3 3.1	19 19.8	11 11.5	13 13.5	2 2.1	6 6.3	19 19.8	29 30.2	30 31.3	17 17.7	13 13.5	1 1.0	
製造業	136 100.0	13 9.6	31 22.8	22 16.2	10 7.4	26 19.1	13 9.6	20 14.7	7 5.1	13 9.6	11 8.1	32 23.5	38 27.9	38 27.9	9 6.6	2 1.5	
電気・ガス・熱供給・水道業	6 100.0	1 16.7	-	-	-	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	-	3 50.0	3 50.0	-	-	
情報通信業	6 100.0	-	2 33.3	-	1 16.7	-	-	-	-	-	-	2 33.3	3 50.0	-	-	-	
運輸業、郵便業	31 100.0	2 6.5	4 12.9	-	1 3.2	3 9.7	2 6.5	-	-	6 19.4	6 19.4	6 19.4	13 41.9	8 25.8	6 19.4	1 3.2	
卸売業、小売業	112 100.0	10 8.9	29 25.9	3 2.7	1 0.9	21 18.8	7 6.3	15 13.4	2 1.8	13 11.6	6 5.4	26 23.2	32 28.6	13 11.6	23 20.5	2 1.8	
金融業、保険業	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	
不動産業、物品賃貸業	6 100.0	-	1 16.7	-	-	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-	1 16.7	2 33.3	-	3 50.0	1 16.7	-	-	
学術研究、専門・技術サービス業	12 100.0	-	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	-	2 16.7	-	-	2 16.7	2 16.7	5 41.7	3 25.0	3 25.0	-	
宿泊業、飲食サービス業	6 100.0	-	3 50.0	-	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-	-	3 50.0	-	1 16.7	1 16.7	-	-	-	
生活関連サービス業、娯楽業	6 100.0	-	1 16.7	-	-	1 16.7	1 16.7	-	-	1 16.7	-	2 33.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3	-	
教育、学習支援業	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	
医療、福祉	5 100.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	1 20.0	-	-	3 60.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	
複合サービス事業	3 100.0	-	1 33.3	-	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	
その他サービス業	33 100.0	3 9.1	3 9.1	1 3.0	1 3.0	8 24.2	2 6.1	4 12.1	1 3.0	2 6.1	6 18.2	9 27.3	9 27.3	4 12.1	7 21.2		

■ 30%以上

<地域別の動向>

- 市町別でみた場合、「人材確保に対する支援」を取り組むべき産業振興策として挙げている企業が多かったのは、早島町（66.7%）、総社市（54.2%）、和気町（50.0%）、吉備中央町（50.0%）と続いている。同様に「人材育成に対する支援」については、瀬戸内市で35.0%、次いで和気町・早島町・久米南町（33.3%）となっている。

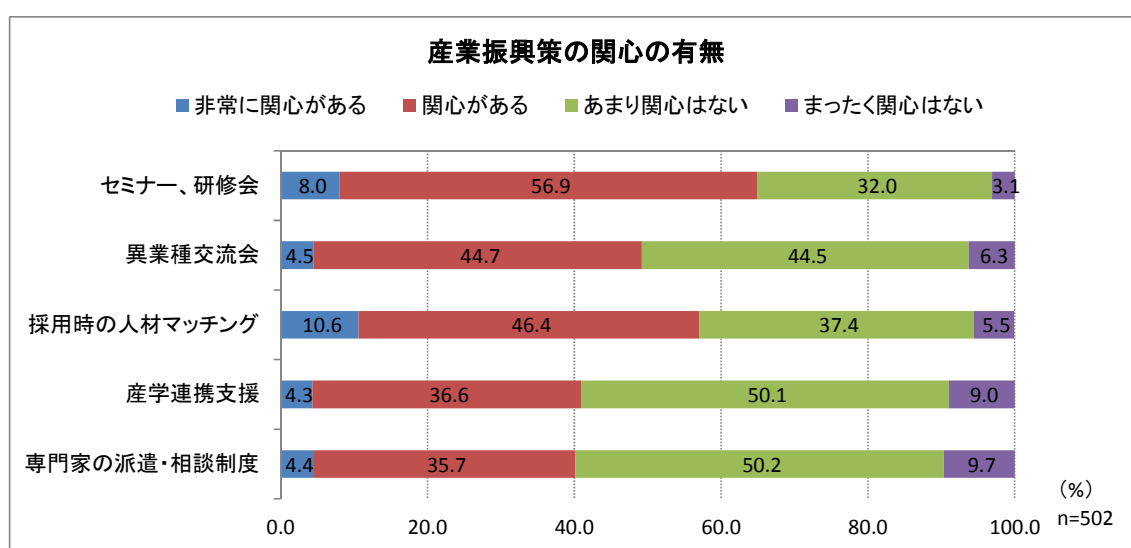
上段:度数		岡山都市圏で広域的に取り組むべき産業振興策														
下段:%	合計	経営に関する相談支援	販路開拓に関する支援	研究開発に関する支援	大学等との連携支援	企業同士の連携・交流の支援	異業種連携の支援(農商工連携等)	新分野進出の支援	海外進出の支援	観光誘客・PR等による交流人口の拡大	広域的な道路ネットワーク等の整備	人材育成に対する支援	人材確保に対する支援	公的支援策等の情報提供	特になし	その他
		全体	473 100.0	41 8.7	85 18.0	32 6.8	18 3.8	86 18.2	39 8.2	59 12.5	13 2.7	49 10.4	52 11.0	121 25.6	144 30.4	92 19.5
岡山市	212 100.0	15 7.1	38 17.9	12 5.7	7 3.3	33 15.6	15 7.1	29 13.7	5 2.4	21 9.9	22 10.4	58 27.4	57 26.9	36 17.0	35 16.5	4 1.9
津山市	71 100.0	6 8.5	12 16.9	7 9.9	2 2.8	13 18.3	5 7.0	12 16.9	1 1.4	6 8.5	7 9.9	19 26.8	21 29.6	13 18.3	10 14.1	2 2.8
玉野市	31 100.0	3 9.7	3 9.7	1 3.2	2 6.5	7 22.6	1 3.2	1 3.2	1 3.2	3 9.7	5 16.1	7 22.6	10 32.3	5 16.1	8 25.8	-
総社市	24 100.0	3 12.5	4 16.7	2 8.3	2 8.3	5 20.8	3 12.5	3 12.5	1 4.2	3 12.5	2 8.3	7 29.2	13 54.2	5 20.8	2 8.3	-
備前市	42 100.0	5 11.9	10 23.8	4 9.5	2 4.8	11 26.2	6 14.3	4 9.5	-	4 9.5	6 14.3	5 11.9	7 16.7	9 21.4	5 11.9	-
瀬戸内市	20 100.0	3 15.0	7 35.0	-	-	2 10.0	2 10.0	4 20.0	2 10.0	3 15.0	1 5.0	7 35.0	6 30.0	4 20.0	2 10.0	-
赤磐市	17 100.0	1 5.9	4 23.5	2 11.8	1 5.9	3 17.6	2 11.8	2 11.8	2 11.8	-	2 11.8	5 29.4	6 35.3	6 35.3	1 5.9	-
真庭市	25 100.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0	-	6 24.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	5 20.0	3 12.0	4 16.0	10 40.0	5 20.0	2 8.0	1 4.0
和気町	6 100.0	-	2 33.3	1 16.7	-	2 33.3	-	1 16.7	-	-	-	2 33.3	3 50.0	2 33.3	-	-
早島町	3 100.0	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-	1 33.3	2 66.7	-	1 33.3	-
久米南町	3 100.0	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-	-	-	1 33.3	1 66.7	2 66.7	-	-
美咲町	11 100.0	1 9.1	-	1 9.1	-	2 18.2	2 18.2	1 9.1	-	-	3 27.3	3 27.3	4 36.4	2 18.2	1 9.1	-
吉備中央町	8 100.0	1 12.5	3 37.5	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	-	3 37.5	1 12.5	2 25.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	-

■ 30%以上

③ 産業振興策の関心の有無について

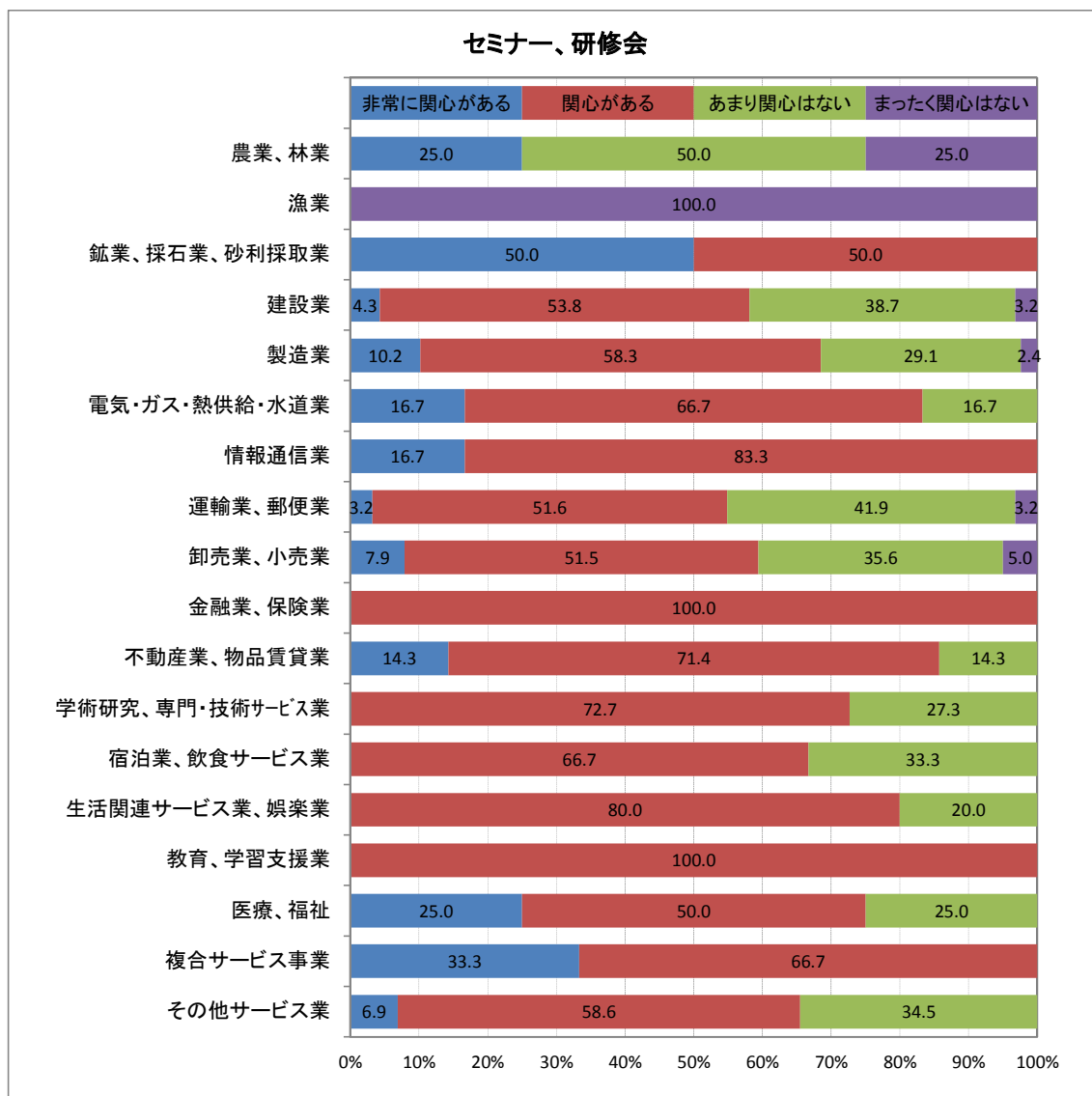
<全体>

- 5つの産業振興策について、「非常に関心がある」と「関心がある」をあわせた関心が最も高いものは「セミナー、研修会」であった。次いで「採用時の人材マッチング」、「異業種交流会」と続いている。ここにおいても人材に関するものが企業の関心度が高いことがわかる。一方で産学連携支援や専門家の派遣・相談制度に関しては、関心があると関心がないが拮抗しており、「セミナー、研修会」や「採用時の人材マッチング」と比べると企業の関心度は低いことがわかる。

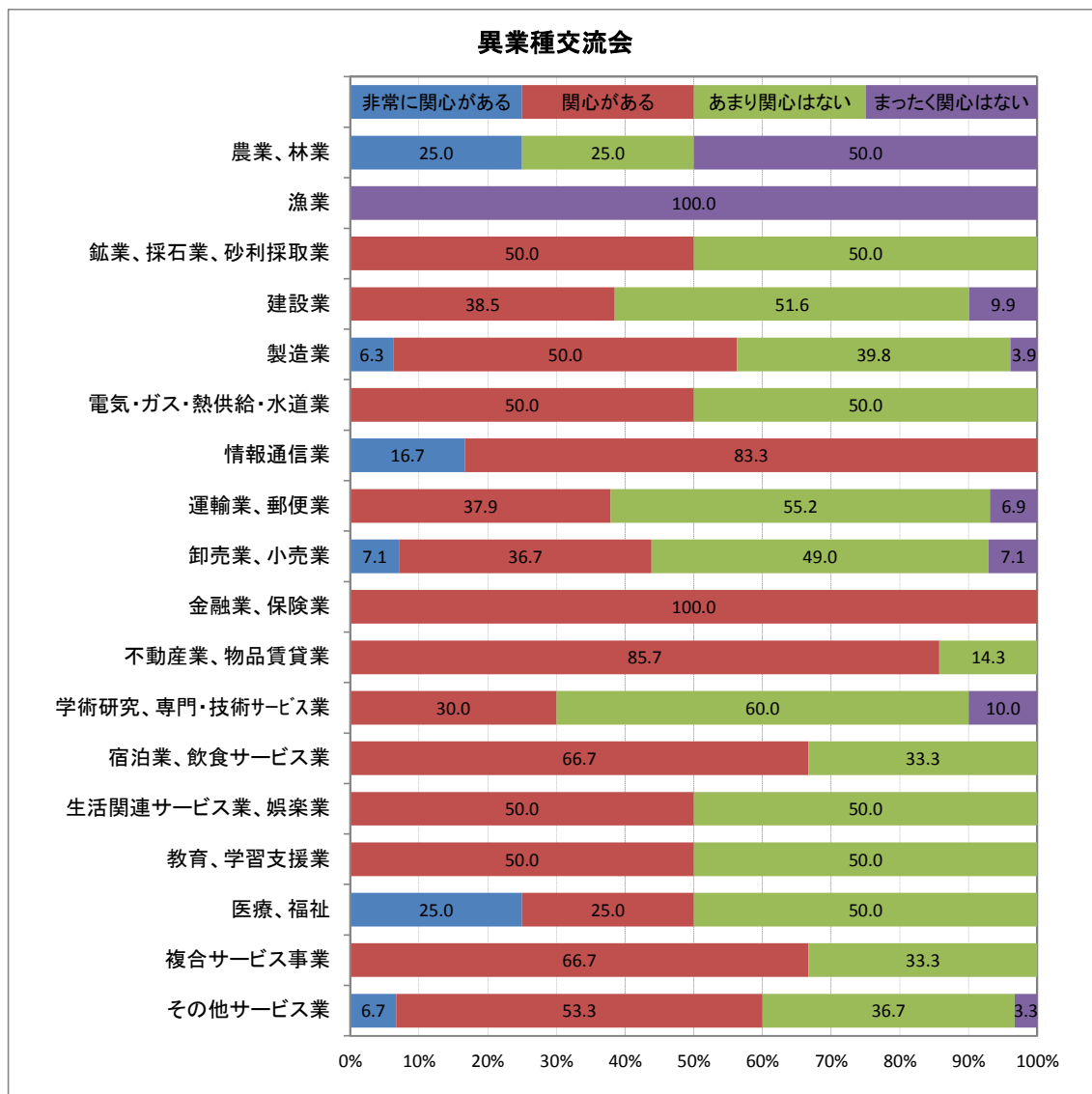


<参考：業種別の動向>

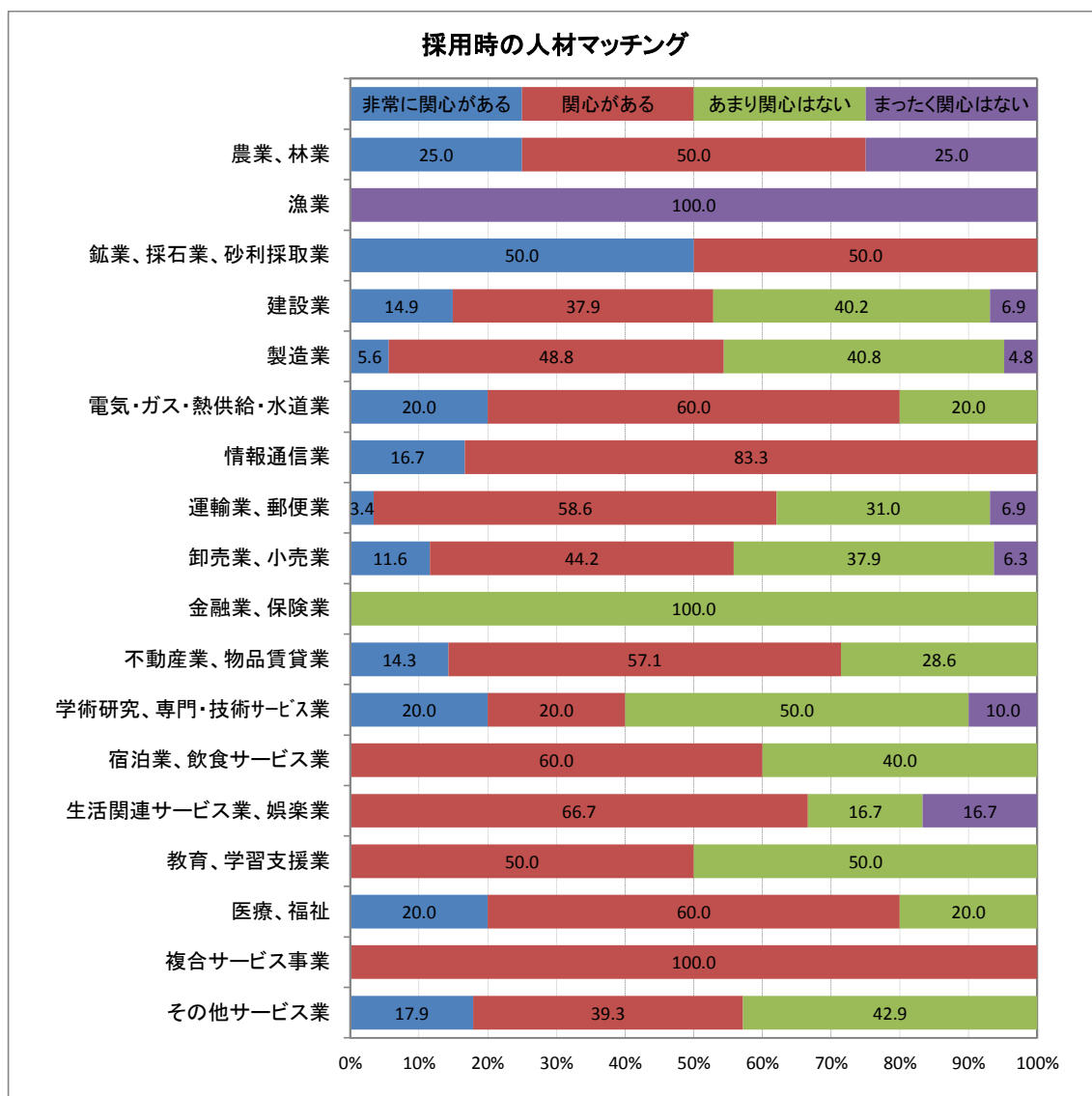
■ セミナー・研修会



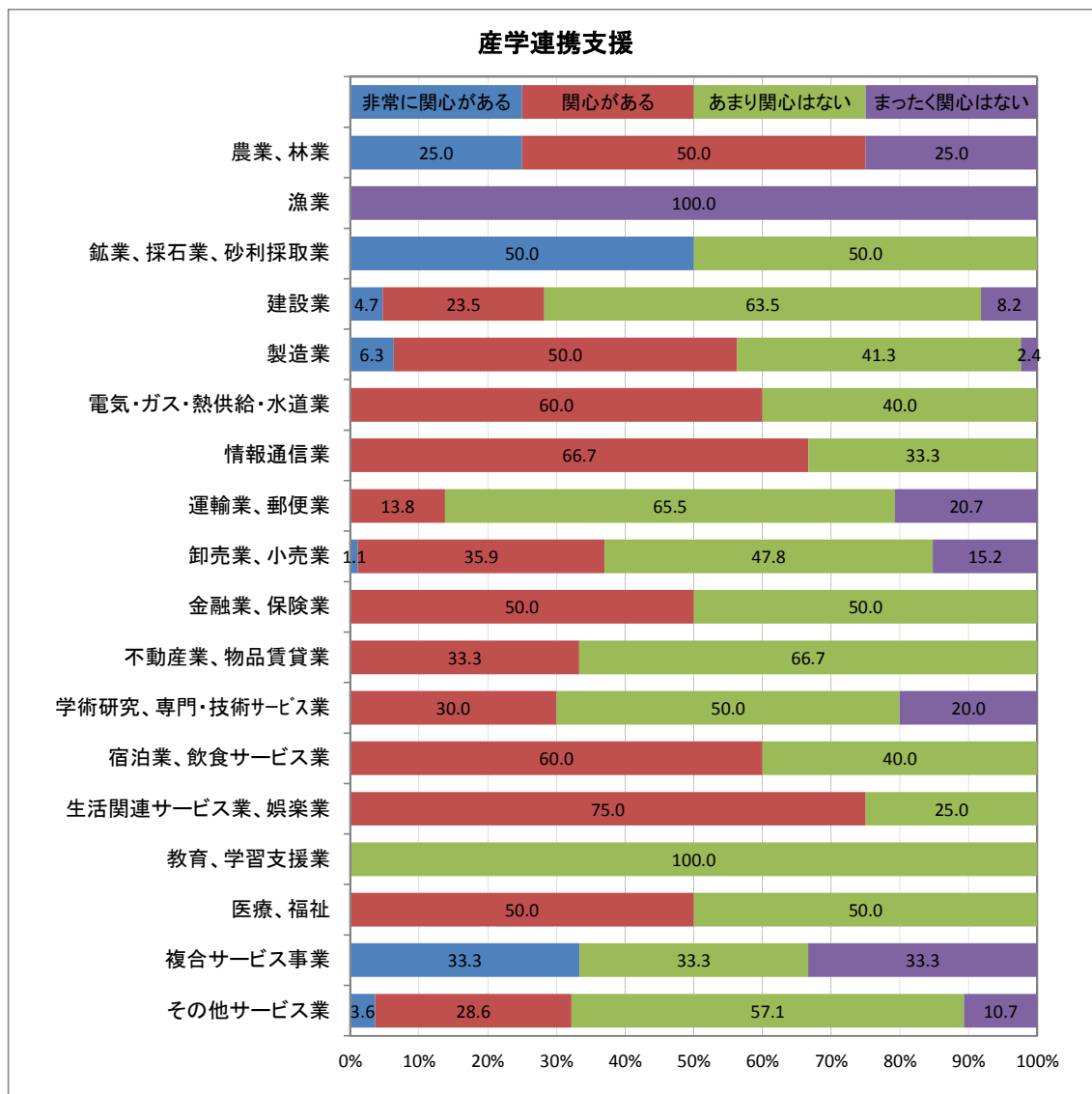
■ 異業種交流会



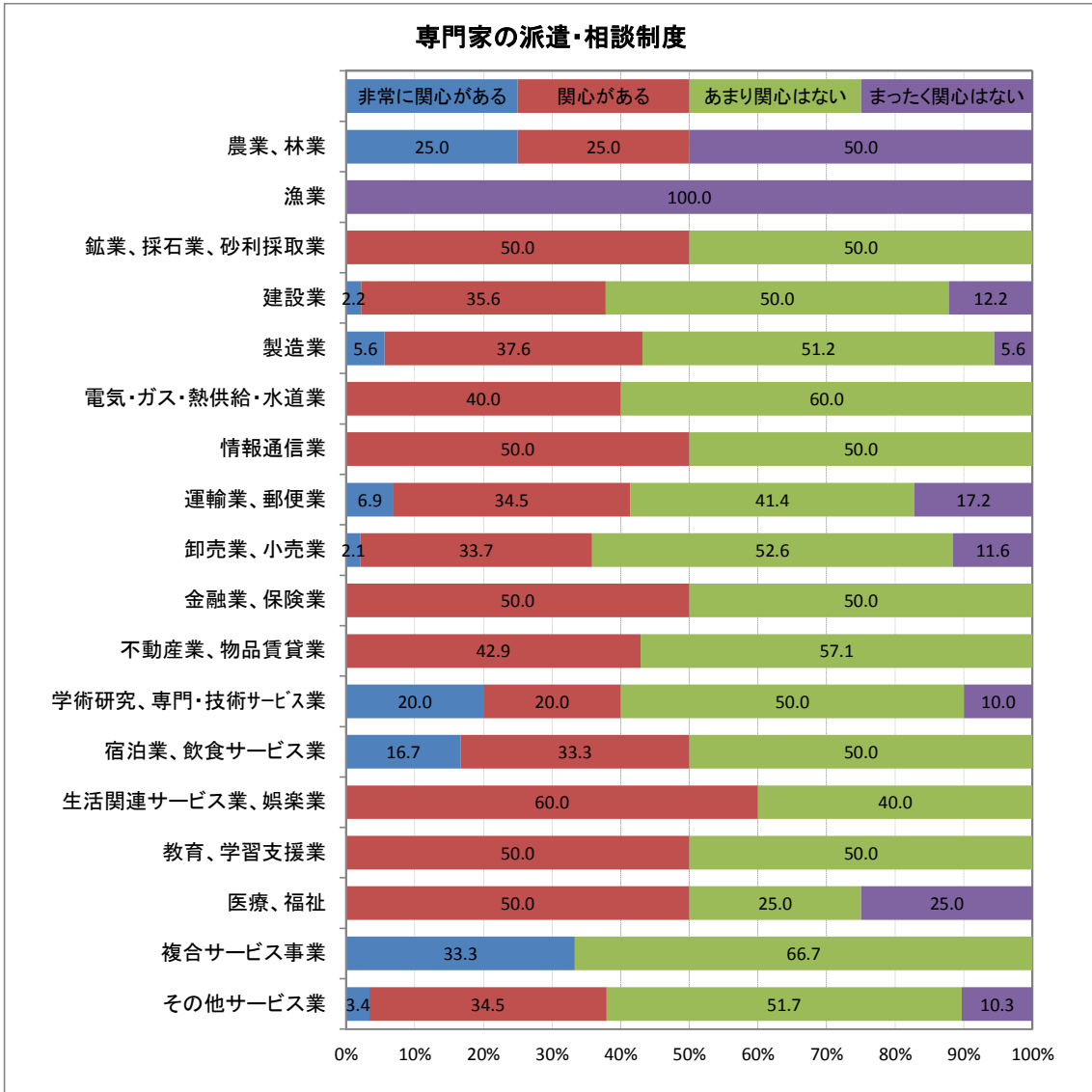
■ 採用時の人材マッチング



■ 産学連携支援



■ 専門家の派遣・相談制度



III. 資料編

- 資料1：岡山都市圏住民アンケート調査 調査票
- 資料2：岡山都市圏企業アンケート調査 調査票

岡山都市圏住民アンケート調査にご協力ください

*岡山都市圏とは、岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町の8市5町からなる生活圏域を指します。

岡山都市圏を構成する8市5町においては、各市町が互いに協力し、強みをいかしながら、圏域の生活機能の確保や充実、さらには魅力あふれる地域づくりに取り組んでいきたいと考えております。

この調査は、圏域にお住まいの皆様方に、日ごろ暮らしの中で感じている公共施設や地域医療、公共交通に関するご意見やその利用状況等についてお伺いし、今後のまちづくりにいかしていくために実施するものであり、平成27年9月1日現在の住民基本台帳から無作為に選ばせていただいた20歳から79歳までの6,000人の方にご協力をお願いしております。

住民の皆様方には、ご多用のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

岡山都市圏連携協議会 会長 大森 雅夫
(岡山市長)

ご回答にあたってのお願い

- この調査は、個人を対象にしています。お送りした封筒に書かれているあて名の方ご本人がご記入ください。
- この調査は無記名にてお願いいたします。また、この調査に記入された内容は統計的に処理しますので、ご迷惑をおかけすることは決してありません。ご意見をありのままにお答えください。
- 特にことわり書きがない限り、すべての質問にお答えください。
- 回答は問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○をつけてお答えください。なお、質問によっては、1つだけ選んでいただく場合と、複数選んでいただく場合もありますので、各質問に従ってお答えください。
- 質問の回答で、「その他」を選んでいた場合は、() 内にその内容を具体的に記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月10日(火)までにご投函くださいますようお願いいたします。(お名前を書いていただく必要はありません。)

なお、本調査のお問い合わせにつきましては、下記までご連絡をお願いいたします。

【アンケート調査受託会社（岡山市発注）】

株式会社 日本経済研究所 地域本部 地域振興部

担当者：倉本（くらもと）、小手川（こてがわ）

TEL：03-6214-4675 FAX：03-6214-4602

岡山都市圏住民アンケート調査 調査票

はじめに、あなたご自身のことについてお尋ねします

F 1. あなたの性別を教えてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

F 2. あなたの年齢を教えてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 |
| 4. 50～59 歳 | 5. 60～69 歳 | 6. 70 歳以上 |

F 3. あなたのお住まいと中学校区を教えてください。

※ お住まいの中学校区名 : () 中学校区

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 岡山市北区 | 2. 岡山市中区 | 3. 岡山市東区 | 4. 岡山市南区 |
| 5. 津山市 | 6. 玉野市 | 7. 総社市 | 8. 備前市 |
| 9. 瀬戸内市 | 10. 赤磐市 | 11. 真庭市 | 12. 和気町 |
| 13. 早島町 | 14. 久米南町 | 15. 美咲町 | 16. 吉備中央町 |

F 4. あなたの家族構成を教えてください。

- | | | |
|----------------------|---------|------------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 親と子供など 2 世代同居 |
| 4. 親と子供と孫など 3 世代以上同居 | 5. その他 | |

F 5. あなたの現在のご職業は何ですか。

(「会社・公務員・団体職員」は、契約社員・派遣社員も含まれます)

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社・公務員・団体職員 | 3. 会社・団体役員 |
| 4. パート・アルバイト | 5. 主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他 () | |

F 6. あなたは運転免許をお持ちですか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

I 今後の市町連携についてお尋ねします

問1 今後、人口減少が進んでいく中で、1つの市町だけでは産業の振興や暮らしに必要な公共サービスの提供が困難になることも考えられます。このため、市町が連携して事務・事業を行うことも必要となってくることが予想されます。そこで、あなたがお住まいの市町と、近隣の市町との連携について、特にどの分野において必要と感じますか。次の中から3つ以内でお選びください。

1. 公共施設	2. 保育	3. 医療
4. 農林水産振興	5. 商工振興	6. 観光振興
7. 交通	8. 環境	9. 教育（学校教育・生涯学習）
10. その他（		）

II つぎに、あなたの日常の生活状況についてお尋ねします

今後、岡山都市圏の市町が連携を深めていくにあたって、圏域内にお住いの皆様の日常の生活状況についてお尋ねします。以下の質問に順にお答えください。

問2 あなたの通勤・通学の状況について教えてください。

通勤・通学の状況 (1つ選択)	1. 通勤・通学している			
	2. 通勤・通学していない(問3へお進みください)			
通勤・通学先 (1つ選択)	1. 岡山市北区	2. 岡山市中区	3. 岡山市東区	4. 岡山市南区
	5. 津山市	6. 玉野市	7. 総社市	8. 備前市
	9. 瀬戸内市	10. 赤磐市	11. 真庭市	12. 和気町
	13. 早島町	14. 久米南町	15. 美咲町	16. 吉備中央町
	17. その他（			
	）			
交通手段 (当てはまるものすべて)	1. 自家用車・バイク		2. 家族や友人の車に同乗	
	3. 路線バス		4. 地域生活交通(*1)	
	5. 鉄道		6. 従来のタクシー	
	7. 自転車		8. 徒歩	
	9. その他（			
	）			

*1 「地域生活交通」とは、地域住民の交通の利便性向上を目的として、地方公共団体が何らかの形で運行に関与している交通機関で、デマンド型（利用者の要望に応じて柔軟な運行を行う交通形態）や路線型のバスやタクシー等のことです。

(2) 以下の公共施設のそれぞれについて、どこの施設を利用しているか、教えてください。
 普段使わない方は、もし利用するとすれば、どこの施設を利用したいかお答えください。
 (利用する場所もしくは利用したい場所の上位2カ所に○を記入してください)

施設	市 区 町 名																	
	岡山市北区	岡山市中区	岡山市東区	岡山市南区	津山市	玉野市	総社市	備前市	玉野市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	和気町	早島町	久米南町	美咲町	吉備中央町	その他
記入例					○										○			
図書館																		
スポーツ施設																		
文化ホール																		
コンベンション施設																		
公民館																		

(3) 以下の公共施設について、使っている施設・使いたい施設の具体的な施設名を教えてください。
(使っている施設・使いたい施設それぞれ1つ)

施設	施設名
図書館	使っている施設
	使いたい施設
スポーツ施設	使っている施設
	使いたい施設
文化ホール	使っている施設
	使いたい施設
コンベンション施設	使っている施設
	使いたい施設
公民館	使っている施設
	使いたい施設

Ⅲ 公共施設・地域の医療・公共交通について、あなたのご意見を教えてください。

問6 公共施設についてお聞きします。

今後、人口減少や少子高齢化による税収の減少や社会保障費の増加により、今まで通りの公共施設運営は難しくなることが予想されます。今後の公共施設のあり方を検討するため、ご意見をお聞かせください。

(1) 今後も公共施設を維持するには、どのようにすべきだと思いますか。(3つ以内でお選びください)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 施設利用の有償化や値上げなどによる収入増 | 2. 近隣市町と施設を共同で利用 |
| 3. 施設数を減らす(統廃合) | 4. 施設で行うサービスを抑え、経費削減 |
| 5. 施設管理の民間委託や、譲渡による経費削減 | 6. 既存の施設の改修など、施設の長寿命化 |
| 7. その他() | |

(2) 今後、公共施設を共同で利用する場合、どのような施設が望ましいと思いますか。
(当てはまるものについて全てお選びください)

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 図書館 | 2. スポーツ施設 |
| 3. 文化ホール | 4. コンベンション施設 |
| 5. 公民館 | 6. ごみ処理施設 |
| 7. 火葬場 | 8. その他() |

問7 地域の医療についてお聞きします。

医療機関の閉鎖や医師不足などにより、地域医療体制の維持が困難な地域もあります。今後の医療機関のあり方を検討するため、あなたのご意見をお聞かせください。

(1) お住まいの市町の救急医療体制に対してどのような不安を感じていますか。
(2つ以内でお選びください)

- | | | |
|---------------|------------|------------|
| 1. 夜間・休日の救急体制 | 2. 小児救急 | 3. 救急病院が遠い |
| 4. 病院までの交通手段 | 5. 特に不安はない | |
| 6. その他() | | |

(2) 今後、圏域で、充実すべきと考える医療体制は何ですか。(2つ以内でお選びください)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 事故・急病に対応する体制 | 2. 災害に対応する体制 |
| 3. 子ども専門の診療体制 | 4. 出産・新生児の診療体制 |
| 5. 最期まで住み慣れた地域で療養できる体制 | 6. すでに充実している |
| 7. その他() | |

問8 公共交通についてお聞きします。

(1) あなたが近隣の市町村へ移動するときの交通手段を教えてください。

(当てはまるもの全てお選びください)

1. 自家用車・バイク	2. 家族や友人の自動車に同乗	3. 路線バス
4. 地域生活交通(*1)	5. 鉄道	6. 従来タクシー
7. 自転車	8. その他 ()	

(2) 路線バスの満足度を教えてください。

1. 満足している	2. 今は満足しているが、将来に不安がある	3. 満足していない
-----------	-----------------------	------------

↓

① へ

↓

② へ

↓

③ へ

① 満足している理由を教えてください。(当てはまるもの全てお選びください) → 問9へ

1. バス停が近くにある	2. バス停の近くに駐車場がある
3. 運行本数が多い	4. 運賃が安い
5. 乗り継ぎが良い	6. 運行経路が良い(目的地に行ける)
7. その他 ()	

② 今は満足しているが、将来に不安がある理由を教えてください。 → 問9へ

(当てはまるもの全てお選びください)

1. 運行本数の減少	2. 運賃の値上げ
3. 自動車を運転しなくなった場合などの駅・バス停までの交通手段	
4. 運行経路の変更・減少	
5. その他 ()	

③ 満足していない理由を教えてください。(当てはまるもの全てお選びください) → 問9へ

1. 駅・バス停が遠い	2. 乗り継ぎの時刻が合わない
3. いくつも乗り継ぎが必要	4. 駅・バス停の近くに駐車場がない
5. 目的地まで時間がかかる	6. 運賃が高い
7. その他 ()	

問9 最寄りの路線バスについて、今後希望するものを2つ以内でお選びください。

1. 運行時刻の見直し	2. 乗り継ぎの改善
3. 運行経路の見直し	4. 現状の維持
5. その他(具体的にご記入ください:)	

問10 公共交通のうち、地域生活交通についてお聞きします。

地方公共団体が何らかの形で運行に関与している地域生活交通*について、今後の利便性の向上に向けた地域交通のあり方を検討するため、ご意見をお聞かせください。

*「地域生活交通」とは、地域住民の交通の利便性向上を目的として、地方公共団体が何らかの形で運行に関与している交通機関で、路線型やデマンド型のバスやタクシー等のことです。

(1) あなたは地域生活交通をどの程度利用していますか。

- | | | |
|----------------|-------------|---------------|
| 1. 地域に導入されていない | 2. 1週間に4日以上 | 3. 1週間に1～3回程度 |
| 4. 1か月に1～3回程度 | 5. 1年に数回 | 6. 利用しない |

(2) (1)で2～4を選んだ方にお聞きします。

① 地域生活交通を利用する理由を選んでください。(当てはまるもの全てお選びください)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 自宅・目的地の近くにバス停があり便利 | 2. 目的地まで早く着く |
| 3. 運賃が安い | 4. 自動車がない、免許がない |
| 5. 自動車で送ってくれる人がいない | 6. 徒歩や自転車で行くには遠い |
| 7. その他(具体的に記入してください:) | |

② 地域生活交通の不便な点がありますか。(当てはまるもの全てお選びください)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 自宅・目的地の近くにバス停がない | 2. 運行本数が少ない |
| 3. 乗り継ぎの接続が悪い | 4. 目的地まで時間がかかる |
| 5. 市内(町内)しか運行していない | 6. 特にない |
| 7. その他() | |

(3) 皆さんにお尋ねします。地域生活交通について、希望するものを3つ以内でお選びください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 運行日・運行時刻の見直し | 2. バス停の増設 |
| 3. 運行経路の見直し | 4. 乗り継ぎの改善 |
| 5. 市外(町外)への運行経路の延伸 (市町名 :) | |
| 6. 現状の維持 | 7. 近くに駅や路線バスのバス停があり必要ではない |
| 8. 特にない | |
| 9. その他() | |

ご協力ありがとうございました。

調査票は、返信用の封筒に入れて11月10日(火)までにポストに入れてください。
何卒よろしく願いいたします。

岡山都市圏企業アンケート調査にご協力ください

岡山都市圏内立地企業の皆様

皆様方には、平素から、自治体行政に対するご理解とご協力、並びに地域経済の発展に向けたご尽力に対し、厚くお礼申し上げます。

岡山都市圏（※注1）を構成する8市5町では、各市町が互いに協力し、強みをいかしながら、圏域の一体的かつ持続的な発展に取り組むこととしております。

この調査は、圏域内に立地する事業者の皆様の経営環境や直面している課題、ご要望等についてお伺いし、今後の連携施策検討の基礎資料とするものであり、現状を踏まえた効果的な施策の実施につなげていきたいと考えております。

事業者の皆様方には、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※注1：岡山都市圏とは、岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町の8市5町からなる圏域を指します。

岡山都市圏連携協議会 会長 大森 雅夫
(岡山市長)

ご回答にあたってご留意いただきたい点

1. この調査は、岡山都市圏内に本社を有する企業のうち、無作為に抽出した1,000社を対象として実施しております。
2. ご回答いただいた内容については、全て統計的に処理し、個々の内容を公表することはありません。
3. ご回答については、経営者または経営全体が分かる方にご記入をお願いいたします。
4. ご回答は、平成27年11月18日(水)までに、この調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れてご郵送ください。

お問い合わせ

ご不明な点やご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

調査受託会社	株式会社日本経済研究所 (担当者：倉本、高畑)
電話番号	03-6214-4685
FAX 番号	03-6214-4602

※本調査は、岡山市が委託した「株式会社日本経済研究所」が実施しております。

岡山都市圏企業アンケート調査 調査票

問1 貴社の概要についてお伺いします。(該当するものに○をつけてください)

(1) 所在地

1. 岡山市	2. 津山市	3. 玉野市	4. 総社市
5. 備前市	6. 瀬戸内市	7. 赤磐市	8. 真庭市
9. 和気町	10. 早島町	11. 久米南町	12. 美咲町
13. 吉備中央町			

(2) 資本金

1. 1,000万円以下	2. 1,000万円超～3,000万円以下
3. 3,000万円超～5,000万円以下	4. 5,000万円超～1億円以下
5. 1億円超～3億円以下	6. 3億円超

(3) 業種 ※ 複数の場合は、最も売上高の高い業種に○をつけてください。

1. 農業、林業	2. 漁業	3. 鉱業、採石業、砂利採取業
4. 建設業	5. 製造業	6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業	8. 運輸業、郵便業	9. 卸売業、小売業
10. 金融業、保険業	11. 不動産業、物品賃貸業	12. 学術研究、専門・技術サービス業
13. 宿泊業、飲食サービス業	14. 生活関連サービス業、娯楽業	15. 教育、学習支援業
16. 医療、福祉	17. 複合サービス事業	18. その他サービス業

(4) 従業員数 ※ 非正規社員とはパート、アルバイト、契約・派遣社員をいいます。

人	(全従業員のうち女性従業員	人)
	(全従業員のうち非正規社員	人)

(5) 貴社の創業年

年	操業開始 (記入例：平成〇〇年操業開始)
---	----------------------

問2 貴社の経営状況についてお伺いします。(該当するものに○をつけてください)

(1) 直近5年における業績(売上高)の推移について教えてください。

- | | | |
|---------|--------|---------|
| 1. 増加傾向 | 2. 横ばい | 3. 減少傾向 |
|---------|--------|---------|

(2) 主な取引エリアについて教えてください。(該当するものすべてに○をつけてください)

*ここでの取引エリアは顧客サイド(納入先・販売先の所在する地域)を指します

- | | | |
|------------------|----------|-----------|
| 1. 岡山都市圏内(P1※参照) | 2. 岡山県全域 | 3. 中国地方 |
| 4. 四国地方 | 5. 西日本 | 6. 東日本 |
| 7. 全国 | 8. 海外 | 9. その他() |



「8. 海外」を選択された場合、海外の地域をお選びください。

(該当するものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| 1. アジア | 2. 北米 | 3. 中南米 |
| 4. 欧州 | 5. アフリカ | 6. 中東 |
| 7. その他() | | |

(3) 今後5年間の経営戦略についてお伺いします。今後の課題として該当するものに○をつけてください。(複数回答可、○は3つまで)

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| 1. 新市場の開拓 | 2. 営業、販売力の強化 | 3. 生産設備の強化 |
| 4. 製品研究開発力の強化 | 5. 製造部門の強化 | 6. 専門人材の確保 |
| 7. 従業員の増員 | 8. 人材の育成 | 9. 国際展開 |
| 10. その他() | | |

(4) 貴社の強みについて、以下の中から該当するものに○をつけてください。

(複数回答可、○は3つまで)

- | | | |
|------------|-----------------|--------------|
| 1. 人材力 | 2. 製品、商品、サービスの質 | 3. 技術力、商品開発力 |
| 4. 営業力、販売力 | 5. 製品のブランド力 | 6. 短納期 |
| 7. 価格競争力 | 8. 事業効率 | 9. 企業間ネットワーク |
| 10. 財務内容 | 11. その他() | |

問3 貴社の雇用状況についてお伺いします。(該当するものに○をつけてください)

(1) 貴社の雇用における過不足感をお教えてください。

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 不足している | 2. やや不足している | 3. 適正である |
| 4. やや過剰である | 5. 過剰である | 6. 分からない |

(2) 貴社の直近5年間の新規採用者数をお教えてください。(5年合計、正規社員のみ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 1人以上～5人未満 | 2. 5人以上～10人未満 |
| 3. 10人以上～20人未満 | 4. 20人以上～50人未満 |
| 5. 50人以上 | 6. 新規採用なし |

(3) 貴社のこれから5年間の新規採用見込みをお教えてください。(正規社員のみ)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 積極的に採用を行う | 2. 必要に応じて最低限の採用を行う |
| 3. 採用を抑制していく | 4. 採用する予定はない |
| 5. 未定である | |

(4) 貴社が採用にあたって重視する点をお教えてください。(複数回答可、○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 特定の技能・技術を有していること | 2. 若者(20～30代)であること |
| 3. 新卒であること | 4. 社会人経験を有していること |
| 5. 地元出身であること | 6. 外国語(英語等)が使用できること |
| 7. 特に重視する点はない | |
| 8. その他(具体的に: _____) | |

(5) 貴社の新規採用において課題となっている点をお教えてください。

(複数回答可、○は2つまで)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 新規求人しても応募がない | 2. 自社が望む能力を有する人材を採用できない |
| 3. 雇用しても定着しない | 4. 求人にかかるコスト負担が重い |
| 5. 特にない | |
| 6. その他(_____) | |

(6) 人材を確保するために、貴社が行っている取組について、教えてください。

(複数回答可、○は3つまで)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 賃金の向上に努めている | 2. 福利厚生の上昇に努めている |
| 3. 採用活動に力を入れている | 4. 社員教育に力を入れている |
| 5. 女性の活躍促進に力を入れている | |
| 6. その他(_____) | |

問4 新分野進出の意向についてお伺いします。(該当するものに○をつけてください)

(1) 現在、貴社は新分野、新業務への取り組みを行っていますか。

1. 行っている	-----	(2)へ
2. 現在取り組む計画がある	-----	(2)へ
3. 将来取り組む意向はある	-----	(2)へ
4. 取り組む予定はない	-----	(3)へ

(2) 上記(1)で「1.行っている」「2.取り組む計画がある」「3.取り組む意向はある」と回答した方にお伺いします。以下の中から重視している分野を選んでください。

1. 医療・健康	2. 介護・福祉	3. 農業
4. 環境・リサイクル	5. 新エネルギー・省エネルギー	6. IT・情報関連
7. バイオテクノロジー	8. 教育・人材育成	9. 食品関連
10. 観光	11. 小売	12. 卸売
13. 製造	14. 住宅・住設	15. その他 ()

(3) 上記(1)で「4.取り組む予定はない」と回答した方にお伺いします。その理由を教えてください。(複数回答可、○は3つまで)

1. 人材の不足	2. 資金力の不足	3. 技術力・専門力の不足
4. 特に必要性を感じない	5. 新分野に関する情報がない	6. 事業を継続しない
7. その他 ()		

問5 広域的な産業振興策についてお伺いします。

(1) 貴社が企業活動を行うにあたり、岡山都市圏(P1※参照)の強みと考えているものは何ですか。
(複数回答可、○は3つまで)

1. 交通の便が良い	2. 流通コストが安い
3. 市場規模が大きい(ちょうど良い)	4. 災害リスクが低い
5. 事業用地の確保が容易	6. 人件費が安い
7. 地価、家賃が安い	8. 原材料の入手が容易
9. 豊かな自然環境	10. 一般事務員等の確保が容易
11. パート、アルバイトの確保が容易	12. 専門技術者、研究者の確保が容易
13. 産業支援機関、研究機関が充実	14. 特にな
15. その他 ()	

(2) 貴社が企業活動を行うにあたり、岡山都市圏で広域的に取り組むべき産業振興策として期待するものを教えてください。(複数回答可、○は3つまで)

1. 経営に関する相談支援	2. 販路開拓に関する支援
3. 研究開発に関する支援	4. 大学等との連携支援
5. 企業同士の連携・交流の支援	6. 異業種連携の支援(農商工連携等)
7. 新分野進出の支援	8. 海外進出の支援
9. 観光誘客・PR等による交流人口の拡大	10. 広域的な道路ネットワーク等の整備
11. 人材育成に対する支援	12. 人材確保に対する支援
13. 公的支援策等の情報提供	14. 特にな
15. その他(具体的に:)	

(3) 以下の産業振興策について、貴社の関心の有無をお教えてください。(該当するものに○)

施策	非常に 関心がある	関心がある	あまり 関心はない	まったく 関心はない
①セミナー、研修会				
②異業種交流会				
③採用時の人材マッチング				
④産学連携支援				
⑤専門家の派遣・相談制度				

(4) 公的支援策について具体的な要望があれば、差し支えない範囲でご記入ください。

--

問6 その他、ご意見等ございましたら、差し支えない範囲でご記入ください。

--

アンケートは以上です。

なお、アンケート内容につき、各市町よりお問い合わせをさせていただく場合がございます。貴社名等について、差し支えない範囲でご記入ください。(この調査に関するお問い合わせ以外には使用しません。)

貴社名・部署	
ご回答者様の役職・お名前	
電話番号	
E-Mail アドレス	

ご記入いただいた調査票は、11月18日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご郵送いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。ご協力ありがとうございました。